夕刊 滿洲日報 八月一日

支那側讓歩せるに反し 勞農の態度頗る强硬

兩全權激論十一時間に亘り 本國政府に打電請訓

【滿洲里三十一日發電】昨夜十二時より露支國境八六待避驛の列車内で開かれたメリニコフ總領事蔡交渉員兩代表の會見で蔡全權は劈頭

歐亞連絡交通路の遮斷は列國に干渉の口實を與へたものであるから速に此弊を一掃せしめたく東鐵組織の改造については交渉に應ずるの用意あり、且つ東鐵監理局長以下ロシア人幹部も速に適當な人物を任命して派遣されたし支那は東鐵を買收又は奪取せんとするものでなく只ロシアの對支赤化宣傳を恐れるのみである

と讓歩的態度に出でたが、之に對しメリニコフ全權は

支那がロシアの赤化宣傳を口實に武力を以て奉露協定を蹂躙するに於てはロシアが如何なる人物を東鐵に派遣しても圓滿に鐵道業務に從事することは出來ない、依つて總ての交渉は支那の態度如何に依つて進められるであらう

と前言を飜へし極めて强硬なる態度に出で激論實に十一時間に亘り今朝十一時半に至りロシア代表メリニコフ領事はダウリヤに、支那代表蔡交渉員は滿洲里に引返し本國政府に夫々會議の經過を打電請訓したが滿洲里に歸來した蔡交渉員は睡眠不足の目をこすりながら徹宵會議したが何等具體的に纏まつた物なく引續き交渉を重ねると語り、前途暗澹たる面持で支那軍司令部に入つた

勞農側が威嚇發砲

交渉を有利に導くため

【ハルビン三十一日發電】勞農官憲はブラゴエスチエンスク方面の支那馬賊千數百名を使嗾して支那側を脅かさんとしてゐるので目下支那官憲は警備手薄の折柄頗る恐慌を來してゐる、尚同地方の勞農軍は時に威嚇的に發砲して居るが右は國境より武力を以て支那を威壓し滿洲里に於ける露支和平會議を有利に展開せんとするロシアの魂膽と見らる

新協定を締結して

支那側は東鐵の實權把握を希望

【北平三十一日發電】露支直接交渉に於ける支那側の態度は如何に折れたとは云へ飽くまで東鐵經營の實權を握らんとするもので先づ鐵道警備權、行政權を把握し監理局支那人幹部の權限を擴大し監理權の回收を最終目的とし之が中露協定及び奉露協定に牴觸するに於ては右兩協定を破棄して新協定締結の方針であると確聞する、尚國民政府内部ではロシアの出様如何に依つては之を買收すべき計畫を進められてゐると

哈市學生團の 對露外交支援

【ハルビン特電一日發】支那學生聯合會は東支問題に關する露支外交を支援するため宣言書を發し赤色帝國主義及び日本帝國主義に反抗し且つ東支鐵道の赤色侵略を打倒すべしなどと盛に氣勢をあげてゐる

勞農豫備兵に 居所屆出命令

【モスコー三十一日發電】勞農政府軍事當局は極東各地に居住する長期歸休中の豫備役將校及び極東在住の千九〇二、三兩年度豫備役兵に對し居所の屆出を命じた、右は訓練のため召集に備へたものであると

米大統領回答

マ大佐抗議に

【ワシントン三十日發電】過般米國大統領フーヴアー氏が英首相マクドナルド氏と呼應して軍縮聲明を爲し巡洋艦三隻の起工中止を發表せる際米國在鄕軍人團長マクナツト大佐が大統領に抗議を提出したが、フーヴアー氏は本日大要左の如き回答を發した

抗議は誤解に基くものと思ふが余は米在鄕軍人團は海軍建造競爭爲す代り海軍均等勢力の原則に基き軍縮交渉を爲さんとするに對し理解と同情を有すと信ず

水産會總會

來る十二日開催

關東州水産會評議員會協議の結果臨時總代會を八月十二日午前十時から關東廳會議室に於て開會することになつたが、附議事項は

一、關東州水産會昭和四年度收支出豫算變更の件

二、西部日本水産會大會開催に關する件

であるが尚ほ西部日本水産會大會は來年度多分關東州内に於て擧行される見込みである

けふの赤色デーに備へ 東鐵全線に戒嚴令

罷業宣傳に當局警戒

【ハルビン特電一日發】三十一日午後三時頃市内各所に中國共産黨の名を以て「八月一日の赤色記念日にはヂエネラル、ストライキを斷行せよ」と記せる傳單を撒布せるものあり、支那側官憲兵隊等は極度に神經を尖らし萬一の場合は斷然兵力を以て鎭壓する方針をとり又數日來多數の軍隊をして市中を遊行せしめ威壓的デモンストレーションを行ひつゝあつたが卅一日夜に至り東支全線に亘つて戒嚴令を布告した

水も洩さぬ警戒に

平日よりも靜かな上海

【上海特電一日發】共産黨第三回國際赤色デーを期して共産黨は一大示威運動を起すべく計畫してゐたが租界及び支那側當局は時節柄極力警備を嚴かにし昨夜來上海全市に亘つて要所々々には支那軍隊及び各國陸戰隊配備されて出動を待ち、辻々には十名位宛の警官隊武裝して警戒に立ち水も洩らさぬ嚴戒にさしもの上海も今朝はいつになき寂寥を示し群衆集合を豫想されてゐた各大通りも却つて紅壓稀なる有様で天を覆る地を潛る共産黨も手も足も出さうも無い、又各工場總罷工が豫想されてゐたが事實は反對で最も危險視されてゐた邦人各紡績も平日通り操業してゐる、然し斯かる嚴戒裡にも今朝十時二十分頃南京路上にて反帝國主義、東支鐵道問題に關するビラ撒きが開始されたが群衆多からず從つて氣勢も揚らずビラ撒き人は直に逮捕された

土に卽する人々(二)

農業實習所の健兒が 悲壯なる力鬪

◇―千田萬三

公主嶺農業實習所を見る――滿鐵の保々隆矣氏はゴシツプ的毀譽の多いことで有名である、而して褒譽に値する部分を若し氏から拾はうとするならば、それは流動的創見と云つたものであらう、公主嶺、熊岳城の農業實習所、營口、遼陽の商業實習所と云つたものは、未だその成果を測定する迄には行かなくとも氏の善き創見の産物と云はるべきである。

◇

私は今若き實習生が内蒙につながる廣野の中に、色黑々となつて土を耕してゐるを快く見てゐるのだ午後六時になると、實習生はぼつ〳〵畑から鍬を肩にして舍に歸つてくる、身體を洗ひ終る頃夕餉の用意は成り、軈て所長の宗光彥氏を中心として默禱を捧げ乍ら勢ひよく箸は動く、健康な夕餉である一食六錢の食費ではあるが、しかし若人達にとつては美味の頂點である。

◇

夕陽は舂き、曠原の凉風は爽かである、一日の勞働に疲れた身體を支那語の講習に出掛る者もある、午後九時が消燈である。

◇

夜は明けた――

二十名の實習生は法螺貝の合圖で午前四時の起床だ、みんな冷水を浴びて、廐内の掃除にとりかゝるそれが終ると廣庭に出て、所長の宗氏が先頭に立つて、皇國運動、君ケ代合唱、教育勅語捧讀、陛下の彌榮を三唱して後、今日の勞働に對しての天帝の加護を默禱して畑に勢よく飛び出してゆく。

◇

今は「除草」「中耕」と白菜、大根、蕎麥の種蒔き時である、午前六時半から七時半の朝食時間と、正午から午後二時迄の晝食と午睡時間を除いては一日中炎天の下に立つて働くのである。

◇

「晴耕雨讀」の學校である、雨の日以外は本の頁をくることはない勿論多はコモ編み、溫床づくり、學科と云つた戸内の引き籠りが大部分ではあるが。

◇

この學校は茨城縣の友部にある加藤完治氏の高等農民學校に範を取つたもので、科學的であるよりも寧ろ滿蒙の多難な天地で活動することに耐得る人を養成すると云ふので、精神的訓育が主潮となつてゐる、開かれたのは去年の八月一日であるから既に一年は經過してゐる十九歲から二十七歲迄の二十名の實習生は來年の正月こゝを巢立つてゆくわけである。

◇

壯快な若人達の汗の生活、眉を上げて北滿と蒙古の空を眺め乍ら軈て邦人の先驅者として進まうとする彼等の勇ましい決意、しかし乍らその決意の中には餘りにも悲壯な陰影を伴つてゐる。

◇

滿蒙に彌る排日の普遍化――日本人に土地を貸して極刑に處せられた支那人の話等々、附屬地以外に於ては絕對に一寸の土地も得られないと云ふ邦人にとつての悲慘なる現況を日常目睹してゐる彼等である。

◇

宗氏はこの實習所のプランをつくり、これが實行に當つて「無謀」又は「力み仆れ」と云つた浸罵を浴び乍らも悲壯な決意を籠めて力鬪してゐられる。氏は言ふ

「私の現在のハラはかうです、私の實習所を出た者を附屬地以外の土地に飛び込ませたいと思ふのです、さうでなければ大した意味を持ちません、附屬地以外の土、卽ち勸業公司其他の持つてゐる土地へ、一つの小さな集團と云つたものをつくつて入つて見る、卽ち邦人の滿蒙に進展性を有するか否かのバロメーターとしての重荷を負ふてゆくのです、若し私等の計畫が失敗すれば國家的にも一つの決定をつくることゝなるのです、この意味で私達の負はされた立場は非常に重大だと覺悟してゐます」

筆者はこの決意を國民的意識を以て聞いたのである【寫眞は夕陽を浴びて歸る實習生等】

荻川放談(74)

緊縮

現内閣の緊縮方針を喜ぶ、中央政費の緊縮は一億圓に近く、拓務及び地方政費の緊縮も之に伴ふとあつては、欲々の緊縮振りと云はざるを得ぬ、國民が之に共鳴すれば、以て其緊縮に所期を達し得べく、國勢は正に其共鳴の必要を感ずるなり、此に於て稽ふるに、由來國家が緊縮に成功したるは、其處に何か顯著の目標がありたる場合に限る、彼の日露戰役前に於ける我國民の緊縮は、實に此戰役を目標としての緊縮であつて、之を表示するに臥薪嘗膽の四字を以てせられたが、實際臥薪嘗膽に相違なかつた。

◇

而して此緊縮の先達はやつぱり政府筋であつて、現内閣が公衙の自動車數を減じ、宴會費を節したるに比べて一層徹底的で、官吏の俸給を削つて之を艦艇費に充當するまでに至つた、惨いやうだが、啻に政務のみならず此政務に携はる官吏個人にも其緊縮が及ぶ、國民が之に共鳴せざらんと欲するも得べけんやで、こゝに現内閣をして官吏の俸給を減ぜしめやうとはせぬが、官吏に緊縮を率先躬行せしむることは望ましい、何んと云つても我國は尙官尊である、此官尊で國民の弛緩を締めたい。

◇

今日此頃に於ける國民の弛緩と云つたら云ふに及ぶべき、彼の日露戰役前に於ける如く、まのあたり天を仰いで愛國歌を唄ふ青年は少なく、地に跼いて伊勢を玩ぶ少女はない、云ふ勿れ是は時勢の違ふに因ると、然り時勢は違ふが若し國家が緊縮目標がありとすれば、それが最も無邪氣なる青年少女によつて表顯さるゝこと前に同じかるべきに、現在其目標にふさはしき何等の表顯を認めぬこそ、國家にこれが缺け居る證據で、國民に斯うした目標なし、其國家は終に亡びん。

◇

我歴代の内閣とて皆緊縮を口にす、併し其目標が明瞭でなかつたのに、現内閣は目標を金輸解禁に取つた、此金輸解禁の説明をこゝになさぬが、さうなければならぬ、これこそ我國の急務で、其處に初めて緊縮の意義が生れ、而して此緊縮は素より退嬰的でなく、正に勇往的であるべくして、伸びんが爲に縮まるのである、何時とて緊縮は不必要でないが、正しき目標の定まつての此緊縮には、國民が擧つてそれに赴かねばならぬ、此處にも臥薪嘗膽じや、之が爲め宜しく國民生活の上に一大刷新を行ふべし。

陸軍の定期大異動

けふ官記職記傳達

【東京一日發電】陸軍大異動親任親補式は天皇陛下御避暑中につき行はせられず、一日午前十時より首相官邸に於て、東京警備司令官岸本鹿太郎中將、參謀次長南次郎中將、近衛師團長長谷川直敏中將、教育總監部本部長林銑十郎中將、陸軍大學校長荒木貞夫中將、陸軍省整備局長松木直亮中將、人事局長川島義之中將等には夫々直接官記職記を傳達され地方在住者には別に官記職記の傳達が行はれ異動左の如く發表された

進級

臺灣軍司令官 陸軍中將 菱刈隆

東京警備司令官 同 岸本鹿太郎

任陸軍大將(各通)

近衛歩第二旅團長陸軍少將篠田次助、所澤飛行學校長同古谷清、陸地測量部長少將大村齊、砲工學校工兵科長同松井順、朝鮮軍參謀長同寺內壽一、憲兵司令官同峰幸松、兵器本廠附同井染祿郎、陸軍大學校幹事同多門二郎、野戰重砲兵第四旅團長同石川漣平、騎兵第四旅團長同服部眞彥、騎兵監同森詩、獨逸大使館附武官同大村有隣、近衛師團司令部附少將男爵淺田良逸、士官學校幹事同厚東篤太郎、參謀本部第三部長同廣瀨壽助、第三師團司令部附同四王天延孝、工科學校長同村上良助

任陸軍中將(各通)

歩兵第十二聯隊長歩兵大佐長谷川國太郎、同第七十五聯隊同久我正二郎、教育總監部第一課長同西尾壽造、第四師團參謀長同瀧谷伊之彥、歩兵第廿九聯隊長同上野西郎、陸軍省恩賞課長歩兵大佐中村濱作、歩兵第十一聯隊長同山本芳輔、教育總監部第二課長同角田政之助、旭川聯隊區司令官同山田政一、陸軍大學校兵學教官同鈴木美通、歩兵第六十八聯隊長同石坂弘毅、陸軍省補任課長同沖直道、參謀本部附同佐藤三郎、第十九師團參謀長大家德一郎、歩兵第十六聯隊長同牛屋良雄、參謀本部課長同兒玉友雄、第八師團參謀長同篠原四郎、豐橋教導學校長歩兵大佐武田秀一、歩兵第四聯隊長同高城莊吉、第六師團參謀長同黑田周一、臺灣歩兵第二聯隊長同二宮久二、歩兵第三十四聯隊長同竹下義國、歩兵第四十八聯隊長同古賀徹治、歩兵第四十七聯隊長同新山福治、歩兵第七十七聯隊長同野田三藏、朝鮮軍司令部附同男爵西四辻公曉、歩兵第二十五聯隊長同柳井貴一、第十師團參謀長騎兵大佐武藤一彥、野戰重砲兵第三聯隊長砲兵大佐小野茂幸、東京工廠長砲兵大佐柳津正藏、兵器本廠附同松村乙二、陸軍省銃砲課長同植村東彥、陸地測量部三角科長工兵大佐青柳和夫、築城部對馬支部長工兵大佐渡邊辰、技術本部々員工兵大佐加藤錠二、工兵第三大隊長同中村良雄、工兵學校教育部長同上村友兄、工兵第二十大隊長同川野傳一、鐵道第一聯隊長同梅戶絹、航空本部第一課長航空兵大佐堀丈夫、輜重兵第一大隊長輜重兵大佐朝倉章、輜重兵第十六大隊長同手田國五郎

任陸軍少將(各通)

第十二師團軍醫部長一等軍醫正田島濤十郎、陸軍省醫事課長同弘岡道明、廣島衛戍病院長同國友

任軍醫監(各通)

轉補

朝鮮軍司令官 大將 金谷範三

補軍事參議官 參謀次長 中將 南次郎

補朝鮮軍司令官 近衛師團長 中將 長谷川直敏

補東京警備司令官 教育總監部本部長 同 林銑十郎

補近衛師團長 第十一師團長 同 小泉六一

補第三師團長 參謀本部附 中將 松井石根

補第十一師團長 陸軍大學校長 同 荒木貞夫

補第六師團長 陸軍省整備局長 同 松本直亮

補第十四師團長 陸軍省人事局長 同 川島義之

補第十九師團長 士官學校長 同 林仙之

補教育總監部本部長 參謀本部總務部長 中將 岡本連一郎

補參謀次長 中將 篠田次助

補臺灣守備隊司令官 中將伯爵 寺內壽一

補獨立守備隊司令官 中將 井染祿郎

補第十六師團留守隊司令官 同 多門二郎

補陸軍大學校長 同 石川漣平

補重砲兵學校長 同 大村有隣

補由良要塞司令官 中將男爵 淺田良逸

補東京灣要塞司令官 中將 厚東篤太郎

補旅順要塞司令官 工兵學校長 少將 若山善太郎

補工兵監 航空本部附 少將 小澤寅吉

補下志津飛行學校長

補明野飛行學校長 少將 荒蒔義勝

歩兵學校教育部長 同 坂本政右衛門

補士官學校長 歩兵第二十九旅團長 少將 牛島貞夫

補陸軍大學校幹事 騎兵第一旅團長 同 柳川平助

補騎兵學校長 通信學校長 同 岩越恒一

補工兵學校長 砲兵監部附 同 猪狩亮介

補野戰重砲兵第四旅團長 參謀本部第四部長 同 林桂

補兵器本廠附(陸軍省軍事調査委員長) 同 中村濱作

補歩兵第十九旅團長 同 角田政之助

補歩兵第二十八旅團長 同 鈴木美通

補關東軍司令部附(奉天特務機關長) 歩兵第二十四旅團長 少將 藤田鴻輔

補近衛歩兵第二旅團長

(以下朝刊)

山梨總督問題を 宇垣陸相が斡旋

圓滿に進退を決せん

【東京一日發電】山梨總督の進退問題に關して三十一日午後六時濱口首相は宇垣陸相、松田拓相等と協議の結果、軍部の關係上宇垣陸相は山梨總督と會見し總督の意中を確めて政府との間を斡旋し圓滿に總督の進退問題を解決するものと見られてゐる

山梨總督 あす歸任

政務打合を了へ

【東京一日發電】三十一日山梨總督と濱口首相の會見にて首相は暗に總督の進退問題に關し考慮を促したとさるゝに對し一部では首相は政務打合せ以外進退問題に言及するところなく總督も何等意志表示せず會見を終へたもので、總督は今日中に首相の所謂政務の打合せを完了し、二日朝七時四十分東京驛發御殿場に西園寺公を訪問の上歸任の途に就く決意を有してゐると傳へらる

後任總督は 伊澤氏か

文官説が有力

【東京一日發電】山梨朝鮮總督は政務の都合に依り一應歸任するとしても結局最近の機會に於て辭表を捧呈するものとの見解の下に政府は既に内々其後任者を物色してゐるが、最近漸次文官總督説有力となり伊澤多喜男氏説が最も有力となつて來た

旅大送電工事

十一月中旬完成

旅大送電計畫の經過狀況を實地調査した關東廳中里技師は語る

幸ひ工事も豫定通りに進捗し鐵塔の穴も老座山までは既に掘られ、旅順方面は要塞地帶迄完成したが、建設される電燈送電のための鐵塔は旅大間に二五十二基となつてゐる內、六十基は大連に到着してゐるので穴の掘れた箇所から隨時之を埋め立てゝ行はうとする事になつた、それで十一月中旬頃までには充分完成することにならう

松岡副總裁

けふ午後歸連

吉敦線視察中であつた松岡滿鐵副總裁は一日十七時大連着列車にて歸連の筈

人事

◆坂井大輔氏(代議士) 一日出帆はるびん丸にて內地へ

◆河本久氏(河本大佐夫人) 同上

◆鹿兒島高等農林一行十五名 長谷川孫之助教諭に引率され同上

◆高知縣立農業補習學校一行十三名 中山虎彥教諭に引率され同上

◆京都府船井郡小學校長會田中數馬氏外二十名 同上

◆市川數造氏(滿鐵々道部營業課長) 三十一日夜行にて赴奉二日夜歸連の豫定だと

◆うらる丸無電 二日午前八時港外着の豫定

大觀小觀

◇

政府は「何うだ澁さんか」山梨氏は「何んだ豫算か」ナルホド語呂だけは合つて居ろ。

◇

山梨氏の背後に總督文官制採用反對論者の支持あるは疑ひのない事實。

◇

赤色デー、褪色デー。

◇

「世に恐るべきは用語の有無に依つて國體觀念をあやまるもの經濟は人類のあらん限り之が生存に伴ふ必然的のもの」――何んのことか判らない。

◇

多分、言つてる本人にも判らないだらう。

◇

第三次軍備改編の着手、宇垣陸相に期待す。

◇

松岡副總裁、學良氏に對して最後の意見を吐露す。

◇

目前の小利害や小感情に拘泥せず、大局に眼を着けて、滿洲永遠の平和を圖ること。

◇

此の際、これを學良氏に希望して已まない。

天氣豫報

二日 曇り一時晴れ南東の風

日出四時五十三分 日沒七時五分

滿潮前七時廿五分 後七時三十分

干潮前零時二十分 後一時四十五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二六、一	二八、五
旅順	二七、〇	二九、四
營口	二八、七	二九、九
奉天	三一、〇	三七、九
長春	二五、一	三一、七

北滿の風雲に怯え 赤系露人が州内へ

事件發生以來三百十餘名避難 活氣附く白系露人

北滿の風雲急と露支紛爭の發生にハルビンを中心にしたソウエート聯邦の避難者で男女家族を合して州内に避難して來た人員は事件の發生して以來三百十餘名に達し、州外で日和見的に形勢觀望をしてゐるものは長春に九十八名居住してゐるのみで奉天其他は全部州内に避難旁々に逃げて來た、唯其間にあつて活躍してゐるのは白系ロシヤ人でハルビン、奉天大連と往復するもの多く大部分は東鐵恢復運動の信者で時に赤白のロシヤ人が呉越同舟である奇現象さへ見られると

他人の土地を勝手に賣る

普蘭店管内の會屯の書記が 無智な百姓を騙る

【普蘭店】普蘭店管内快馬廠會閻龍屯姜學良（三〇）は昨年二月迄快馬會の書記をして居た事を奇貨とし附近の無智の住民を欺き實印を借り出し百姓の所有地を何時の間にか轉賣し其被害一萬八百圓に上り更に同年二月九日公金二千圓を拐帶し天津一面坡へ轉々逃走して居たが豫て手配中の處三十日夜市内東郷町二九特産代理店姜興堂方に潜伏中を小崗子署員に逮捕された

尚所有土地をとられた被害者は多數に上り被害額は尚多き模樣であるが前記姜興堂も共犯らしく目下嚴重取調中

佛庭球選手 今秋來朝

【東京卅一日發電】日本庭球協會ではレーシング倶樂部との間に交渉なり三十一日フランス一流選手コーシエ、ブルニヨン、ランドレン、ロテルの四氏が十月十一日横濱入港の天洋丸で來朝する旨の電報を得た、尚ほコーシエ氏は夫人を同伴する模樣である

韋駄天ヌルミ選手 練習中脚に負傷

今後の活躍危ぶまる

【ニューヨーク發】長距離競走の世界選手權保持者フインランドのヌルミ選手は最近米國に渡り盛んに好記録を出して全米ファンの度膽を拔いて居たが今回突然同選手を招聘したアマチユア。アスレチツク、ユニオン迄歸國を申出でユニオンの幹事連を吃驚させた。同選手は練習中大事な脚を怪我したので故國フインランドでゆつくり治療を受けたいといふのである。そしてヌルミ選手は遂にスエーデン。アメリカ航路のカングスホルム號で歸國の途に就いたが將來再びトラツクにその勇姿を現はすか否かは懸つて脚の治療結果如何にあると見られてゐる

ポアンカレー氏 手術を受ける

【パリー三十一日發電】病氣のため挂冠した佛國前首相ポアンカレー氏は明一日手術を受けることゝなつた

倫敦日本間 航空路

英國で開設か

【ロンドン三十一日發電】英國民間航空局長ブランカー氏が發表したところに依れば英國は北極圏附近を通過するロンドン、日本間飛行路を開くことゝなるかも知れぬと

小さな採集家 中央公園で

北支の勞農領事等 けふ大連を引揚ぐ

本國政府より引揚げを命ぜられた在支勞農領事等は既に殆ど全部大連に落ついてゐたが前航あめりか丸で出發しなかつた張家口領事ミハロイエフ夫妻、東支鐵道北平代表ヤコレフ夫妻北平駐在代理大使スピルバデフ夫妻、同副領事シユミツド氏外數名は一日出帆はるびん丸で日本へ向つたが一行は先發隊同樣敦賀より浦鹽經由モスコーに歸還すると、尚殘りのものは三日出帆の天城山丸で浦鹽に向ふ豫定である

盗難から 有料に

星ケ浦脱衣場

星ケ浦海水浴場には目下滿鐵地方課の設置せる脱衣場が四ケ所あるが貴重品保管の設備が無き爲め毎日頻々と盗難多く警察とも對策を講じて居たが、愈々脱衣場一個所を保管料五錢徴收して有料脱衣場にする事に決定數日中に設備を整へて多分今日曜迄に設置される豫定であると

行數改定謹告

八月一日より本紙使用活字更改の結果全一段の行數一百四十五行と相成候間此段謹告仕候

滿洲日報社廣告部

土俵に活氣

玉錦出場の四日目

東京大相撲四日目は朝來の曇可減のためか客足多少衰え可減であるが、それでも或事情のため一時休場中であつた實力第一と言はれる關脇玉錦の出場と常の花五人掛の御愛物等もあり正午頃までには七分の入りである、今日も人氣力士天龍と玉錦の後援會の組見があり赤い旗に早くから土俵の景氣をそゝつてゐる、午前中は例に依り未來の横綱を夢に見る新進二三段の力士が武藏山高ノ花等を相手に猛烈な稽古を續け朝早くから詰めかけてゐる玄人筋の好角家を盛んに喜ばせてゐる午後一時幕内力士の稽古が始まつた頃には八分通りの入りとなつた、本社の個人決勝も愈々優勝旗爭ひが近くなり益々人氣を高めてゐる

第四埠頭の 浮標に點燈

第四埠頭突端の浮標にかねてより點燈すべく準備中のところ一日より愈々點火すると、尚これによつて附近航行の船舶は一層便利になる模樣である

蔬菜品評會

大連蔬菜品評審査會は八月二、三の兩日柳樹屯で開催されるが、關東廳からは篠農事試驗場長が審査委員長として出席の豫定で、次回は十一月八、九の兩日周水子十一月一、二の兩日は西山會で行ふ

絶えぬ交通事故

自動車で 幼兒傷く

一日午前十時十分ごろ大連北大山通り九大和タクシー運轉手山路勇は山手町電車停留場の前で後退せんとした刹那、大和町二六水上署巡査庄島宗維長女康子（三）が向ひ側より走つて來てその後を横斷したのに衝突し左額、右肩、後頭部等に擦過傷を負はせ康子は直に唐澤病院に擔ぎ込み應急手當を施したが餘程重態である、目下大連署では山路を引致し傷害被疑者として取調中

徹底した排日宣傳 個人的交際もせぬ

奉天外交協會の決議

【奉天特電一日發】東北四省外交協會では三十一日午後六時より幹部會を開催し排日に關する今後の方針につき研究した結果日本人とは經濟的に絶交すると同時に個人的の交際をもしない事を決議し、排日の活動寫眞演説等をなし同八時散會したと

電車と自轉車

三十一日午後一時三分ごろ大連東公園町滿鐵本社前に於て一系統第二一四號電車とその直前を横斷せんとした淺間町一五德裕昌鐵工場内鐵工夫鄭世溫（二〇）の自轉車と衝突し鄭は右顴面および右拇指に治療二週間を要する擦過および挫傷を負ひ自轉車前車輪を破損し、電車はヘツトライト硝子各一枚を破損した

飲食店組合 紛糾せん

洋食部獨立の運動猛烈

過般來分離獨立を策し暗中飛躍を試みてゐた飲食店組合洋食部中の黒猫、千鳥、日本橋食堂等の各方面を糾合の上來る三日午後一時より中央公園醉月において總會を開き右獨立組合の組織を議事として提案する事になつたが、同じ洋食部にも山本組合長は洋食部員でありまたライオン、精養軒その他の反對派もある事とて相當紛糾は免れざるものと觀測される

Z伯號けふ出發

先づアメリカに向ふ

【フリードリツヒスハーフエン三十一日發電】ツエツペリン伯號は一日午前三時（日本時間午前十一時）當地發アメリカのレークハーストに向ふと發表された、なほ目下北海方面にある暴風は南方に下りつゝあり、同船は之を驅け拔けるため暴風と競爭をすることゝならう

第五回スポンヂ大會

△期日　八月拾壹日（第二日曜日）
△用球　角一スポンヂボール三拾二匁
△出場資格　各會社商店銀行内にて編成したるものは何チームにても差支なきも同一人にて壹チーム以上へ出場することを得ず（但し滿鐵は各課所を以て編成とす）
△申込期日　八月九日迄とす
△主將會議　八月十日

主催　體育堂
後援　滿洲日報社

奇怪極る四川の奇習 猿と結婚する猺氏

月明に亂舞する婚禮

四川よりの消息に文化の相當行渡つた今日支那にはまだ猿と結婚する種族の存在を傳へて居る四川の平武縣灌關附近の山地は殆ど人跡罕な僻遠の地であつて、其地方に猺と呼ぶ種屬が住んで居る

◇

彼等は自ら耕し自ら食し全く上古其儘の生活と遺風を持つて居る其地方には赤大きな猿が棲んで居る

◇

猺の大きさは何れも十六歲位の青年位で猺氏と一所に住んで居る狀態は吾々が外人と雜居して居るのと同樣で只言語が通ぜないと云ふ丈けの事である

◇

猺氏の結婚は別に禮儀も手續きも無く男が女に勝手に「你吾可以敍居否」と云ふ意味を詢ね相手が返答せなければ不同意であり、同意の際には其場で手を攜へて亂舞し同意を表示する

◇

婚約成立すれば月明の夜を俟つて酋長が全部の住民を集め結婚する者に獸皮なぞを贈り酋長が正式の夫婦であることを證明し、集つた全部の猺氏は月明の下に酣歌狂舞し之を慶祝するのである

◇

猺氏は性質鬪爭を好み勇敢の壯漢は多數の女子から歡迎され甚しき者は十數名の女を妻として愛し女は勇士を崇拜する事今日の女子が金滿家の息子に思を寄すると同樣である

◇

斯る風習である故羸弱な男は他に打ち勝つ事が出來ない故女子に嫌はれて結婚する事が出來ない結果致方なく猿と結婚する者が尠くない

◇

羸者は成年期になると壯漢と相撲をとり妻帶の要件を獲得せんと努める、若し敗けると致方無く猿を娶ふて性の懊みを慰めんとする

◇

猿の習性は一雌、一雄であるため斯る場合には雌は必ず逃げて仕まふが、毎日果餌を與へて好く馴らし、終に雌猿を雄猿と男との共有とし妻として扱ふて居ると

暴れ自動車 電話切斷

姿を晦す

三十日午前四時四十分ごろ大連若狹町二〇六番地に於て電話線電柱に衝突しこれを傾倒した外同町二一〇火野美都、高振林、同町二〇六劉慶尙かたの架設電話線を切斷の上逃走した自動車あり各被害者の屆け出により目下大連署で極力捜査中

電話機泥棒

山東生れ市内千代田町五耿茂（四〇）及び住所不定于振海（四五）の兩名は三十一日午後十一時小崗子管内周家屯滿鐵保線工事請負永吉組方に忍び入り同所取付の電話機を竊取せんと取外して居る處を同家の者に發見され一日沙河口署に突き出された

◇…關東廳の警官二千餘名のうち柔劔道の有段者は合計百八十二名でその比率は朝鮮よりずつと優秀であると

◇…奉天稻葉町の吉本寅一は妻君の留守中に友人を集めて酒盛の最中に妻君が歸つて大喧嘩となり立腹の餘りプールに飛び込んだがおさまらず遂に妻君を離緣した【奉天】

◇…支那政府も國民に節約を宣傳しつゝあるが安東交渉署では今後料亭の宴會に藝者嚴禁、料理の皿數制限を布告した【安東】

第拾壹回貸借對照表（自昭和三年七月一日至昭和四年六月卅日）

資產之部	
工場讓受報酬金	一三、五〇〇・〇〇
土地建物	四九、九四〇・一五
機械器具	三九、九四七・〇六
營業用什器	一六、五五二・一〇
貯藏品	一七、〇五六・二〇
原料品	一五、〇〇三・六九
肥料品	四、二九八・四三
未到着原料品	六、三三四・三四
皮革品	三九七・七七
未收金	六、七七七・九二
受取手形	一〇、〇七〇・一三
賣掛金	二六八・〇〇
假拂金	五、五九五・一五
貸金	一八、〇〇〇・〇〇
有價證券	五六八・〇〇
出張所勘定	一三五、四四四・九五
銀行預金	三、二二七・一九
振替貯金	一九六・九二
工場假出	一四・二〇
滿鐵運賃豫納金	六〇九・七七
現金	一、五七二・五六
繰越損失金	一七、六九八・四三
合計	一、一七三、九六五・三三

負債之部	
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
借入金	一一五、〇〇〇・〇〇
銀行當座借越金	一六、一四四・四八
假受金	七、二九一・四八
未拂金	三、八〇五・〇〇
當期益金	三、七二四・二七
合計	一、一七三、九六五・三三

財產目錄ハ貸借對照表ト同一ニ付キ略ス

昭和四年七月三十一日

大連市向陽臺九番地 滿蒙殖產株式會社

追而取締役全部任期滿了ノ處何レモ再選重任シ監査役谷井光之助、八木政三辭任ニツキ補缺選擧ノ結果寺田虎次郎、向井正作當選就任セリ

獨逸船が俄かに大連を中心に活躍
浦鹽方面の積出し不能となりて
注目すべき海運界

露支兩國紛爭により從來浦鹽港を中心に目覺ましい活躍を行つてゐたドイツ船は非常な打撃を蒙つてゐるがこれが爲め大連港に回航するドイツ船は日々增加し、從來

◇浦鹽港　に於ける思ひ切つた安運賃を以つて、大連港を根據に活躍を策しつゝあり、運賃界に非常なる攪亂を來たさんとしてゐる、即ち獨逸船が浦鹽港に力を注いでゐたことは今日に始まつたものでなく、歐洲大戰後上海、香港、新嘉坡等に於ける獨逸の經濟勢力の失墜から自然海運の主力を浦鹽港に向けた、爾來獨露の通商關係は極めて密接なるものがあり先年英露國交斷絶後はいよ／＼兩者の經濟關係が密度を深め、露支紛爭前、露商が浦鹽港から積出す貨物は殆どドイツ船に與へ、その外總ゆる點で便宜を計つてゐたので、ドイツ船も出來得る限り

◇船運賃　を安くし一手に輸送を引受けてゐた爲外國船は全く手足を封ぜられた狀態にあつた然るに露支國交斷絶による浦鹽港の出荷杜絶で、ドイツ船は主力を大連港に向け、今後南下して來るであらう貨物を低廉な船運賃をもつて一手に引受けんと氣構へ、近來ドイツの經濟復興によつて、總ゆる近代化學を應用して建造した商船を既に七、八隻も回航せしめてゐる、即ち毎月

◇大連港　へ回航する歐洲航路の各國商船は英船六隻、日船四隻、獨逸船七隻（或は八隻）その他二隻にて獨逸船は斷然諸外國を壓倒し、その荷主は哈爾賓に地盤を有する露商であつて、露支關係によつて浦鹽港積出しの杜絶で大連に輸送される貨物積出を狙つてゐる、今日まで大連港に於ける獨逸船の活躍は經濟的勢力の點といひ、地形の關係といひ到底日英兩船以上の活躍を許されぬと見くびられてゐたのを完全に裏切り、新興ドイツの意氣を以つて日英兩國の地盤に喰ひ入り大連港に

◇海運の　主力を扶植せんとしつゝあることは非常に注目すべき事で同時にドイツ船が浦鹽港同樣の安運賃を以て臨むに至らば自然諸外國船も競爭上運賃引下を餘儀なくされるに至るであらうと觀測されてゐる

大した影響は無いだらう
一時的の現象に過ぎまいと
當地海運業者語る

右につき某海運業者は語る

最近獨逸が大連港に注意を喚起して來たことは事實だが、海運の主力を大連港に集注するといふやうなことは地形其他の關係で出來よう筈がない、今まで露國を相手に

歐洲向　貨物を大量に引受けてゐたものが露支關係で浦鹽港が杜絶し、從つて南下貨物を目的に大連港に船舶を回航させたに過ぎず浦鹽港さへ舊に復すれば、獨逸船も再び浦鹽に歸るであらう從つて獨船が運賃を安くするといつても積荷がなければ何もならぬが、浦鹽積出契約の

貨物が　どの程度に大連に轉送されて來るかゞ問題であるしかし之は大したことはなく、例へ滯貨の全部が大連に來るとも大勢を左右するほどの影響はなからう

商工從業員表彰推薦
希望者は市役所へ

大連市では產業獎勵の一助として一般商工業從事員の善導誘掖に資する爲毎年十月一日市政記念日をトし商工業從事員で十年以上勤續した者並特に衆人の模範となるべき行爲があつた者を表彰することとし既に回に重ぬること二回產業助成上裨益する所尠からざるものあるに鑑み本年も同日を以て其の第三回表彰式を行ひ表彰することに決定し各同業組合、團體に對し表彰候補者の推薦方を依賴したが同業組合、團體に加入せざる店舖工場に勤務する者で左記標準に該當するものは雇主より直接の推薦を希望し又組合團體中推薦依賴の洩れたる向きで該當者ある場合も同業組合團體長より推薦するやう希望して居るが推薦に關する詳細なる手續は同市役所庶務課に承合され度いと

模範表彰候補者推薦標準

市內の店舖又は工場（本支店を通じ）に十年以上勤續したる商工業從事員にして一般商工業從事員の模範となすに足るべき者即ち

（一）品行方正、業務勉勵又は技術優秀なる者
（二）其の勤務せる店舖又は工場の繁榮に顯著なる功績ありたる者
（三）營業主の危急に際し克く奮勵其の頽勢を挽回したる者
（四）其の他特に賞揚すべき奇特の行爲ありたる者

勤續表彰候補者推薦標準

市內の店舖又は工場（本支店を通じ）に勤務する商工業從事員にして昭和四年九月迄に勤續滿十年の者及以上滿五年毎に其の年限（例へば十五年、二十年、二十五年）等に達したる者

但し市外の本支店勤務の爲右の年限に表彰せられざる者は右表彰年限外と雖表彰するものとす

北滿貨物で夏枯れ知らずか
南行は一日二百車の增貨
逆送運賃は未解決

哈爾賓に於ける浦鹽向けの特產目下二千車餘の停滯を見、而も全く輸送不可能に陷り、荷主は多大の損害を被りゐるため荷主は東支鐵道に對し南行方の交涉中であるが東支は該貨物に對し浦鹽までの運賃は拂ひ戾すも一フードに對し五哥金の手數料を要求し荷主は三哥金は應じても五哥には應ぜられぬとし未だ解決を見ざるも時局のため輸送を急ぐ關係から近く南行輸送に解決を見るものと觀測されてゐる、之に對し滿鐵では該貨物が十五噸車二十噸車、五十噸車と區々になつてゐるため滿鐵の三十噸車に積取るには相當困難を生ずるので長春東積場の大整理を行ひ六百人の苦力を集めて準備を終つたが時局が惡化して二千車餘が一時に殺到する場合は尙未だ手不足を生ずるため更に臨時列車の增發をすることゝならう、而して閑散期の今日に於ける南行貨物は一日三百車餘で例年より二百車餘の增貨であつてこの狀態は新穀出廻り期までは持續されるものと見られてゐる、因に東支沿線の在貨は二十六七萬噸、松花江の增水による川豆輸送が尙ほ二十三四萬噸を豫想されてゐるからこの五十萬噸餘の貨物は時局の影響で滿鐵に廻すことゝなろうから滿鐵の本年に於ける夏枯はなきものと見られてゐる

東支沿線穀物主要驛在貨(旬末)

昭和年月中旬(單位米噸)

品別	昂々溪	安達	滿溝	哈市
大豆	一〇、一三四	六九、一五六	一六、七五八	六七、一〇四
豆粕	三六	—	—	八一〇
豆油	四五〇	—	—	二七〇
小麥	二、九一六	二、五〇二	七三八	四四、九四六
麥	二一六	—	—	一、二六〇
麵粉	一四四	—	—	六四八
高粱	五四	一、九四四	二、八六二	二、〇八八
粟	二一六	一、六九二	二、三九四	一、一七〇
包米	—	二三四	三九六	一〇八
其他	五七六	九三六	二、〇七〇	—
計	一四、七四二	七六、四六四	二五、二一八	一一八、四〇四

邦商取扱の北滿滯貨

【哈爾賓發】東部ボクラ國境封鎖のためボクラ、浦鹽及びその他烏鐵沿線に停滯中の邦人扱輸入貨物は次の通りである、

光武商店　砂糖二、六七〇袋、角糖五〇〇箱、氷糖四八〇箱
榮信洋行　亞鉛平板一、二五〇枚、同浪板一、〇〇〇枚、鉛塊一一三本
高岡號　精糖二〇〇袋、更目糖二〇〇袋、古新聞紙一〇〇袋、地下足袋二〇個、更紗五個、玉葱五〇個

尙ほ右滯貨は大連へ回送又は內地へ逆送の手續をとつてゐるものもあるがそのまゝ形勢を觀望中のものもある

商議副會頭は田中横田兩氏か
横田氏重任を辭せば昌光硝子の藤田氏か

大連商工會議所副會頭は特產畑から瓜谷長造氏の呼び聲が高いが同氏は商賣上の關係から多忙な要職に就くを許されぬ事情にあり、承諾困難と見られてゐるので結局特產畑からは豆信の田中喜助氏が推薦されるべく、さらに横田前副會頭が重任を辭する場合は昌光硝子の藤田臣直氏が有力視されてゐる

大連における棉業の合同
近く具體化の模様

大連における邦人經營の棉業工場はその規模少さく、從つて製產高も僅少にして、現在の儘にては斯業の發展は到底望み得られない狀態にあり、當業者は勿論滿洲棉花協會及當局においても當業者の分立競爭を改めて合同組織として大量製產の方法をとるの利益なることを唱導されてゐたが、最近當業者及有志の人々に依つて合同實行の議起り種々交涉の結果合同の具體的成案を得たるものゝ如く關係當局においても贊意を表し又出資及販路については有力なる華商側及片倉組において相當援助することになつたが滿洲各地の需要製棉數量は哈爾賓のみにても一ヶ年一千萬圓に上り南北一帶を通ずれば年額三千五百萬圓に達し、邦商の活動を要する事業なるに拘らず資本家の援助により合同組織を以て經營さることになれば相當斯業の發展をみること期待されてゐる

撫順炭礦の出炭能率好成績
一人當りは世界の記錄を破らん
懸賞制度と經費節減

【撫順發】撫順炭礦に從業する華工數は七月卅一日現在約四萬人で昨年同期の五萬五千に比し一萬五千の激減を來してゐるが、その出炭高は昨年同期と何等遜色なく豫定通り出炭して一人一日出炭高は頗る好成績を示し內地諸炭坑の最高記錄を凌駕せんとする勢を示して居る、この調子では今後恐らく世界記錄を破るに至るべく、その結果一萬五千の減少に拘らず豫定額の出炭をなしつゝある事は必然的に出炭費の節約を來し炭價をもある程度まで低減し得る狀態にある、右は撫順炭礦四年度の新試みとして古城子露天掘外十三坑に亘り、能率增進を計るべく一年間長期に亘る懸賞制度を實施した爲である、右制度の入賞資格の主要條件に一年間を通じての一人當りの出炭高の多い程成績優秀と言ふ事になつてゐるので各坑とも華工の頭數をへらし腕のある華工を使ふ事を希望し各採炭所長以下華工まで一丸となつて能率增進に猪進してゐる

因に能率增進長期懸賞制度の實施されてゐるのは中央事務所を除いた發電所、機械工場、選炭場、工務關係の現場方面等で何れも成績良好にて從來むだな機關や冗員を設けられてゐたのが是等は經費節減のため一掃されんとしてゐる

團體めぐり

豆の都……大連も今から三十年前を顧みれば、渺たる一寒村であつた、日露の兵火が終末を告げて日本の經濟勢力が、低きに流れる水の如く伸張されて來てから、年ならず牛莊港の繁榮を大連港に奪ひ、豆、粕、油は輸出貿易の大宗となり、滿洲經濟界の消長を左右する需要物產となつたのは洵に電光的の早業であつた、歐洲向け輸出の糸口が開かれた明治四十一年五月、大連に於ける特產貿易業者が共同利益の戰線にたつて輸出商組合を組織したが之が現在の滿洲重要物產組合の前身なのである。

◇そして輸出商組合が滿洲重要物產取引商人集合所を設置したのは明治四十年の五月であるが、その頃貨物の在る所即ち市場となつた譯で、從つて特產取引は埠頭で行はれたものだ、だから當時は市場といふ名のみで日支特產商は埠頭の岸壁に立ち、或は大豆、豆粕の堆積されてゐる間隙に身を寄せたり、又は倉庫の片隅に蹲くつて商談をしたといふ夢の樣な時代もあつた。

特產市場の始
埠頭の露天取引き
興味あるその生ひ立ち

◇……大連重要物產組合（一）

◇斯る事情であるから輸出商組合に率先し滿鐵埠頭事務所に申請し建築物の一部を借り受け、此處に多少の設備を施した上、これを市場に當てんと同業者に諮つたところ、忽ちにして必要以上に金が集つた、そこで埠頭事務所は此の要求に應じ、四十一年十月倉庫の一部二十坪を貸與したので、組合は茲を假市場として開始した。

◇所が偶然此處に集る者日に日に增加し、日ならずして百名以上に達した、當時は市場に出入して賣買引する商人に對して何等の制限がなかつたので、市場は忽ちにし雜踏を告げ、時に午前中は寸隙もない非常の混雜を呈したものだ、斯ような狀態で輸出商組合は又復滿鐵に對し市場敷地の提供方を請願した。

◇茲に於て滿鐵は此等商人の熱望を入れ、倉庫の名義の下に約百坪の一棟を建設し、之を組合に貸與した、此の市場は四十二年一月二日落成と共に組合に引渡され、一月四日より公開の市場となつた、その以後大正二年九月一日大連重要物產取引所の開業せらるる迄は大連に於ける重要物產は悉くこの建築物內に於て取引せられたのである。

工業研究會
二日午後協議

大連工業研究會では八月二日午後三時半から社員俱樂部に於て左の事項に就いて協議を行ふ

一、編油草特許權處理
二、本年度の事業に關する件
三、五十嵐氏を幹事推薦の件及退任幹事に感謝の件

等で關東廳からは小川殖產課長が出席すると

黄塵

◇……嫌はれもの、市長には嚙りついてもなり度いが、商議會頭には誰もが後退みする。

◇……いつそのこと會頭有給制度でも出したら何んなものだ。

◇……北滿輸送杜絶の影響で滿鐵のみホク／＼。

◇……だからと云つて滿鐵が露支紛爭の長引くことを切望してゐるわけではない。

市況

特產　各品一齊高　銀の低落に

今朝の定期は逆したる新材料はないが昨場一般平調の後を受け銀安を唯一の材料として各品共に一齊高を示した、普通大豆は出來不申高粱は九錢から十錢方の刎返し商狀を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	六七四〇	六七四〇	六七三〇	六七四〇
九月末	六八〇〇	六八三〇	六八〇〇	六八三〇
十月末	六八〇〇	六八三〇	六八〇〇	六八三〇
十一月末	六八一〇	六八三〇	六八一〇	六八三〇
十二月末	六八五〇	六八五〇	六八五〇	六八五〇

出來高　百五十車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	三三五	三三五	三三四	三三四
九月限	三三三	三三三	三三三	三三三
十月限	—	—	—	—
十一月限	三三三	三三三	三三三	三三三
十二月限	二〇八五	二〇八五	二〇八五	二〇八五

出來高　三萬九千枚

▲豆油（强調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	一八二五	一八二五	一八二五	一八二五
九月限	一八四五	一八四五	一八四五	一八四五
十月限	一八四五	一八四五	一八四五	一八四五
十一月限	一八一〇	一八一〇	一八一〇	一八一〇
十二月限	一七九〇	一八〇〇	一七九〇	一八〇〇

出來高　一萬八千箱

▲高粱（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	四三三〇	四三三〇	四三三〇	四三六〇
九月末	四三〇〇	四三〇〇	四三〇〇	四三〇〇
十月末	四二〇〇	四二〇〇	四二〇〇	四二〇〇
十一月末	三六〇〇	三九〇〇	三六〇〇	三九〇〇
十二月末	三六三〇	三六三〇	三六三〇	三六三〇

出來高　百十六車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆(袋込)(裸物)	六七六〇	六七五〇
普通大豆	出來高 百五十車	出來不申
豆粕	出來高 二二三五 二萬三千枚	二二四〇
豆油	出來高 一八一〇 五千六百函	一八一五
高粱	出來高 四二六〇 五車	四二六〇
包米	出來高 四三五〇 二車	四三五〇

定期喰合高（卅日帳入）（前日對比較△印減）

大豆	二、五七九車	△三〇四車
高粱	一、七七〇車	△四五車
豆粕	八〇〇千枚	七千枚
豆油	一、九九〇百箱	五百箱

錢鈔

前場（低落）　今朝の海外材料としては倫敦銀塊は廿四片十六分の五と（十六分の一高）先物は廿四片十六分の七と（十六分の一高）紐育は五十二仙八分の五と（八分の一高）孟買銀塊は五十五留比十六分の五と（十六分の五安）麻塊は七十兩六〇廛中は七十二兩三〇、大洋は九十八圓六十錢、日米は四十六弗十六分の七と（八分の一高）米日は四十六弗十六分の七と（十六分の一高）英米クロスは八十五仙十六分の五と（八分の一安）米支は五十八弗十六分の一と（十六分の一高）上海標金は三百九十四兩と寄り九十五兩三と止め當市の銀價は低落を呈してゐた

◇定期取引（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	八九〇	八九五	八九〇	八九〇

出來高　期近　二百七十七萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	八九〇	一〇〇五〇	一〇〇五五
十時	八九〇	一〇〇五〇	一〇〇五〇
十一時	八九〇	一〇〇五五	一〇〇四〇
十二時	八九〇	一〇〇五五	一〇〇四〇

出來高　銀對金　三萬二千圓　銀對洋　八千圓

商品

前場

麻袋（保合）　產地青十六分の五安鐵同時なるも爲替四分一高を入れ地場又買氣薄にて見送り簡單ながら弱保合にて散會

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵麻	十二月末	三五、二	二〇

出來高　二萬枚

綿絲布（保合）　米綿二十磅高と三品一圓五六十錢にひきしまり爲

後場（弱保合）

◇爲替及受渡日步

品	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	一三、〇	一二〇	一〇	一〇	三
商信	一六、〇	一〇	八〇	一〇	三
新豆	一四、五	八〇	八〇	八〇	三
錢鈔	三、〇	一〇	一〇	一〇	四
氷新	一六、〇	—	八〇	八〇	三

株式

內地は軟り　當市場閑散

今朝內地材料大物確りを報じたが當所は整理問題を控えて一般氣乘りなく賣買双方共に見送られ場面閑散を呈したが五品及他株は保合を示した

前場（保合）

株式出來高（一日）

定期	一、五〇〇枚
現物	一、二八〇〇枚
合計	一、七八〇〇枚

株

聲明通り愈よ積極整理に着手し昨日の重役會で原田理事長の給與を半減し平重役を無報酬にしたのは大出來と云ひ度いが當然過ぎる程當然▲それは兎も角、矢野營業主任以下十數名が整理の犧牲になつたとは不況の際、大に同情に價する▲しかしこれは當然來るべき運命であつて寧ろ遲過ぎる嫌がある小の虫を殺して大の虫を活かす意味で餘儀ないことだ▲五品整理のエピソードとも云はうか擊折の增田君も血祭に擧げられやうとしたが之を知つた仲買連中は名擊折の折紙附の同君をやめさせては市場の整理がつかぬといふので理事長に懇談してやうやく首を繼いだと云ふが何を言つても實力の世の中だ內地株は金解禁を控えて低迷し五品も愈よ整理時代に入り茲當分は閑古鳥が鳴くことだらう

豆

昨日一般平調であつた特產市場も今朝銀の低落を眺めて三品共に强調を呈した▲殊に高粱は出廻り減少で九錢から十錢方の刎ね返し商狀を示した▲今日より十二月末日限の取引が開始せられた普通大豆は出來不申▲一般に出來ないであらうと云はれてゐたがまさか第一日目から出來ないとは一寸意外だ▲せつかく上場させることになつたのであるから三等大豆の轍を踏まない樣にしたいものだが▲現物大豆は油坊二十車、日清、瓜谷、建成、恒昇、丁新昌、興記、文盛裕で百車、豆粕は建成、興茂東、瓜谷、丸一で合計二萬三千枚、豆油は三井、三菱で合計五千五百箱の手合はせ▲本日の油坊生產高は九千枚操業工場は五軒▲明二日取引人組合では普通大豆取引について委員會を開催するそうだ▲今日から三十一日迄後場定例休會。

銀

今朝海外材料としては倫敦銀塊は十六分の一高、紐育は八分の一高、孟買は十六分の五を入れ、爲替は日米八分の一高米日十六分の一高であつたが地場材料區々であつたが地場鈔票は爲替の人氣よき爲め四十錢方の低落を示した▲上海情報によれば昨後場は孟買銀塊高に市況呆愴なりしも路透通信にて大阪日米高を入れし爲マバラ買進み漸騰新高値に躍進せるが▲仕手薄商內薄に標金高値氣迷ひ引け▲尙ほ金高材料見越し乍ら仕手は月末決濟後賣持ち下げ賛成の折柄標金は此邊尙ほ高値大幅保合模様と

七月下旬の對外貿易
出超二千萬圓

【東京一日發電】大藏省發表、七月下旬に於ける主要十三港の對貿易は一躍出超二千十二萬二千圓となり前年同期より千五百七十萬五千圓の出超增を告げた、之を前年同期に比較すれば輸出は五百三十四萬七千圓を增し輸入は千三十五萬八千圓を減少したが這は生糸輸出の增進と棉花輸入の減退に依る處大である、而して一月以降の累計額は（單位千圓）

輸出	一、二〇三、四六四
輸入	一、四五八、六三四
計	二、六六二、〇九八
入超	一五五、一七〇

となり昨年より二千三百萬三千圓の入超增一昨年より三千二百二十八萬一千圓の入超減である

奧地市況（一日前場）

特產

▲大豆

	限月	寄付	大引
開原	八月限	一〇三、五〇	一〇三、五〇
	九月限	—	—
	十月限	—	—
長春	十一月限	—	—
	十二月限	一六、九〇	一六、九〇
哈爾賓	八月限	—	—
	九月限	—	一、七五五
	十月限	—	一、七七〇
公主嶺	八月限	—	—
	九月限	—	—
	十月限	—	—

▲高粱

	限月	寄付	大引
開原	八月限	—	—
	九月限	—	—
	十月限	—	—
長春	八月限	二、三三	二、三六
	九月限	二、五五	二、三七
	十月限	二、三八	二、三三
公主嶺	八月限	—	—
	九月限	—	—
	十月限	—	—

▲小麥

	限月	寄付	大引
哈爾賓	八月限	二、〇一〇	二、〇一〇
	九月限	二、〇八〇	二、〇八〇
	十月限	—	—

錢鈔

		寄付	大引
奉天(奉票)	現物	六六五〇、〇	六六五〇、〇
	先限	六六五〇、〇	六六五〇、〇
開原(奉票)	現物	六六〇〇、〇	六六〇〇、〇
	先限	六六〇〇、〇	六六〇〇、〇
同(鈔票)	現物	—	—
	先限	—	—
安東(鎭平銀)	期近	一、二三七	一二三八
	遠期	一、二三五	一二三八
哈爾賓(大洋)	現物	六三、四五	六三、五〇

手形交換高（一日）

金	一、一〇九枚	二、七四四、一二五圓
銀	一〇四枚	一、〇四〇、〇〇〇圓

開原信託改稱
近く總會に附議

【開原發】開原交易信託會社は近く臨時株主總會を開催し定款變更並に社名を開原交易會社と變更する由なるが右は定款第三條第一項中「精算信託業」及び同條第二項中「相互證券信託會社の現物取引精算事務取扱」を廢し專ら商事會社として雄飛する爲めなりと

上海爲替情報

材料小高なりし爲寄鼻氣迷ひの處日米高を入れ大連筋信亨等よく買ひ三井三菱圓八月八十兩八分の五で約三十萬買ひ漸騰し高値信豐永福昌少し賣りヨセフ（外商）圓傍約二百萬利喰賣ありし爲引け際下押した

上海標金

寄付	三九四兩四
高値	三九六兩三
安値	三九四兩三
止値	三九五兩〇

爲替相場（一日正午）

正金（銀勘定）

日本向參着賣（銀再）	八九圓三〇
同十五日買（同）	八〇圓三〇
上海向參着賣（銀再）	七二兩九〇
倫敦向電信賣（銀二志八片二分一
同二ヶ月買（同二志九片〇分〇

正金（金勘定）

倫敦向電信賣（圓二志十片十六分十三	
信用付一月買（同二志十片十六分十五	
米國向電信賣（百圓）四六弗八分一	
同九十日拂買（同）四七弗四分一	

鮮銀（金勘定）

倫敦向電信賣（同二志十片十六分十五	
同二ヶ月買（同二志十一片八分三	
紐育向電信賣（金再）四六弗八分三	
上海向電信賣（金再）八〇兩八分五	
同 賣（銀再）八九圓一五	
日本向電信賣（銀再）八九圓二五	
同十五日拂買（同）八〇圓五〇	

市場電報（一日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二四片十六分五
同 先物	二四片十六分七
紐育銀塊	五二仙八分五
孟買銀塊	五五留比十六分五
英米爲替	四弗八五仙十六分五
米日爲替	四六弗十六分七
米支爲替	五八弗十六分一

棉花

●米棉（換算九〇錢高）

現物	一九仙三〇
十月	一九仙一四
十二月	一九仙四〇
一月	不明
三月	一九仙八
五月	一九仙三三

●印棉

ペンゴール	二六〇留比
ヴローチ	三三八留比
オムラ	三二〇留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	八二九〇	八三〇〇
鐘紡新	六〇一〇	六〇一〇
鐘紡	二三〇一〇	二三五〇〇
日糖新	二八一〇	二七五〇
郵船	六七九〇	六七九〇
東新	一〇六〇	一〇六一〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一八八〇	一八八〇
東新	一〇九八〇	一〇九八〇
五品 當	一三三五〇	一三三五〇
中	一三二〇	一三二〇
先	一三三五〇	一三三五〇
豆新 當	—	—
中	一四〇〇	一五〇〇
先	一四〇〇	—
同（短期）	新東	五品
寄値	一〇六三〇	一三〇〇
引値	一〇六三〇	一三〇〇
高値	一〇六五〇	一三〇〇
安値	一〇四三〇	一二九〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二九六五	二九四〇
中限	二六六五	二六七〇
先限	二七六七	二七七二

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二九九九	二九九六
中限	二八四四	二八九九
先限	二八七三	二八七七

大阪綿糸

	前場寄	前場引
八月	二四六八〇	二四六八〇
九月	二四〇〇〇	二四〇〇〇
十月	二三一三〇	二三一二〇
十一月	二三四三〇	二三四八〇
十二月	二三〇五〇	二三二一〇
一月	二二八四〇	二二九〇〇
二月	二二六三〇	二二六九〇

大阪棉花

寄付　大引

神戶豆粕

	前場一節
七月	四六一五
八月	四六一〇
九月	四五〇〇
十月	四二六五
十一月	四二五〇
十二月	—
當限	六四〇
先物	六四〇

横濱生糸

限	前一節	前二節
八月	一三〇一〇	—
九月	一三五〇〇	—
十月	一三六〇〇	—
十一月	一三七三〇	—
十二月	一三七五〇	—
一月	一三七六〇	—

印度麻袋

鐵筋直積	三九留比〇分〇
靑筋直積	四四留比十六分三
爲替相場	一三九留比四分一

平安異香（67）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀情地獄（三）

「何時見ても大きいねこの門は、赤くて靑くて――さう〳〵、何時か龍宮の門みたいだと、思つたことがあつたつけ」

東山の勸修寺邸の外門を見上げて立つてゐる女は、それは珍しくもおつねだつた。下男の彌陀六をうまく手玉にとつて兵庫福原の勸修寺別邸を脫走し、枚方の五位の宿で謐かに問違へられて、帳包みにされて二階から轉がされ、淀川に落ちて危ふく土左衛門ならぬ土左姬にならうとしたところを若い學生に助けられたのはよいが、持病の浮氣が起つてやんわりと持掛けたのが間違ひで、山崎のあたりで荷揚をされてしまつて口惜しがつた御轉婆佳人のおつね――と云へば讀者にも馴染の女。

人の運命ほど判らないものはなく、その時變人の姿を胸に抱いて船を急がせてゐた學生が、僅か二旬に足らぬ間に運命の急變轉にあひ、今淸盛の土地獄と稱せられた死の門に向つて急いでゐる宮部春光なのだが、おつねはもとより夢にも知らない。假令知つたとて、行摺り一寸振向いて見た男に過ぎぬ春光だ。

「惜いことをしたね。いゝ男を」

世の中から美男が一人無くなつた事を、心の隅で瞬間淋しく思ふ位が關の山であらう。

そして、春光は春光、おつねはおつね、各々自分の運命の道を急いでゐるのではあるが、運命の道といふものが、並行線ときまつたものでない以上、何時何處で、二つの道が肩を並べるほどに近くなり、或は互に交錯して、世界つてものは案外狹いものだなアと、今更のやうに瞠目させる事がないとは斷言出來ぬ。そして、人生といふ一枚の織物が出來上るわけではあらうが、一本一本の織糸自身は一寸先の運命を知らない、それが人の世のはかなさであると同時に面白味だといふ――。

さて勸修寺邸の門前に立つたおつねだが、見たところ、何處でどう才覺したものか、きちんとした町娘の風俗になつてゐる。小袖の重ねに紅梅を散らせた被衣など着込んで、しをらしい所を見せてゐる。」

それが、丹塗りの門を見上げて何か才覺をめぐらせてゐるらしく下唇を輕く嚙んでゐたが、

「おほびらに名乘つて行ける柄でなし。門番を誤魔化すにしてもどう云つて門を開けさせたものか――自烈體ね。鞍馬の天狗の弟子にでもなつておけばよかつた。こんな塀ぐらゐ……」

チッと舌打した時に馬の蹄の遠響き――夫が近くなつて來るので振返ると狩衣に馬乘袴の身輕らしい武士が一騎、辻の芽生柳の下に現はれて、そこから、ゆつくりした步調になつて近づいて來る。

おつねは、路傍の池に佇んで、ポン〳〵と手を打つて鯉を呼ぶ。呼ながら被衣の蔭から窺ふと騎馬の武士――年は三十二三の男盛りだが、取りつく島もないやうな冷たい顏で、眼がいやにきつく此方をチラと瞥たまゝ行過ぎて門に立ち、馴れた訪問者らしく、すぐと小窓へ寄つて行つて聲をかけたが、腑の入つたいゝ聲だつた。

「お頼み申す。お頼み申す。使廳の判官小串九郎從行配下の捕吏、黒住彌八郎御召しによつて參上。御家人足海三左衛門殿のお召しかのやうに伺つてゐる」

「少時おひかへ――」

小窓が開いてカタリと閉ると、間もなくギーイ、鐵のやうな重さを思はせて一枚板の大扉が口を開ける。と、

「御免を蒙る」

馬のまゝ門を潜つて、そこで馬番に馬を渡して徒歩になる。

その背で、門が再びギーイと、地獄の門のやうな軋りを聞かせて閉まりかけた時に、

「あゝ危ない！」

門番が狼狽して引腰に扉にしがみついた。

「なんでことだ、馬鹿奴！そんな所に立ちやがつて――この扉に挾まれてみろ」

閉てきりの方の扉に寄りかゝつて、おつねがにつこり笑つてゐるのだつた。

戻橋上映準備　近く試寫する

マキノ大連出張所にては既報の如く去る三十日入港のはるびん丸でマキノの國産トーキー「戻橋」及びその發聲映寫機を取寄せ同夜より演藝館の閉館後アーバン映寫機に裝置してサウンドのテストを行ひつゝあるが、近く協和會館に於て映畫關係者を招いて試寫會を催し協和會館に於て封切し引續き演藝館に上映の筈であると

牧野省三氏の事業と功績（下）

◇

マキノ氏は常に何か考へてゐなければゐられない人であつた。松之助を賣出すには忍術を用ゐた、東亞やマキノにあつては劍劇を創始した「寄らば斬るぞ、虎徹が斬るぞ！」を今日の如くならしめたのは全くマキノ氏の力である。が、マキノの劍劇には、思想的に、忠君愛國といふものが盛られてゐた

◇

最近は、歌舞伎劇の映畫化について苦心してゐた。トーキーについても非常に辛苦し先頃「戻り橋」を發表して國産トーキーの第一聲を放つたが、氏は病床にあつてもこの改良を忘れず、今回の病氣は、トーキーに關する苦心が大いに與つてゐるといふ說である。

◇

先年伊井蓉峰の大石で「忠臣藏」の大作を撮影した折から病氣であつたが、この「忠臣藏」燒失の不幸後病氣は捗々しく治癒せず、自ら監督したものは少く、多くは息正博君やその後の監督を指導しマキノ映畫の改善進步につとめてゐた、氏は蒙古襲來と日蓮とを結びつけた「國難」を撮影すべく病中の材料を蒐集してゐたのに、この事を遂げなかつたのが、一つの心殘りであつたらうと思ふ。

◇

門下には阪東妻三郎、月形龍之介、市川右太衛門、片岡千惠藏、嵐寬壽郎その他のスターがあり現在撮影所には澤村國太郎、南光明谷崎十郎その他多數あり、俳優養成には天禀の手腕があつた。

◇

今後の撮影所は正博君が監督として、滿男君が總務として二人力を併せて亡父の遺業を守つて見せると、遺骸の前で誓つたといふから、益々名監が揚らうし、營業は知世子未亡人の采配で從前通りやられるからマキノの遺業はこれ等の人々によつて完全に護られるであらう。

映畫界東西

ユナイト社とメトロ社の作品は秋のシーズンから日本メトロ映畫が配給することに變更された。

◇

松竹蒲田撮影所で若手俳優が野球團を組織した、部長は鈴木傳明監督は押本映治、主將は若林廣雄

◇

日活の「東京行進曲」の興行成績から蒲田でも「陽氣な唄」のレコードを東京大阪六百軒のカフエーに寄贈した。

きのふ各地に於る赤化デー

奉天瀋陽旅館分號から不穩宣傳ビラを撒布す
附屬地に潛入の支那共產黨員

【奉天特電一日發】全滿赤化デーたる一日は奉天に於ても支那共產黨員が警官の眼を盜んで竊に赤化宣傳に努めてゐるので、奉天署でも之が犯人の大捜査に努めてゐると一日午後附屬地驛前瀋陽旅館分號（元悅來棧）の三階から「打倒帝國主義」「ソウエート政府擁護」その他撫原農場問題に關するビラを撒布せる支那共產黨員あり直ちに同旅館を包圍して犯人の大捜査に努めたが未だ逮捕するに至らない

奉天驛前でビラ撒布の宣傳部員一名捕ふ
連累者なほ多數の見込みあり　日支警察協力して捜査に努む

[illegible]るに一方驛前[illegible]撒布する支那[illegible]押へたが中國[illegible]なること判明[illegible]書の內容は帝[illegible]省內の日本人[illegible]頗る激烈なる[illegible]である、而し[illegible]ついて極力取[illegible]連累者多數の[illegible]警察と協力[illegible]る

赤色デーに奉天城內を嚴戒
支那兵五箇中隊出動

[illegible]方の中國共產黨と聯絡し何等か不穩の企てあるやの謠言があつたの[illegible]隊を以て城內[illegible]ゐるので極めて平穩である

ハルビンは平穩

【ハルビン特電一日發】八月一日の赤色デーを以て東支全線に計畫された同鐵道赤系現業員の同盟罷業に對し、支那側路警處及び特別區警察處は三十日から一大活躍を初め非番巡官全部を召集して嚴戒を加へたると、兩國間の和平氣分日一日と濃度を加へて來りたる結果、露人側の結束に隙を生じたるなどのため一日夕刻までは全線に何等の動搖なく、今後も平穩なるべしと見られる、今回支那がリストにより呼出しまたは留置した赤系露人の幹部は五十六名に達したと

上海共產黨騷擾陰謀

【上海一日發電】本日の國際赤化デーに騷擾計畫あり、共產黨は當地の黨員にピストル爆彈一個づゝの配布を終り帝國主義の外國領事館を襲擊するとの報は各領事館警察に達し、總動員で警戒に努めてゐる、なほ陸戰隊では西部邦人紡績會社及び北四川路方面邦人密集地に戰車隊を繰出し萬一に備へてゐる

首魁四名銃殺

【上海一日發電】租界內で逮捕され支那側警備司令部に引渡された共產黨中首魁と見られる李有臣等四名は支那街空地でいきなり銃殺された、之は本日赤色デーに對し警備司令部が斷乎たる處置を命じたゝめである

巴里で逮捕の宣傳員十六名

【パリー三十一日發電】一日國際赤化デーにつき當地に騷擾起るべきを氣遣へ步騎兵若干は當地衞戍隊に加勢すべくパリーに入り込みつゝあり既に十六名逮捕された

北平嚴重警戒

【北平一日發電】本日の赤色記念日は凡有集會禁止されると共に市內各所に多數の軍警配置され公使館區域最も嚴重に警備されてゐる

大連署でも嚴重取締勵行

一日はソウエート露國を中心とする赤化宣傳デーなので大連署高等係では朝來刑事を八方に飛ばし嚴重取締りを勵行したが、目下露支問題が紛糾してゐる際でもあり大した反響もなかつた模樣である

未曾有の大異動
總數約五千名に達す

【東京一日發電】今次の陸軍大異動は異動總數約五千名に達し進級者千五十名、轉補約三千百名、待命約一千名にて未曾有の大異動で待命は大將二名、中將十三名、少將同相當官級三十名、大、中佐各五十名となつて居り進級は大將二名、中將、同相當官二十一名、少將、同相當官五十三名、大佐、同相當官百二十名である

進級轉補
【夕刊のつゞき】

補明野飛行學校長　同　毛內　淸胤
補航空本部總務部長　步兵第二十八旅團長　同　外山　豐造
補近衛師團司令部附　步兵學校附
補步兵學校教育部長　同　原田　敬一
補航空本部總務部長　同　小磯　國昭
補陸軍省整備局長　步兵第三十九旅團長　少將　中村孝太郎
補朝鮮軍參謀長　佐世保要塞司令官　同　高橋　與八
補砲工學校工兵科長　騎兵學校長　同　梅崎延太郎
補騎兵第一旅團長　參謀本部兵第二部長　同　二宮　治重
補參謀本部總務部長　支那公使館附武官　同　建川　美次
補參謀本部第二部長　步兵第二旅團長　少將　古莊　幹郎
補陸軍省人事局長　步兵第一旅團長　同　小川恒三郎
補參謀本部第四部長　步兵第三十三旅團長　同　淸水　喜重
補士官學校幹事　陸軍重砲兵學校長　同　井上　達三
補砲兵監部附　豐豫要塞司令官　同　本庄　繁三
補工科學校長　輜重兵監部附　少將　飯田恒太郎
補自動車學校長　科學研究所第一部長　同　石井　英橘
補陸軍測量部長　教育總監部附　同　深見新之助
補近衛步兵第一旅團長　同　西尾　壽造
補步兵第三十九旅團長　少將　冲　直道
補步兵第一旅團長　同　佐藤　三郎
補支那公使館附武官　同　兒玉　友雄
補步兵第二旅團長　同　武藤　一彥
補騎兵第四旅團長　第四師團司令部附　同　鄕田　兼安
補豐豫要塞司令官　同　松村　乙二
補津輕要塞司令官　同　植村　東彥
補技術本部第一部長　同　青柳　和夫
補舞鶴要塞司令官　少將　加藤　鉉二
補科學研究所第一部長　同　梅戸　綽
補通信學校長　同　堀　丈夫
補下志津飛行學校教育部長　同　朝倉　章
補輜重兵監部附
補近衛師團軍醫部長　軍醫監　弘岡　道明
補飛行第一聯隊長　航空兵大佐　男爵　德川　好敏
補所澤飛行學校教育部長
補臺灣軍參謀　同　牧野　正廸
補飛行第五聯隊長　航空兵大佐　小笠原數夫
補航空本部第一課長　所澤飛行學校教育部長　航空兵大佐　大場　彌平
補明野飛行學校教育部長　陸軍大學校兵學教官

露支兩國正式會議愈よ開催に決定す
滿洲里に於る下打合せの結果　蔡交涉員あす歸哈

【ハルビン特電一日發】滿洲里における蔡交涉員及びメリニコフ氏との會見において愈よ露支正式會議を開催に決し、全權の任命、交涉地、期日等については追て協議決定することゝなり蔡氏は三日午後歸哈の筈であると

梅雨の空の北滿

在哈支那側要人連の履きちがひの日本觀
二十六日ハルビンにおいて
第七信　武田南陽

支那側が今、一番氣に病んでゐるのは日本の態度であることは前信に報じた通りであるが在哈支那側要人が同一のはき違へた考へを以て日本をながめてゐるやうだ、これは自分の野卑さを以て他を律するものであるが、さりとて日本としては相手方の考へが「間違つてゐる」ことのみを理由として傍觀しては居られない、支那側の蒙を啓くべく適當な措置が必要である、それは一見日本を同一の程度まで引きさげるもので日本は獨自の立場から大處高處に在つて善處すれば支那が何う考へてゐやうとも問題ではないとアッサリ取扱へばそれまでゞあるが、支那が如何にヒネくれた考へをもち如何に自分の心持で日本を律したとて日本と支那は「善隣」であり友邦である以上友の誤解、友の邪道に墮ちるを默視して「嗚呼度し難きものよ汝の名は支那である」とするはあまりに他人行儀である「親は極道ほど可愛い」心情を以て見てやることが日本人のみのもつ大護心ではあるまいか。

◇

さて、支那人の今の澁々たる間違つた考へ方だが、支那は東鐵問題に關する日本を……この問題ばかりではなく殆ど何時でも同樣ではあるが……次の樣に考へてゐる。日本は支那が東鐵の利權を回收したからその次ぎは滿鐵及び旅大にその鉾先を向けるであらうとの心配から勞農側に味方し支那を苦境に陷れやうとするは當然である、しかるに日本は支那あるがために日本の赤化が防止されてゐることに氣づかない、そして日本は當然支那を援助すべき義務があり支那は日本から好意をもつて接せらるべき特權がある。」

ことに至つては沙汰の限りであるが、しかし支那人はこれを眞面目に考へ眞面目に放言し好い氣になつてゐることだけは事實である。

◇

そこに日本としては「支那を愛すればこそ」の特殊の考慮が必要であり英斷、果斷「淚をのむの大乘的大慈悲心」が必要である、極道息子に對する斷當は慈悲であり愛であることを忘れてはならぬ（完）

補近衛步兵第四聯隊長　工兵第十六大隊長　工兵中佐　高家　庸彥
任工兵大佐
補鐵道第一聯隊長　步兵第二十三聯隊長　步兵大佐　依田　四郎
補第四師團參謀長　陸軍省軍務局課員　步兵中佐　河村　勸市
任步兵大佐
補本鄕聯隊區司令官　第三師團參謀長　步兵大佐　谷　壽夫
補參謀本部課長　陸軍省整備局課員　步兵中佐　安井　藤治
補整備局動員課長　陸軍省軍務局課員　騎兵中佐　濱田　陽兒
補騎兵第三聯隊長　步兵第七十四聯隊長　步兵大佐　岡部和一郎
補教育總監部第一課長　參謀本部課長　同　岡村　寧次
補陸軍省補任課長　步兵第二十聯隊長　同　高田　友助
補陸軍省恩賞課長　步兵第一聯隊長　同　服部兵次郎
補臺灣軍參謀　大阪工廠彈丸製造所長　砲兵大佐　林　猖之助
補陸軍省銃砲課長　近衛步兵第四聯隊長　步兵大佐　大濱石太郎
補第十師團參謀長　陸軍省軍務局課員　航空兵少佐　中富　秀雄
補飛行第一聯隊附　飛行第一聯隊附　航空兵少佐　安倍　定
補陸軍省軍務局課員　少將　澁谷伊之彥
補步兵第三十三旅團長　步兵第六旅團長　少將　井上　忠也
任航空兵大佐　航空兵中佐　春田隆四郎
補飛行學校第五聯隊長　陸軍省動員課長　步兵大佐　東條　英機
補步兵第一聯隊長　侍從武官　同　川岸文三郎
補第四師團司令部附　步兵第十九旅團長　少將　小杉　武司
補步兵學校附　少將　篠原　四郎
補第二十九旅團長　旅順要塞司令官　少將　山田　勝康
補步兵第六旅團長　關東軍司令部附　少將　秦　眞次
補第九師團司令部附　野戰重砲兵第二旅團長　同　入江仁六郎
補野戰砲兵學校教育部長　野戰砲兵學校教育部長　少將　倉岡　直熊
補野戰重砲兵第二旅團長　第十六師團司令部附　少將　林　彥一
補第三師團司令部附　第九師團司令部附　同　廣澤　敬策
補第十六師團司令部附　少將　長谷川國太郎
補第一旅團長　主計監　長野　捨吉
被仰付待命　津輕要塞司令官　少將　岸　孝一
補運輸部附　少將　黑田　周一
補步兵第二十四旅團長　同　石坂　弘毅
補步兵第二十二旅團長　同　古賀　徹治
補熊本教導學校長　軍醫學校教官　軍醫監　小山　憲佐
補第四師團軍醫部長　近衛師團軍醫部長　軍醫監　倉林　香三
補軍醫學校附　少將　中屋　良雄
補佐世保要塞司令官　陸軍少將　同　三輪　時雄　同　村瀨　文雄
任陸軍中將（各通）　主計監　中村　精一　同　佐野　會輔
任陸軍主計總監（各通）　步兵第四十五聯隊長　步兵大佐　末松　俊造　同　森下　千一
任陸軍少將（各通）　一等主計正　長野　捨吉
任陸軍主計監　一等軍醫正　春日　健造　同　戸塚　緯
任陸軍々醫監（各通）　一等獸醫正　新庄　樋三

大連驛に着いた松岡滿鐵副總裁

任陸軍獸醫監
勇退
軍事參議官大將　岸本鹿太郎
第三師團長
第十四師團長　中將　安滿　欽一

孫科、張學良兩氏けふ重要會議か
北戴河に於て東鐵問題に關して　朱紹陽氏哈市へ向ふ

【北平一日發電】孫科氏は昨夜張學良氏に對し東鐵問題善後處置につき商議し度いから北戴河まで出向かれ度いと打電したが、張學良氏は右懇諾の返電を發したので多分明日北戴河にて張學良、孫科兩氏間に重要會議が開かれるはずである、なほ孫科及び朱紹陽兩氏は同車して今朝八時半離平し孫科氏は北戴河に、朱紹陽氏はハルビンに向け出發した

西部國境の兩軍配置

【支那側】總司令梁忠甲（滿洲里近く海拉爾へ移動）滿洲里五千、海拉爾五千、伊勒克特二千

西部國境兩軍配置　七月廿九日現在

『僕が浪人したら間島敦化を充分に視察』
吉敦線視察と奉撫訪問を終り　松岡副總裁歸任す

吉敦鐵道を視察後奉天、撫順等を訪問した松岡滿鐵副總裁は一日十七時大連着列車で隨行者の穗積參事及び熊岳城から同車した保々地方部長、大房身まで出迎へた寒河江情報課長と共に歸連したが大房身で出迎へた記者に大要左の如く語る

吉林では 張作相氏を、奉天では北陵の別莊に張學良氏を訪問したが兩氏は從來から個人的にも殊に親密であつたゝめ別れの挨拶をして來た、學良氏には特に健康を祈つて置いたが「總裁の辭任は政治的に止むを得ぬかも知れぬけれどもあなたが辭任しなくてはならぬ理由はないでせう」などゝ非常に名殘を惜しんでゐた、奉天、撫順と廻つて見ると現內閣の緊縮方針に隨分不安を抱いてゐる向きもあつたが、國稅による臺灣、朝鮮の如きは兎もあれ

關東州の 如きは滿鐵が自ら收益を擧げてそれで事業を遂行して行くまでのことであるから緊縮政策など何等影響を受けることはない、殊に山本總裁は就任以來一千萬圓を緊縮して寧ろ社員から怨まれる位だつたぢやないか、然し山本總裁の緊縮は所謂浪費を節約し投ずべき事業には積極的にこれを投じたのであつて滿鐵の如きこれ以上の緊縮（浪費節約）は絕對に出來ない筈だから何等不安の念など起さず滿鐵のため國家のため

努力する よう激勵して來た、政變によつて山本總裁が辭任されるようになつたら直ぐ鞍山居住民が新義州製鋼所問題を持出して鞍山に建設方を運動するなどは見下げ果たものだ、鞍山の發展を願ふ彼等には同情するも國家的見地から考ふるときは止むを得ない事情がある、それは充分知つてゐる筈だ、殊に鞍山は百萬噸製產計畫には水量が不足を生ずることになつてゐる、水の關係から云へば寧ろ蘇家屯附近が最も好適地であつて鞍山の運動者あたりも

狹い意味 の鞍山のみを考へず各方面の事情をよく考へて貰はねば困る、吉敦沿線の處女森、處女土地は日本民族の移住を待つてゐる、支那の行政のもとに滿民族、鮮人の間に這入つて大に開拓すべきである、馬賊などの危險には自警上なに大砲の一つ二つは据えたつていゝぢやないか、殺風景な南滿など捨てたつていゝ吉敦線の無限な大森林と豐饒な沃土とは

日本民族 に最も適してゐる、この方面は鮮人が治め日本人が征服したことさへある所謂日本人の祖先の地といつていゝ位な因緣ある土地だ、殊に同沿線の山川はこれを花にたとふれば旅大間の山川が造花で吉敦線の山川が神技も及ばぬ自然の花だ、造花を捨てゝ自然の花を更によりよく育てゝ行くことにして貰ひたいと思ふ、僕が之れから浪人すると間島方面から敦化へかけて大いに實地の視察をし、而して是非會寧への全通に努力をしたいと思つてゐる、今日では

敦化まで 半分を完成してゐるが會寧まで全通の曉滿鮮日の三民族が享受する利益は蓋し偉大なるものであらう

因に驛頭には田邊理事、木村人事課長その他多數社員が出迎へた

中將　宮地久壽馬
第十九師團長　中將　渡邊　壽
第六師團長　中將　福田　彥助
工兵監中將　佐藤　信
第三師團司令部附　中將　鳥谷　章
東京灣要塞司令官　中將　汾陽　光二
同　大村　齊
同　松井　順
同　水町　竹三
同　服部　眞彥
同　四王天延孝
同　上村　良助
陸軍運輸部附　中將　秋月　胤逸
自動車學校長　中將　唐原　與次
同　上野　西郎
同　末松　俊造
同　山本　芳輔
同　山田　政一
同　瀧川　良治
同　高城　莊吉
同　竹下　篩國
同　古賀　徹治
同　新山　福治
同　野田　三藏
同　中村　良雄
同　川野　傳一
同　渡邊　辰二

軍事參議官　大將　田中　國重
中將　瀨戸口彌太郎
步兵第七旅團長　少將子爵　西四辻公堯
少將　小野　茂幸
第十二師團司令部附　少將　森下　千一
臺灣守備隊司令官　少將　細木　研
少將　二宮　久二
少將　大家德一郎
步兵第二十二旅團長　少將　藤井　一彥
少將　久我正二郎
軍醫學校附　藥劑官　川俣　次郎
第四師團軍醫部長　軍醫監　關口通太郎
第十六師團軍醫部長　軍醫監　鈴木久之進
軍醫學校部員　軍醫監　春日　健造
待命被仰付（各通）

水町少將の待命
滿洲事件の祟り

【東京一日發電】前滿洲獨立守備隊司令官水町竹三少將は中將に進級の上待命となるものと見られてゐたが少將のまゝ待命となつた右は滿洲事件につき村岡前關東軍司令官に殉じたものと見られてゐる

山本總裁昨朝着京

【東京特電一日發】辭任の意を決して上京の途にあつた山本滿鐵總裁は途中大阪に於て同地の實業家を招待後、一日午前十一時十五分東京驛着にて歸京した

五品整理決定す
所員十五六名淘汰

五品取引所では卅一日の重役會の結果、いよいよ既報內容整理案を愈決定し重役給與は原田理事長は半減、その他の平重役は全部無報酬となす事になり尙人事整理は矢野營業部主任以下十五六名を陶汰することになつた

佛首相の信任投票

【パリー卅一日發電】佛國下院は本日新首相ブルアン氏の施政方針演說書に對し百三十六票對三百二十五票の多數で信任投票を與へた

露國碎氷船北極探檢へ

【モスコー三十一日發電】勞農ロシヤ碎氷船セドフ號は極北の地に恒久的殖民地を設置すべく探檢のため七月二十八日フランツヨーゼフ、ランドに到着、今や同地には勞農赤旗が飜へつてゐる

木村莊十氏退社

本社政治部員として在勤した木村莊十氏は一身上の都合により豫て辭表提出中のところ七月三十一日限り退社した、尙同氏は當地に在留する由

人事

▲佐藤四郎氏（哈爾賓日日新聞社長）一日本社編輯局長兼務の爲め來任
▲太原要氏（本社奉天支社長）同日本社支配人兼務の爲め來任
▲拓大滿鮮北支視察團　一日午後二時發の天潮丸にて天津へ
▲京都教育視察團一行十二名　一日十七時着列車で來連遼東ホテルに投宿

安樂椅子

本社の懸賞論文に入選した人々の談話を讀んで考へさせられることは▲金丸精哉氏は尋常三年から大連で育つた滿洲つ子▲高野運太郎氏は在滿十年の眞摯なる教育家▲福田八十楠氏は滿洲在住こそ日は淺いが長く北海道に在つて殖民地生活、開墾事業、農業知識等に豐い體驗を有する人▲入選の順位が在滿年數に比例してゐることが此種論文は決して小說的作品や空想乃至ありふれた資料の綜合では出來るものでなく▲眞に滿蒙を理解し滿蒙の土地に親み、滿蒙開發に對する一國の運命をかけての燃ゆるが如き「熱」の「度」によるものである事を如實に示す▲更に佳作に入選の岡川榮藏氏は以前奉天で三年間水田經營の經驗を有し其後宇都宮高農在學中夙に「滿洲米作論」の著書を公にした程の熱烈な滿蒙產業開發論者だと云ふのも之を裏書きする

錢鈔

定期後場（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
期近	八九五	八九五	八九四	八九五

出來高　期近　百五十四萬五千圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	八九〇	一一〇五五	一二四四〇
二時半	八九五	一一〇五五	一二四四五
三時	八九五	一一〇六〇	一二四五〇

出來高　銀對金一萬六千圓　銀對洋四千圓

商品後場

麻袋（出來不申）
綿糸布（保合）

銘柄	約定期	値段	枚數
福助	十月末	二三五五	四〇
福助	十一月末	二三一一	一〇

出來高　五十梱

神戸特產物（一日）

品名	値段
大豆現物	七四五
先物	六四五
豆粕現物	二一五
先物	二一五
滿洲小麥	四六一
豆油現物	七二〇
	二一〇〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一七五〇	一一六四〇
東新	一〇三六〇	一〇四一〇
五品	不申	一二五〇〇
中	一二二五〇	一二二七〇
先	一二二五〇	不申
信中、先	先（不申）	[illegible]
豆新	不申	[illegible]
豆中	[illegible]	[illegible]

東京株式（短期）

	五品	東新
寄値	不申	一〇四五〇
止値	不申	一〇三八〇
高値	不申	一〇四五〇
安値	不申	一〇三四〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八〇一〇	七九八〇
大新	六六〇〇	六五七〇
鐘紡	二四九三〇	二四九〇〇
鐘新	一一七五〇	一一七〇〇
日糖	六七九〇	六七九〇
郵船	不申	不申
東新	一〇四四〇	一〇四六〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
八月	二四六七〇	二四六九〇
九月	二四〇〇〇	二四〇三〇
十月	二三一八〇	二三二八〇
十一月	二三五八〇	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
八月	二九〇〇	二八八一
九月	二八二〇	二七九〇
十月	二七〇九	二六八〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
八月	二八五八	二八〇五
九月	二七七六	二七六五
十月	二六八五	二六三九

神戸期米

限月	後場寄	後場引
八月	二九四五	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
八月	一三〇六〇	不申
九月	一二九〇〇	[illegible]
十月	一二八六〇	[illegible]
十一月	一二七四〇	[illegible]
十二月	一二七四〇	[illegible]
一月	一二七五〇	[illegible]

滿洲日報

歐洲聯邦の議

佛新首相ブリアン氏が前内閣の外相時代に提唱したヨーロッパ聯邦組織の議は、理論としても主張としても、必ずしも斬新とは言へない。即ち理論としては有名なる評論の評論創立者たるステッド氏が、大戰爭以前、これを論議したことがあり、戰爭以後に在つてもオーストリアの某青年教授は、夙にヨーロッパ各國人間の關稅戰爭を憂慮して、經濟的見地からヨーロッパ聯邦の議を提唱したことがある。更に又、この種の議論に對して英帝國の經濟統一を說いて、本國および各自治領間の關係を打つて一丸となし、斯くて經濟的又は生產的に能率の增進を擧ぐべく主張した者に、當時のモンド氏、今のメルチエット卿がある。

◇

然し少くともヨーロッパ聯邦の議に關する限りにおいて、大戰爭後の形勢が果してこれを實現せしむべく有利であるか否かを考察する時、何人もその判定に躊躇なきを得ない。國際關係が戰爭以後に至りて、著るしく改善せられ、殊にその平和思想の隆興を見たことは、疑ふべからざる事實であると共に、一面に在つて國民思想の緊張を見つゝあることは、著大なる事實であるからである。啻に國民思想の緊張を見つゝあるのみならず、別に宗教的情熱が果して所謂經濟的關係のために、幾何程度まで抑制せらるゝかも亦、疑問であるからである。

◇

ロシアの赤化宣傳が、その第一手段として先づ各國民の國民的自覺を刺戟し、外來の資本主義又は帝國主義の排擊を爲さしむることを以て、常習と做して居ることは曾て本欄に記述した通りである。而してこれが爲めに、折角の赤化宣傳が却て自家撞着、破滅の導火となりつゝある傾向に就いて、最近北滿におけるロシア側の大敗退に徵しても、容易に看取せらるゝところである。即ちロシアは支那における資本主義又は帝國主義を排斥せしむる手段として、先づ支那大民の國民的意識を刺戟した結果、われから北滿における地位を覆へさるゝに至つたものと解しても、恐らく不當ではないであらう。

◇

然し國民思想を刺戟した原因は單にロシヤの赤化手段のみではない。例へばウイルソン氏の提唱に係る民族自決主義の如きは、正しくその原因とも動機とも爲つたものと解せなければならぬ。現に戰爭以後、再興若しくは新興せられたる中部ヨーロッパの諸小國、バルカン諸邦において、常に政治的の隱然顯然たる大勢力と爲りつゝあるものは、悉く國民思想又は國民的感情であることを知る者は、この間の事情を解するに苦しまぬ筈である。更に宗教的情熱の如何に旺盛で、且つ抑制し難いかを知る爲めには、インドにおける騷擾、アフガンにおける內亂等、等、これ亦その例證をあぐるに苦しまぬに相違ない。

◇

これ等の國民性乃至信仰は、假りに現在ヨーロッパにおける國際的經濟關係を以てしても、固よりその制抑、根絕を期すべからざる勢力であつて、所謂ヨーロッパ聯邦組織が直ちにヨーロッパ帝國を組織すると全くその趣きを異にするとは言へ、到底これが實現に就いて、有利なる存在と見ることは出來ない。要するにブリアン氏の提唱の如きこれを幾たびか先人に依つて主張せられたる理想の練習と做さゞるを得ない。

懸賞論文

滿蒙の地より母國の友へ送るの書

(二)

當選作　金丸精哉

開闢此處に三千年。母國は極度に疲弊して了つた。八千萬の赤子達はその乳房に蝟集して泣き喚いても、もはや吸ふべき乳の一滴だに殘つてゐないのだ。限りある國土に限りなき人口の增加。

これが日本の前途に投げかけられた忌まはしい暗翳である。

年々七八十萬づゝ殖えてゆく人口は、二十年を出でずして優に一億の日本民族を形成せんとしてゐる。亡び行く民族に比べて何と欣ぶべき現象であらうか。

然し「國家繁榮の最も確實な證左は、その住民數なり」といふ眞理も其住民に衣食足つてのみ成立するものであり、これを容れるべき土地と、これを養ふべき資源が伴はなければ、徒らに生活程度を低下せしめて國民を塗炭の苦みに陷れるものであらう。

こうして慶賀すべき人々の增殖も、土地と資源に缺乏した日本には、却つて禍ひとなつて我國民は今や囂々たる生活難、就職難の社會苦の路頭に迷ひ、その行く手には幾多の恐るべき暗礁が伏在してゐる。

此の混沌とした世相に、ある者は誇るべき國體の尊嚴を無視して社會を根底から覆へさうとする危險思想を抱懷し、また或る者は民族興隆の萌芽を摘除するやうな產兒制限論まで唱導しだした。

だが僕は思ふ。千八百七十年を以て支那の人口が飽和點に達したやうに、凡そ人口增加の趨勢は何時かその飽滿點に達するであらう。その時になつて人口增加の必要を叫んでも及ばないのだ。我々は與へられた勃興の機運を阻止してはならない。一片のパンを爭ふ前に、如何にして二片のパンを造るべきかが問題なのだ。

實際、日本存亡の死命を制するものは豐饒な資源と、廣大な土地とである。

哀れな日本人達は、貰ひ乳でもするやうに、遙々南洋へ、北米へと各々資源をめざして海を渡つた。そして彼等は、彼等の皮膚が黃色いといふ理由で入國を拒絕され或は國家的衿持も沒却して屈辱的な忍從の生活に沈淪しなければならなかつた。

而して現今では、ブラジルでなくては「海外雄飛」でない樣な風潮を現出してゐる。

彼等は一攫千金の夢を、桃太郎のやうな功名心に胸躍らして夫々南米をさして出かけて行く。

だが、この狀態が果して何時まで持續されるであらうか。

偶然な機會から必要以上に尨大な領土を獲得した國々も、近い將來に於て必ずや異民族の前に門戶を閉ざすであらう。

そうして、日本の渡航者達は、遂に世界の堂々めぐりに絕望を感ずる時が來るにきまつてゐる。

母を求めて泣き叫ぶ子が、泣き止んだ時、はじめて優しい母の呼び聲が耳に入るやうに、その時になつて、彼等は彼等の先輩が二度までも國運を賭し、幾多流血の犧牲を捧げて戰ひ守つた滿蒙が、彼等の求めてやまない富源を秘めて靜かに彼等の眼前に橫たはつてゐたことに氣づくだらう。

然し、時態は最早、天の時を待つて居れないほど逼迫してゐる。

◇

「滿蒙は日本の肥料である」

今は亡い元奉天政府の財政總長王永江は云つた。

實に祖國の衰滅に瀕した地力とこれに寄生する青白い蒼生に、潑剌たる生氣を注入するものは滿蒙を措いて他にあるまい。

茫々として涯しない無限の沃野、鬱蒼として天を摩す悠久の森林。諸土の地底を織なす無盡の鑛脈。

それ等の總てが我等の手によつて開發される時、現在日本の憂患は一掃され、鬱血した禍根は痛快に剔抉されるのだ。

露國の要求に支那は讓步

對策を授り蔡交涉員 滿洲里に急派さる

【哈爾賓】支那側は當地において露支會議開催を計るため蔡哈爾賓交涉員を奉天に召致し交涉對策を授け二十九日直にメリニコフ勞農總領事と會見のため滿洲里に急派したが、露國側が飽くまで最初の聲明を嚴守し會議開催の前提として東支鐵道の露支兩國勢力を原狀に復歸せしめることを要求しつゝあるに對し、支那側が何處までその要求に讓步するかは會議成否の運命に關する重大なことであるのでその內容は今のところ窺知し難いが一般に尠からず注目されてゐる、即ち最初支那側で東支鐵道を事件後の現狀のまゝに置き兎も角會議を開いた上で問題を解決したいといふ肚であつたが、その後四圍の狀勢は支那側に頗る不利で若しこの際露國側の要求に幾分でも讓步を示さない以上露國側の態度が甚だ強硬で會議成立の希望は勿論各國の同情をも失ふ恐れがあるので、過般長春における張作相及びメリニコフ兩氏の會見においても表面自國側の體面を損せざる形式において露國側の條件に對し讓步の意思あることを仄かし、その具體的の交涉は更に奉天當局の命を奉じて行ふことを約して別れたものゝ如く、蔡交涉員は二十五日午後六時三十分メリニコフ氏の西行を見送り即夜南下張學良氏と會見し長春會議の模樣を報告するとゝもに會議交涉の對策につき教示を受けて二十九日歸哈、直に專用車を用意してメリニコフ總領事と會見交涉のため滿洲里に急行したものであるといはれてゐる

露支會議

八月上旬か

【哈爾賓】東支問題解決のため露國側に任命されたセリブリヤコフ氏は目下齊多に滯在中である、滿洲里における蔡交涉員とメリニコフ氏との會見の結果によつては蔡氏が豫め用意して行つた特別專用車に登乘して來哈すべしと傳へられてゐるが、一方支那側全權朱紹陽氏も支那側消息によると多分八月一日頃着哈の筈であるといつてゐるから、若し當地で露支會議が開かるゝとすればその開期は八月上旬中であらうと見られてゐる

外蒙の自動車を沒收

【哈爾賓】外蒙官憲が時局の紛糾に乘じ日頃から反感を抱いてゐる支那側に對し反抗的態度に出で過日も張家口、庫倫間の支那乘合自動車八十臺を稅金未納の口實をもつて差し押へたことは既報の通りであるが、これを知つた支那側はその報復手段として張家口にあつた外蒙の自動車五臺を沒收したと

日本領事館で支那人保護

【哈爾賓】ハバロフスクにおける支那領事館引き揚げ後の支那在住民保護は日本領事館に委託された由である

定員不足の吉林常備軍

逃亡兵が多いため 夥しき數に達すること

【吉林】當地軍事消息通の談に依れば吉林省常備軍は國防及省防軍總計五萬五千と註せられて居る、而して各軍隊の內容を視ると定員の約十五%は常時空員であるが、其空員は該所管長官が私服を肥やす爲め不正に充員しないのもあらうが其多くは持兵器逃亡して馬賊群に投入し手配中のもの或は事故の爲め除隊したものを其儘補充せずして居るのであるが、一朝有事の際動員下令若くは臨時檢閱等の場合は俄に各軍隊共大童になつて新募兵を行つて居ることは掩ふべからざる事實である、試みに七月二十六日附吉林省政府公報を以て吉林軍逃亡兵手配狀況を一瞥すると、六月上旬のものにして今回發表のもの（前回のものは別）八百六十一名であつて、六月中旬以降のものは未だ判明しないが現下露支時局に當り各軍隊移動に伴ふ逃亡兵は尙想像するに難くない、因に六月上旬迄の逃亡兵を各旅別に示せば

陸軍第八旅　五百二十八名
同第十八旅　五十二名
同第十三旅　十三名
同第二十一旅　五十四名
陸軍訓練所屬各旅　二〇八名
其他　六名

支那人の財產沒收

ブ市に於て

【哈爾賓】ブラゴエスチエンスクからの消息によると同地の赤衞軍は殆ど全部ゼア河下流タンボフカ方面へ出動して了つたので、現在武市には僅かに步騎砲兵を合せて八百の兵が駐屯してゐるに過ぎないと、尙ほ同地の支那居住民約六百名は全部露國側から財產を沒收され中には監禁されてゐるものもあると

支那軍隊引揚げ

ポクラから馬橋河へ

【哈爾賓】三十日ポクラニーチナヤよりの電話によれば同地の支那兵のうち約一千名は早朝から馬橋河へ引き揚げを開始した、尙ほ馬橋河の支那官憲は軍隊の引揚によつて驛構內にある食用穀類が掠奪されるのを憂慮し各荷主に對しその處分方を警告するところあつたが、荷馬車及び貨車が非常に不足してゐるので今急には安全地帶へ搬出或は輸出することは困難であると

地方治安維持の通令

【吉林】省政府主席張作相氏は露支時局に伴ふ地方治安維持に關し最近全省各縣知事に對し大要次の如き通令を發した

本省各縣駐防軍の一部は國防上必要の爲め國境方面に出動せしめたるが、現下草木繁茂し匪賊は各地に跳梁跋扈し爲めに地方治安を害すること甚だしく此際各縣長は管下警團に戒飭し責任を以て極力管內の維持に盡さざるべからず、抑も各縣の治安維持は其縣長に專ら責任あるものにして駐防陸軍は唯單に協助の地位に過ぎない、故に軍隊開拔に口して警備薄弱を愬ふるは甚だ不當である、若し今後匪賊防止の疎忽から事件を發生せしめた場合は所管縣長の責任に歸せしむるであらう

露支問題に對する歐米各新聞の論調

露支紛爭問題に對する歐米各國の新聞論調左の如し

▲英國　タイムスは十六日の社說に於て

露支開戰の場合日本は自己の利益を擁護する爲めに直ちに必要なる措置を双方に對して執ることゝなるであらう、而して支那側の頻々たる條約違反と露國の赤化宣傳は孰れも日本の同情を得ないであらう、又一方滿洲に於ける露國軍國主義的實現は英露國交恢復に對し最も惡い宣傳となるのである

マンチエスター、ガーデアン　日本が此の事件を平和的に解決する爲め努力せんことを希望する

▲獨逸　ベルリーナ、ターゲブラット（中央黨機關紙）は十五十八の兩日に亘つて露支問題に對する國際聯盟の活動を極力慫慂しアルゲマイネ（保守黨機關紙）は十九日の社說で

兩國とも徒らに感情に走ることなく冷靜に事件の核心に局限して早く解決を謀るべきである

▲米國　十九日のワシントン各新聞は一般に露國側の態度を正當であるとする傾向が極めて顯著であつた、之と同時に不戰條約の關係もあり米國が指導的態度に出ることの望ましいことを述べ、ニユーヨーク、ヘラルド、トリビユーンは

米露間の實情に顧みるならば今度の事件の解決には日本が最も有效なる地位に在るものである

と云ひ、十九日のシカゴ、デーリ、ニユースは

日本は當然今回の紛爭の調停役たるべき地位に在ること、並びに日本が若し調停に當ることを避くるならば支那が聯盟國であるから他の聯盟國が之に當るべきである

と論じ、シカゴ、トリビユーンは

戰爭開始の場合支那は國民の注意を外に向けて國內統一の機運を作る爲め大に利する所があるかも知れないが却つて軍費の增大、裁兵の運延、引いては再び強力なる軍閥の擡頭を促すことになるかも知れない

と論じてゐる、二十日のワシントン各新聞は國務長官は今回の事件を仲裁々判に依て解決し得べきことであると認めてゐること、露支兩國は何れも不戰條約加盟國たる事實を指摘し兩國の注意を促すこと、並びに米國側から四條約調印國である日英佛三國に對し注意を喚起することに決定したとの國務省側の報道を記載し、ニユーヨーク、ウオールド及びバルチモーアサンは何れも此の國務省の處置を妥當であるとして歡迎してゐる

▲佛蘭西　十九日の巴里諸新聞は露支兩國が斷交しても開戰には至らないであらうと觀測する者が多數で、一般に紛爭の根本原因は勞農の赤化宣傳に在るも寧ろ露國を攻擊する者もあり一方タン及びプチー、ジユーナードは

東支事件は獨り露支間のみの問題でなく列國殊に東支に投資してゐる佛國には重大なる利害關係がある

と述べ、ジユーナールは

列國は不戰條約及國際聯盟第十七條の活用の途の有無を大いに考慮するの必要がある

ことを主張してゐるが、此の聯盟規約第十七條の問題に就いては各新聞はジユネーブ通信として聯盟事務局內部の關係では之を實行することは困難であるといふ報道を揭げてゐる、二十日のパリー各新聞は十九日ブリアン外相は米國々務長官の希望に基き在佛露大使及支那公使を相次いで召致し、不戰條約の成立した此際露支兩國に於て此の紛爭を平和的に解決すべき旨を希望したと報道すると共に、此のブリアン外相の措置を以て何れも機宜に適したものであると稱揚した

支那側に復讐陰謀

露人共產黨が

【吉林】表面白系の如く裝ひ吉林省城に居住する赤黨露人某の密に洩らす所に依れば、支那側は今回東支鐵道回收に次で「ソウエート」國籍の鐵道從業員全部を罷免する意嚮であるが、一方露人共產黨員等は各地の黨員等と連繫して復讐的に鐵道運行を妨害すべく暗々裏に企圖して居ることは事實の樣であるから何時如何なることが發生するかも知れないと

省政府機關紙 吉長日報擴張

【吉林】吉林省城發行の吉長日報は省政府の機關紙として省政府其他各機關より莫大の補助を受け從來日刊六頁二千五百部を發行し來れるが八月十五日より八頁に擴張して內容の改善を圖つてゐる

拿捕軍艦廻送

【哈爾賓】松花江下流拉哈蘇々附近で露國砲艦のため拿捕された支那汽船四隻は、廿七日更らにブラゴエスチエンスクに廻送されたと

墾民教育研究會長の罷免を申請

【吉林】延吉縣長孫象乾は省政府の命に依り日本側の鮮人教育を牽制する目的にて歸化鮮人及在住支那人有力者を以て墾民教育研究會を設立し、一方之れが支鮮人の感情融和を圖る楔子たらしめんと努めつゝあつたが、近時該研究會長金仁山（歸化鮮人）は縣政府の命令に反逆して縣下各鮮人學校に對し教科書は從前のものを使用し支那側の辦法に遵ふべからずと布達し支那の教育行政を紊るものなりとの理由の下に罷免方を省政府より吉林教育廳に命令方申請して來たと云はれてゐる

朱慶瀾氏起用

【奉天】張學良氏は今回朱慶瀾氏を對露問題專任委員に任命したと云はれてゐる

慈惠團體實情調査結果

恩賜財團慈惠賜金を下附するため布勢經理課理事官、地方課小林屬の兩氏は廿九日から二日間に亘つて大連の慈惠病院、宏濟善堂、聖德殿其他補助團體の實質調査を遂げた、近く其等の團體に對して補助金が下附される筈であるが、恩賜財團は三十四萬五千圓餘の資財から生ずる利子を以て補助を行ふので慈惠病院には相當纏まつた金額の補助交附がある筈

滿日地方版

奉天

七A對零で滿俱の慘敗
對關西大學第二回戰

關西大學對奉天滿俱の第二回戰は卅一日午後四時半から新公園グラウンドに於て擧行された、最初兩軍とも緊張味を加へてゐたが第三回目に關大二點を入れ滿俱之を取り返さんと努力せしも六回目に關大のヒツトに續け樣に四點を入れて勝を制し、滿俱は愈々ダレて遂に最後まで點をなさず七A對零で滿俱慘敗した、閉戰六時半審判高鍋、嘉多球兩氏滿俱先攻メンバーとスコア左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿俱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
關大	0	0	2	0	0	4	1	0	A	7

俱 井谷田原藤野木村嫁 574326918
滿 室油原水近中青田肥
關 豐小坂本櫻香三小川 479318652
大 田田井田井西木寺村

華人慰安映畫

滿鐵社會課では左の通り第二回中國人慰安活動寫眞を映寫すると
一、日時 八日午後七時
二、場所 舊グラウンド
三、プログラム 實寫捕鯨船、漫畫インキ壺カラ、ジヤボン王、出鱈目な話。華嚴の瀧、蛙は蛙梅蘭芳獨大喜多從軍記

瀋海線復舊

過般の豪雨で瀋海線南口前驛以北は通信杜絕して居たが二十九日より開通し、又卅一日第二列車から徒步聯絡で列車の運轉を開始した

水泳大會
來る十一日に

奉天水泳俱樂部主催州外水泳大會は八月の暑の期を利用して左の如く開催すると
一、期日 八月十一日午後一時
二、場所 奉天プール
三、種目 五〇、百、二百、四百千五百、百バツク、二百ブレスト、四百リレー
ダイビング
スワロー、ジヤクナイフ、バツクダイル、ランニングソマ外に選擇種目四種
四、採點 一等三點、二等二點、三等一點、リレー同上
五、申込所 奉天地方事務所社會係江頭氏宛

道路擴張工事

奉天附屬地から城內に通ずる大西關道路は約一ケ月間の豫定で擴張工事を開始し卅日から通行禁止となつた

青年軟球大會

奉天青年團軟球庭球大會は來る四日(第一日曜)午後一時から春日小學校コートに於て開催すること になり、選手は團員のみ各分團から二組以上出場し分團對抗優勝旗爭奪戰であり各選手は目下必勝を期して猛練習中である

不心得を說諭

奉天署管內の點呼は卅、卅一の兩日奉天彌生小學校に於て施行されたが、卅一日點呼の際奉天鐵道事務所工務員某は在鄕軍人の徽章を忘れてゐたので係官から注意された處、却つて係官に喰つてかゝつたので係官からその不心得を說諭されて引下つた

拳銃密輸
二名の邦人

廿九日列車內で拳銃密輸中檢擧された邦人が二名あつた、その一人は昌圖城內黑岩方無職坂本七郞(三七)と稱し廿九日十一時四十五分奉天驛を發した第廿一號下り列車內でモーゼル拳銃四挺實包七百發を支那蒲團に包み、自分は藍色の支那長衣を着して全く支那人に化けてゐたが擧動不審な處から警乘員に發見され遂に化の皮がはげたもので今一人も昌圖城內質店中島某(三〇)と稱しモーゼル拳銃三挺、實

動物園行脚

人懷しさうな、そして細い眼をしてキヨトンと視つめるのが穴熊君である。
◇
別にこれと云ふ藝能はないが、地を掘るために鋭い爪を持つてゐることゝ、其の穴掘りがイカニモ早いことである。
◇
地の下に棲んでゐる動物だけにこの頃の暑さでは外に出ることを好まない
◇
生れて間も無い赤ちやんの時から補乳で養はれて立派に生長して來た、だから星主任を親のやうに慕ふも可愛いらしい
◇
產れは瓦房店で昭和三年、地方事務所の永井和平氏から寄贈されて來たものである

花卉實費販賣

紅に黃に紫に青に色とりどりに咲き亂れてゐる千代田公園植物室の花卉は公園事務所に於て左の如く愛好者に實費で提供する由
八月三日午後一時より四時まで同四日午前九時より午後四時まで、五日午後一時より四時まで値段は鉢附十錢から一圓まで

夏期大學期日變更

第七回滿俱夏季大學は八月四、五の兩日滿鐵社員俱樂部にて開催の筈であつたが、八月五、六の兩日午後四時と七時の二回宛開催することに變更された

松岡副總裁歸連

豫定を變更し奉天に一泊した松岡副總裁は卅一日朝撫順に赴き十三時四十分發の急行列車で歸連した

人事

▲島田鄕太郞氏 卅一日來奉
▲立川奉天署警視 卅一日夜赴旅 一日歸奉の筈
▲大林撫順署長 卅日奉天往復
▲中澤書伯 卅日內地へ
▲兵庫縣御影師範生一行五十名 八月五日來奉七日撫順往復同夜大連へ
▲本社營業局長を兼務する本社奉天支社長太原要氏は卅一日十三時四十分發急行にて單身赴任した

營口

虎疫豫防注射
希望者に應ず 料金五十錢

虎疫發生の兆があるので營口醫院では急の爲從事員及其家族に對し豫防注射を行ふたが尙一般市民にして希望者あれば喜んで之に應じ注射料五十錢を要すると

畑司令官巡視
八月十一日

新任畑軍司令官は管內初巡視として當地には來月十一日十二時卅分來營、十五時二十五分發にて北行の筈なるが、當地の行動は時局關係上領事館訪問ぐらゐのものなるべしと

精勤證書授與

營口警察署では一日午前八時同署樓上に於て橫田、本田、今村岡本の各巡査に對し精勤證書の授與式があつた

開原

清河流域の鮮農被害高
十餘個村七萬六千餘圓
作付反別の三分二全滅

清河氾濫洪水の爲め鮮農の蒙れる被害に就いては既報したが、其後當地住滿親睦會に於て慰問團を組織し開原附近十餘個村に亘り夫々當面の救濟をなし亦被害の實狀を調査中なりしが、慘害は實に甚大にして被害戶數二百三十九戶、作付總反別千百五十二天地八の內全滅又は收穫不能反別七百十五天地二、損害見積高金七萬六千餘圓に達する慘狀にて罹災民一同善後處置につき途方に暮れて居る、被害詳細左の如し
汪哆羅東 二十二戶內倒壞十四戶 作付九四天地五、被害八五天地 損害金一〇九四二圓尙ほ殘り九天地五も水道破壞に依り全滅
張相公屯及び石灰窰子 二十九戶 作付一六三天地五、被害一三六天地五、損害金一四一九〇圓尙ほ殘りの內七天地は水道破壞の爲め全滅狀態
楡堡子及び楊木林子 十二戶、作付八九天地、被害四九天地損害金五〇九圓
郞家屯 五十三戶、作付二〇二天地、被害一〇三天地七、損害金一〇七八四圓八〇
扶餘村 十八戶內倒壞九戶、作付九一天地、被害六一天地、損害金六八一九圓
花園村 十戶、作付四二天地五、被害一五天地、損害金一六一〇圓
二道河子 十五戶、作付七四天地五、被害二七天地四、損害金二二八八圓
筆山屯 三戶、作付一〇天地被害四天地五損害金四六八圓
後馬市堡及び魏家堡 十二戶、作付五五天地、被害二六天地七、損害金一八三七圓八〇
頭寨子 王喜豪及び附屬地十一戶 作付四八天地、被害三三天地、損害金三六四〇圓
興龍村 三十二戶、作付一二二天地五、被害六九天地八、損害金九〇九七圓六〇
小九社及で孟家屯 二十二戶、作付七一天地三、被害六九天地八損害金七二五九圓二〇
八十六名なりと

被害鮮農百名
福昌公司が傭ふ

別項水害の爲め當地住滿親睦會は事業荒廢全滅に歸し其日の糧食にも窮せる鮮農の救濟につき對策講究中なるが、同會は當地福昌公司出張所に交涉し失業者中約百名は目下工事中の同公司土木人夫として被傭さるゝ事となりたる爲め一部救濟の目的を達したと

水泳大會
四日開催

水泳プールにては來る四日水泳大會を擧行し模範各種泳法及び競泳五〇米、一六米、ブイ競泳、數字合せ、一〇〇米、潛行、二〇〇米二人連泳、女子三〇米、リレー、西瓜探り、應用泳法、寶探し、飛込等の各種競技を行ふ由、因に本年は昨今炎暑の爲め會員激增し昨年に比し八十名多く現在會員三百

花卉盆栽分讓

滿鐵公園係にては西公園溫室に於て三十一日より八月二日まで同所栽培の花卉盆栽を希望者に分讓しつゝあり

旅順スケッチ
ドック附近
河野青陶

鰯も、光りも、色も、響も、消えうせた〓つた夕暮時、取り殘された釣人は滿潮に足を浸し乍ら動きそうな氣配もない、擬り言さえ言はない、孤獨の釣人は見るに淋しく、無愛憎すぎる、手付きの妙な支那人もゐて此の道では常習犯らしく收穫が一等多い、罐詰めのサーデイン小鰯位ひのメ：ルばかりを。

內地遠征便り(三)
滿洲敎育陸上部主將 柏木實丸

第二信(中)

四百米 敎專六、高師四
(1)柏木(敎)五十二秒六(2)山本(高)差二米(3)中西(敎)差二十米(4)前原(高)
山本、柏木の一騎打に兩軍固唾をのむ、インコースより一コース、山本、二コース中西、三コース前原、四コース柏木、一回フライイング、二回目に出る。柏木前半を少し落し過ぎ、高師山本インコースからロングストライドにて猛烈に柏木を追いかけ、最後のコーナを出る頃兩者全く並行してバツクストレツチに入る。山本の實力を知る高師の應援團熱狂して喜ぶ。三百米まで兩者猛烈に接戰し、三百を過ぎて柏木今迄たくはへてゐた力を一時に出して猛烈にスパートして山本を拔き二米の差で勝つ。高師は始め前原をして柏木の步調を亂さんとしたが前原用心し過ぎて中西の良いペースメーカーとなりて最後のコーナを出る頃中西に拔かれて四着となる。合計點は敎專三四、五、高師二四、五となり敎專の優勝は大體確定的になつた

走巾飛 敎專七、高師三
(1)宮田(敎)六米一九(2)渡邊(敎)(3)岩田(高)(4)皆川(高)
敎專は宮田、渡邊を擁して壓倒的に勝敗の結を決せんとすれば高師は岩田、皆川をたてゝ一、二を得て大勢を挽回せんとして四百米と同樣大接戰を演じた結果は專敎一、二を得て大接戰にて二等以下の差は僅かに〇、〇五米宛であつた。兩軍共に餘り固くなり過ぎたのと、助走路、踏切板共に惡く、レコードは惡かつた

遊說員等歸る

七時から第四回支部總會を催したが團員其の他多數の來會あり頗る盛會であつた

製鋼所建設問題に關し奉天、撫順方面を遊說中の相谷彥三郞、神田藤兵衞氏は三十日夜、大連方面遊說の大惠新次郞、植田繁造の兩氏は三十一日歸鞍し實業會堂に於て報告する處があつた

金組認可さる
十二日臨時總會

鞍山の都市金融組合は三十一日附を以て認可の發令電報に接したので十二日午後一時より實業會堂に於て臨時總會を開き左の議題に就いて審議すると
一、評議員九名選擧の件
一、滿洲金融組合聯合會の設立を出願し其の許可を受けたる時は一口を出資し定款の規定に從ひ出資金の分割拂込を爲すの件

社宅配給協議會

卅一日午後一時より鞍山地方事務所に於て社宅配給の件及び撤宿料の件に就て協議する處があつた

人事

▲千秋製鐵所長 三十一日午後十五時九分發の急行で本社へ出張
▲林地方事務所長 社用を帶び一日の急行で赴連

瓦房店

得利寺に馬賊
人質二名を攫ふ
官民三百名の大搜索

得利寺驛を距る約里許柳家屯に十名餘の兇器を所持せる馬賊の一隊現はれ、同地農委學士方に押入り人質二名を拉去し數千圓を要求せるを以て、支那官憲にては直に非常警戒を行ひ壯丁其他約三百名を繰出し大搜査をなしたるも何分高粱繁茂の爲め搜査頗る困難にて人質は奪回したるも賊の所在は尙不明である

精勤證書授與

當署勤務巡査大浦秀二、坂本榮太郞の兩氏は滿二年以上在勤し勤務勉勵事務熟達の故を以て今回精勤證書を授與された

鞍山

盛況を極めた市民大會
製鋼所建設問題を論議

市民熱狂裡に迎へられた實業協會主催の製鋼所建設問題の市民大會は豫報の如く三十一日午後七時から實業會堂に於て開催された、鞍山の存亡に關し延いては滿蒙開發の上に一大支障を來たす重大問題であると言ふので市民は定刻前より犇々と押掛けさしもに廣き會堂も約五百名の聽衆を以て埋められ猶場外に溢るゝの盛況裡に司會者植田繁造氏に依つて開會を宣せられ、阪元藤三郞氏の經過報告、大惠新次郞、田中末松、岡部直、相谷彥三郞諸氏の各地に於ける遊說狀況の報告があり、次で司會者植田繁造氏拍手裡に市民大會の決議による要望電文を讀上げ、夫より左記の諸氏交々起つて火の出る樣な熱辯を振つて聽衆に多大の感動を與へ最後に萬歲を三唱し空前の盛況裡に閉會したのは十一時であつた

一、吾等の使命 野尻澗一
一、題未定 井下萬次郞
一、製鋼所設置問題に就て 渡邊直入
一、所感 林 淸勝
一、曰く滿蒙問題 笠原 弘
一、吾等の主張 石川義助

因に決議文は左の如く直ちに政府要路に對し打電した

決議文

滿蒙開發に對する帝國の根本國策に則り製鋼所を鞍山に設置せられん事を要望す
右決議す
鞍山市民大會

修養團支部總會

鞍山修養團支部では三十一日午後

長春

わが警官を支那兵が見縊る
二十餘名棍棒を以て
橫山巡査を毆らんとす

去る三十日午後五時半頃長春北門外派出所勤務橫山巡査は所用にて城內三馬路三信洋行に赴かんとした所、憲兵係りの支那兵五名が發見し折柄通りかゝつた支那兵二十名に加勢を求め彼等は手に手に棍棒を持つて追跡したので、橫山巡査は自重して手出しせず三信洋行に飛込み電話を以て本署に報告したので大場領事館警察署主任以下かけつけたが、一方暴行兵等は折よく通り合せた第一區長某に取鎭められ引上げた後であつた

覺悟の心中か
鮮人夫婦劇藥を吞む

長春富士町一丁目居住朝鮮人趙敬根(三七)及び同人妻林承玉(三一)は三十一日午前一時頃自宅に於てアトロピン多量を嚥下し苦悶しつゝあるを午前三時頃家人が發見し同仁醫院にかつぎ込み應急手當を受けたが趙は目下入院中なるも今尙昏睡狀態を續けてゐる、林は生命に別狀なしと、右兩人は相當裕福にて長女を長春高女に在學させてゐる程で表面は糧仲買業と稱してゐるが、實は阿片の密賣を爲しゐるらしく又家庭にも種々入り込んだ事情があるらしいので覺悟の心中だらうと見られてゐる

集配人儲損ふ

長春驛勤務 道山一社
奉天鐵道事務所に
寬城子支那郵便局集配人朱德霖(三〇)は長春附屬地から寬城子に赴く

長春商議改造

長春商議改造の實行委員は着々準備を重ね會員の募集も一段落ついたので八月一日最後の委員會を開催し八月上旬に總會開催の運びとならうと

長春驛員異動

滿鐵鐵道部の人事異動で長春驛にも左の通り異動があつた、何れも近日中に赴任の筈である
長春機關區長 片瀨晉
長春機關區長に
奉天鐵道事務所勤務に
鐵嶺機關區長 岩永唯一
長春列車區長 興津哲太郞
大石橋列車區長に
長春列車區長 沼川利一
長春列車區長に

撫順

切山主事の暴言問題を紛糾さす
「市中側が酒と女を罷むれば品種と時間制限を爲す」

既報、消費組合の飲食部設置問題は切山主事の非常識な言動から問題は益々紛糾してゐるが消費組合飲食部の品種時間制限の交換條件として三十一日切山主事は警察に出頭して曰く「市中側四十數件の飲食店が悉く酒を販賣することを禁止すると共に女給を置く事をやめれば組合側も品種と時間を制限しよう」と放言してゐたに對し大林署長、熊谷保安主任ともにその時代の實際と相容れざるたわ言にはあきれ返つてゐた、尙有力なる某地方委員は語る

今の世で

大連、奉天始め各沿線の飲食店で酒を供給せぬ所や一人二人の女給を置かねば飲食店が果してあるか、女給の風紀其他の取締りには警察がひかへてゐる、社員の品行是正の見地から女給と酒を禁止せんとするなら飲食店より多くの酒を賣り藝酌婦のゐる山陽樓以下數十軒の料理店の存在をどうするか要するに彼切山某は酒と女給云々は彼等の計畫遂行の一方便として不可能な交換條件を持出して

だゝつ子

のやうな兒戲に類する言をなすものである尙本件に關して心あるものは悉く消費組合切山某の橫暴を憤慨しゐる今日、弱いものいじめの爲め消費組合の使命を完全に果してまで消費組合が大々的に飲食店を開業する必要はなからう

若しやるなら當初の聲明の如く品種、時間を適當に制限して非營利的にやるべきが妥當であらう

且つ消費組合の株主中にすら同組合內に日常生活必需品以外の

オモチヤ

類等を賣りつゝあるに對しても社員の俸給より月末の差引額を多からしめつゝある現狀に鑑み是を廢止されん事を希望しつゝある折柄、大連でも滅多にない和洋百餘種の料理部を消費組合內に新設されてはおそらく給料袋は從來より以上輕くなるだらうとこぼしてゐる、因に市內飲食店加藤組合長、山本、田代氏その他數名は一日相携へて山西炭礦長中野庶務課長等を訪ひ市中側の苦るしき立場に對して諒解を求め、一方大林署長、熊谷保安主任に對して最も同情ある裁決を請ふ處があつた

京城

水稻植付良好
南鮮は旱魃か

本年度水稻植付は全鮮に亘り好良に終始し早くも豐作を謳歌されつゝあるが、忠淸南、北道並に全羅北道(大邱裡里間)方面には植付後の水不足のため旱魃を騷念され茲十日間に降雨を見ない場合は枯死する場所も生ずると憂慮されてゐる

序に一儲けせんものと阿片入百匁モルヒネ二百グラムを持參してゐることを和泉町派出所の警官に覺破されその場から引致された、同人は一ロシア人から賴まれたと言つてゐる

飛行機模型
朝博子供國に

珍しいものづくめで坊ッちやん嬢ちやんの御機嫌をとり結ばうといふ呼物の朝鮮博の「子供の國」にまた一ツお景物が增えた、京城航空研究所の手になる模型飛行機である、模型といつても實物と同型だから素晴らしい、プロペラーの廻轉につれて機體が震動すると、外面では寫眞フイルムが逆走する――つまり地上滑走の氣分を如實に味はふといふ趣向で淺草あたりのメリー、ゴー、ラウンドのことを考へると、親父さんや阿母さんにも歡迎されさうな危險性がある

朝鮮銀行の招待

朝鮮銀行では今秋の朝鮮博覽會を機會に東京並に各地の株式現物團及び殖產關係の有力者を招待し、朝鮮事情を紹介する計畫を進めつゝあるが、近く具體的に招待方法を決定すると

旅順

近代式海水浴場
玉の浦開場さる
黃金臺に優るとも劣らず

旅順郊外の景勝地玉の浦に海水浴場設備が完備した――藤原民政署長の計畫に係る玉の浦海水浴場施設は既報の通り數日前から其設備に取掛つて居たが、工事を急いで二十七日中に設備全部完成し、豫て亦涉中の

交通連絡

も滿電側の好意に依り時に乘合バス一臺を專用車に運轉する事となり二十八日から運轉を開始した、四間に六間の脫衣場は赤の屋根、玉子色の腰板等鮮かな近代式海水浴場設備を整へて、新しく開店した賣店と共に瀟洒たる風情である、開店當日は、大連からドライブしたらしい數組かを交へて約七十人の浴客があり當局も此調子なら繁昌疑ひ無しと喜んで居る、白砂、靑松、碧波と綠樹と兼備した黃金臺に比べて、聯絡に乏しい憾みはあるが、雖にやはらかな感觸で踏む

玉砂利の

淸々さ、百米突沖へ出て、やつと十五尺と云ふ遠淺の水深、さては勇ましい掛聲と共に網に躍る鮮魚の潑剌さ等に、海水浴場としては黃金臺に比べて幾多優越した條件を具備して居る殊に旅順から十數分、大連から約三十分一路坦々たる旅大道路に自動車を驅つて奔馳する壯快味を味はつて、一浴びの涼しさに透き通る海底にしらじらと敷詰められた白砂を數へる事が出來る、因に滿電自動車の賃金は片道大人二十錢子供半額で

月曜祭日

は午前十一時半から一時間置きに乃木町停留所から發車する、平常日は午後一時から同じく一時間置き運轉である

惡德紹介業者
嚴罰さる

薄幸な浮川竹の苦界に呻吟する弱い女の膏血を吸ふ非人道な紹介業者が嚴重に處罰された――旅順署では三十日附を以て大連署に對し福島縣生れ當時大連市西公園町九七紹介業白井健太郞(四三)に對し紹介營業取締規則違反處罰の件を通達したが、白井は山東省坊子大馬路料理店七福方に藝妓稼業中の布カナエ(二三)を旅順市敷賀町五九料亭花花月へ住替させる紹介を爲し今春八百圓也で契約成立しカナメは新花月から小蘭と名乘つて稼業をする事と爲つたが、白井は花月にカナメを紹介するに當り紹介に要した自己の旅費、宿泊料其他合計金五十五圓七十錢也をカナメの身代金の內から勝手に引き去り素知らぬ顏でで居たものでカナメは此外に正規の紹介料三十五圓を白井に提供して居り、向井はカナメが法規に無智なるを奇貨として規則違反の不正行爲を爲したものであるが、之等紹介者たちは常に弱い稼業の女達を欺罔し紹介人の紹介に要する費用等は當然の如く稼業者の負擔に歸して居たもので旅順署に於てはかゝる不正紹介業者は今後假借なく處罰する方針だと

丸裸にさる
辻强盜現れ

二十九日午後八時頃新楊樹北方五十米突の地點で製油工場よりの歸宅を急いでゐた中國人が拳銃所持の三人組辻强盜に襲はれ丸はだかにされた、犯人不明

安東

露天公設市場
六道溝に設置

去る二十一日より半休を利用し午後一時より牧田課長を始め課員一同火の出る樣な稽古を續けて居る

安東縣下六道溝支那町第十八區では今般同所に野菜、穀物、薪炭類の安價販賣を目的とする露天公設市場を設置すべく計畫中で、二十七日區長夏樹堂氏は安東署及び地方事務所を訪ひその了解を得るところがあつたが、同市場設置の趣旨は右日用品の安價提供の他に目下同區では兒童敎育機關が不備であるため、市場の利益の一部は之を學校新設資金として積立つると

授產會出張所
新義州に新設

安東地方事務所では過般來鮮人授產事業の一として鮮婦人に對し講師を招きミシンの講習をなし引續き廣く徒弟を募り敎習をなすと共にエプロン、洋服、ワイシヤツ等の註文に應じ好評を博してゐたが山本社會主事は井上所長と協議の上更に近日中に新義州に出張所を設置することゝなつた模樣で、同授產會の製品は三ツ揃洋服三十圓見當、富士絹ワイシヤツ二圓八十五錢より四圓五十錢程度である

畑軍司令官

關東軍司令官畑中將は巡視の爲め八月五日十六時三十五分着列車にて奉天より來安
同四時五十分より五時二十分迄安東守備隊、安東分院、安東憲兵分隊を視察同五時三十分鎭江山納骨祠參拜、同五時四十分領事館訪問同七時には安東官民を公會堂に招待同夜は安東ホテルに宿泊

酒類檢査好績

安東署衞生課では地方事務所衞生係と共力本月上旬より附屬地內の內地人、朝鮮人、支那人各商店の酒の檢査を行つたが不良酒を販賣する店は一軒も無く頗る好成績であつた

六日午後六時四十五分發列車にて連山關へ赴く筈

普蘭店

赤痢流行す

普蘭店市街を中心とし惡疫流行の說ありしが一家に二三名多きは五六名に達する臥床者あり、調査の結果悉く痢病にて中には血便を排出する者もあり時節柄瓜西瓜其他の果物出初めたる事とて之等に誘引せられ大流行の兆あり、一方日本人側にも赤痢患者數名を出したる事とて當局は豫防に忙殺されて居る

夏期特別警戒
當非番の別なく

夏期に際し高粱繁茂の爲め漸く强竊盜の時期となりしを以て之が特別警戒を實施して居るが、當非番の別なく張込又は巡回を續行し炎暑と戰つて居る

精勤及精練證授與

普蘭店民政署支勤務巡査小島九兵衞、佐々木得男、古賀正治、谷口治巳の四氏は勤務勉勵事務熟達の故を以て精勤證書を授與され、又巡査柴田末藏氏は劍道に精勵の結果京都武德會總本宮總裁殿下より精練證を授與せられ之が授與式を二十九日演武場に於て擧行した

土用稽古

當地警務課員は

煙草耕作取締

新義州專賣局出張所では四年度限り廢止した自家用煙草耕作の違反者及び密耕者の取締を過般來義州郡、龍川郡、龜城郡の一部を了へ百餘件の違反者を檢擧したが、現在は農家の收納期を控へてゐる爲專賣局では八月一杯に管內全部の取締を行ふ方針であると

敗退將棋 (其三)
滿日名家

【飯塚氏二回三勝回目】
左香落 六段 △飯塚勘一郞
四段 ▲齋藤銀次郞
持駒 齋藤氏 ナシ

【局面は前號指了迄の圖】

持駒 飯塚氏 ナシ

【盤面以下指方】△四八玉▲四二玉△三八玉▲三二玉△七六銀▲五二金△五八金▲一四步△五六步▲一五步△四八銀▲四二銀

【對局者の感想】飯塚六段曰く七六銀を受ける方が順當でありますが敵に五六步と攻められても戰へない事はないと思つて四八玉と早く越してみた。齋藤四段曰く上手の四八玉の時六五步と突張つては玉の形が惡いだけに指過ぎの樣な感じがして四二玉と大事を取つた。玉の形を取る意味に五六步と變した。

【大崎八段講評】上手敵の一四步の時五六步と指せしは中央を堅く指し强く位を爭はんとする意味なるも玉の懷ろを狹くし決戰に際して損生じ無理なり。矢張一六步と受けて機會を待つ方遙かに優れり。

コドモページ

夏の科學

このごろ雨の多いわけ
雷が鳴ると何故大粒の雨が降るか

はるみち

一郎。お父さん、此の頃はよく雨が降りますね。

父。梅雨だからさ。

一郎。梅雨つて何?

父。梅雨といふのは一年中で一番雨の多い時節をいふのだ、内地の梅雨は六月の末頃から七月の中頃までで、その頃に梅の實が黄色く熟するから梅雨といふ名がついたわけだ。

一郎。さうすると滿洲の梅雨は内地より遲いのですね。

父。さうだ、内地よりはざつと一ケ月は遲れる。滿洲の雨期は七月の中頃から八月にかけてだ。

一郎。どうして滿洲と内地とは雨期が違ふのでせうね。

父。それは低氣壓の配置によつて違ふのだ。

一郎。新聞によく低氣壓といふことが書いてありますね。低氣壓つて何ですか。

父。低氣壓か、それは先づ氣壓の話からしないと分らないね。氣壓といふことは一口に言へば空氣の重さだ。

一郎。空氣に重さがあるのですか

父。あるとも、一寸考へると空氣には重さなどはないやうに思はれるが、地球上の空氣は其の高さが大きいため想像も出來ない程の重さを持つてゐる。即ち海面上の空氣の重さは一平方糎米突毎に一千グラムもある。

一郎。隨分重いのですね。

父。ところで、此の空氣は大地から受ける太陽の反射熱で暖まると膨脹して薄くなる。薄くなれば從つて其の重さが少くなる。それをつまり氣壓が低くなる。それを低氣壓といふのだ。

一郎。さうすると低氣壓といふのは空氣が薄くなることなんですね。

父。さうだ。ところで薄い空氣即ち温い空氣は水蒸氣をたくさん含むことが出來るから、水蒸氣を多く含めば含むほど氣壓は低くなるわけだ。從つて低氣壓のあるところには雨が多いことになる。そして此の低氣壓が次から次と續け樣に起るときがつまり雨季となるのだ。

一郎。さうすると一年中で此の頃が一番低氣壓の起り易い時なのですね。

父。さうだ、この頃は太陽が最も北の方に寄つてゐるからアジア大陸をまともに照らしてゐる。そして支那の楊子江あたりに盛に低氣壓が製造される。之が東の方に動いて此の低氣壓の通るところに雨を降らすことになる。

一郎。一昨日の夜明け頃に雷がごろ／＼鳴つたでせう。そして雷が鳴る度に雨がザッと降りましたよ。どうして雷が鳴ると雨が降るのですか。

父。うむ、いゝところに氣がついたね。それはこうだ、空氣中に含まれてゐる水蒸氣が冷るとイオンといふものが心になつて水滴となりそれが雨になるのであるが、雷が鳴るときには雲と雲とに張り切つた陰陽の電氣を放電してその結果たくさんのイオンが出來、そのイオンを中心として澤山な水滴が出來るから大粒の雨がサッと降つて來るのだ。

四小學校が仲よく軒をならべた 夏家河子の海濱聚落

×

忙しいのと暑いのとで水泳場めぐりを怠けてゐる中にいつのまにか水泳がおしまひになつてその代りに海濱聚落が始まつて居る。今年はまだ夏家河子方面を見てゐないので一寸のぞいて見やうと十二時四十分發の汽車に間に合ふやうにヒョッコリ飛び出したのが選りに選つた暑い日、車を飛ばして大連驛に來て見ると手に手にアケビ籠を持つたお母さん達や砂遊びの七ツ道具を持つた子供達で一ぱいだ汽車が夏家河子の海岸に着くと列車の中は大方カラッポになる。

×

驛から海岸に出ると息づまるやうな砂いきれがムッと來る。夏家河子の濱は相變らず暑い。その燒けたゞれたやうな砂の上に三四十ばかりのテントがづらりとならんで素晴らしいテント村が出來てゐる四方をすつかり垂れて中で午睡をむさぼつてゐるらしいのもあれば今お晝の御飯が濟んで御飯つぶの一ぱいこぼれた飯臺の上をお母さんらしい人があとかたづけをしてゐるのもある。さうかと思ふと中學生らしいのが四五人ビール箱を取り圍んで其の上でしきりに麻雀をやつて居るものもあれば籐椅子にもたれて讀書に耽つてゐるお孃さんもある。すべてが夏家河子らしい情景だ。

×

此のテント村の向ふに八棟のバラックが二列にならんで屋上には大廣場、松林などといふ旗が海風に高く飜つて居る。こゝが大廣場、松林、日本橋、常盤四小學校の聚落場なのである。

×

先づ取りつきにある大廣場校のバラックをのぞくと聚落兒は今午睡の眞最中、申し合せがしてあると見えて他の學校のバラックも極めて靜かだ。海風の吹通して居るバラックの中での午睡、それは見るからに心地よささうである。だがよく見ると眠つてゐる者は一人もゐない。毛布からニュッと出た顏に二つの眼玉がキョロ／＼動く、「早くベルが鳴ればいゝな」皆が皆さう思つてゐるらしい顏つきだ

×

その中に午睡終りのベルが鳴る、ヤッキャッ噪ぎながら海に入る仕度を急ぐ、それと同時にどのバラックも遽に騷がしくなり、ひつそりしてゐた海岸にしきりに奇聲が起る。潮のひいたあとの廣々とした砂濱で體操が始まる。かけつこが始まり蟹掘が始まる。砂遊びが始まる。海の中では鬼ごつこが始まる。水泳ぎが始まる、魚釣りが始まる、綱引が始まる。海が賑やかになる時はバラックの中はあべこべに靜かだ。着物や履物が雜然と脫ぎ捨てられた中に看護婦さんがポツネンと獨り取り殘されてゐる。

「こゝの海岸では殆ど怪我をするものがありませんから仕事がありませんよ」とばかりまことに手持ちぶさたなので看護婦さんは飴湯を注ぎや、お菓子くばりのお手傳ひなどをしてゐる。それでも大廣場校の看護婦さんは毎日歸りがけにトラホーム兒童の洗眼をするので中々いそがしい。

×

渚に立つて樂しさうに波とたわむれてゐる子供達をうらやましさうに見てゐると、日本橋の倉井校長が海から上つて來た。

「どうですはいりませんか」

黑光りした顏に午下りの强い太陽がキラリと光る。

「代はる／＼子供をバラックに泊めることにしてゐますが、皆んな喜んで居ますよ。今日は三年が泊ることになつてゐます。夕方の海岸の景色は實に雄大ですよ。これまでミレーの晩鐘の繪などを見ても大した感じも起りませんでしたがこゝに來て、眞赤に燒けた太陽が海の彼方に沒してゆく夕方の光景を見て以來自然の雄大さをつく／＼感じましたよ。この波打ち際に二三人の子供が立つて落日を浴びたその子供達の影が長く砂の上に映つた有樣などは何とも言はれませんね」倉井校長は如何にも感慨深さうにそんなことを話してゐた。

×

聚落の子供達は十五時半夏家河子發の臨時列車ですつかり疲れ切つた身體を家路へと運ばれてゆく。

寫眞說明 (左上)松林校生のざこすくひ(右上)常盤校生のかにほり(左下)松林校生のあみひき(右下)大廣場校のかんごふさんがトラホーム兒童の洗眼をしてゐるところ

二ドメノ大チャンノタンケン (78)

ハルミチ作 ジラウ畫

ヨハ スツカリ アケハナレテヰタ。アレクルフテヰタ ウミモ ワスレタヤウニ シヅカニナツテ ウミノ オキノハウニハ アンシヤウニ ノリアゲタ フネガ メチヤメチヤニ コハレテ ノコツテヰタ。

カイゾクドモハ ミンナ オボレテ シンデシマツタトミエテ ヒトノ カゲモ ナイ オヂサンハ ソレカラ コノシマニ スムコトニ ナツタガ ドウモフジユウナノデ アルヒ ボートニ ノツテ ウミニデタ。

カイゾクセンノ トコロマデイツテミルト マダ イロイロノ ドウグガ ノコツテヰタカラ ソレヲ ミンナ ボートニツンデ モツテキタ。コノテツパウモ ソノトキニ モツテキタノダ。

笑話 先生の頓智

三吉と次郎はいつも教室で居眠りばかりしてゐました。先生は此の二人に困り果てゝ居りましたが、あるとき一計を案じ先づ三吉を別室に呼びました。

「三吉さん、あなたは授業中次郎さんの居眠りしてゐるのに氣のついたことがありますか」

「度々あります」

「では此の次から次郎さんの側に座つて次郎さんが居眠りをしたら注意をしてくれませんか」

「はい、先生、承知しました」

先生は次に次郎を別室に呼びました

「次郎さん、あなたは授業中三吉さんの居眠りしてゐるのに氣のついたことがありますか」

「度々あります」

「では此の次から三吉さんの側に座つて三吉さんが居眠りをしたら注意をしてくれませんか」

「はい先生、屹度さうしませう」

それから二人は授業中に決して居眠りをしなくなりました。

談話室

◇きまり◇ 投書自由 用紙ハガキ なるべく短

▲私はいつもコドモページを見て感心してゐる一中學生です。私の如き中學生でも本欄へ投書してもよいですか(眞金町千田満一)子供の讀物としてよいものが出來たらお送り下さい(係)▲僕は毎日夏家河子の海濱聚落に行つてインド人のやうにまつくろになつてゐます。皆さんはこの頃何をして居ますか(吉田滿夫)▲外國のめづらしい寫眞をなるべくたくさん載せて下さい(沙河口洋一)▲一郎さんとお父さんの理科のおはなしは面白いです。僕は理科がすきですからあんなのが面白いのです(桑村五郎)

また支那側巡警が我が警官に暴行す
强盜搜査に派遣したのを捕へ
天圖鐵道終點驛で

【局子街特電一日發】天圖鐵道終點驛老頭溝駐在延吉公安局第二分駐所の巡警は强盜搜査のため卅日總領事館警察署から派遣された金、朴兩巡査を捕へ警察官の證明を示すにも拘らず多數を恃んで分駐所に引立て散々暴行を加へ、朴巡査の足部に重傷を負はした後局子街の延吉公安局に押送した、急報により局子街領事分館主任田中副領事は事態を重大視し支那側の立會を求めて朴巡査の傷害診斷を行ひ嚴重なる抗議をなしたが我警察署の憤慨甚しく支那側の出やう如何では斷乎たる處置に出る模樣である

きのふツエ伯號
壯途に上る
乘客十八名をのせて
先づ大西洋を横斷

【フリードリッヒスハーフェン一日發電】世界一周の前提たるアメリカ訪問大西洋横斷飛行の途に就くべきツエ伯號は一日午前三時半(日本時間午前十一時)理想的微風の好天に惠まれつゝ悠々離陸忽ち空高く飛去つた、出發に先立ちエッケナー博士は語る
我等はスイスのバーゼルを通過し南下しフランスを飛越え一路アメリカへ向ふ、乘客は十八名乘組員は四十名である
なほ同號に一名の密航者潛入した形跡ありと

好天氣に惠まれ
大入滿員の盛況
◇―第四日目の大相撲

一日の大相撲第四日目は好天氣に惠まれて大入滿員の盛況、例に依つての御好み取組飛付五人拔等盛に行はれ、常の花への五人掛はまたゝく内に常五人を薙倒し流石横綱の貫祿を見せた、本社主催の幕下個人決勝一回戰は午後四時十分から開始され結局准決勝は駒錦、大谷、常昇、綾若の四力士により行はれたが駒錦に大谷は駒錦素早く寄切り、常昇に綾若は立上るや否や綾若はたき込みて勝、大谷常昇の三等決勝は寄切つて常昇三等それより愈々一等爭ひとなり綾若は駒錦滿場の割れる樣な聲援裡に立ちあがり駒惜くも踏切つて敗れ綾一等、駒二等となり夫々賞金を授與された、中入後の勝負次の如し

▲常盤野(吊出し)綾若
▲栃ノ森(寄切り)藤ノ里
▲大島(寄切り)高ノ花
▲出羽ケ岳(踏こし)綾櫻
▲若常陸(引き分)常陸島　立上り右四つ常陸終始下手投に攻めて攻勢を持せしが水入となり尚ほも勝負決せず一先づ引分となり三番後に再勝負す
▲若常陸(打棄り)常陸島　立上り激しく突き合ひ常土俵際まで突進みしが若の打棄り極る
▲和歌島(上手投)常陸嶽
▲山錦(上手投)玉碇　右四つ玉の下手に投げんとするを山良く殘して上手を打ち見事に極る
▲信夫山(踏こし)若葉山　立上り右四つ信夫極め出さんとせしが若殘し二度目の下手投を打つ時惜しくも踏越して敗る
▲玉錦(吊出し)新海　立上り新右を差し尚ほ左を差さんとするを玉一氣に寄り進み其儘吊出す
▲常陸岩(掛棄れ)大ノ里　大の右を差し常の極め出さんとするを大の良く防ぎしが常再び正面土俵際に寄り進み大の外掛けに防ぐをかけもたれて常の勝
▲常ノ花(下手投)武藏山　立上り右四つ武藏吊りに、下手にと盛んに攻めしが極らず常正面土俵際に寄り進み武の殘すを下手投にて勝つ、打ち出し八時

明日の取組次の如し

(綾櫻)藤ノ里(出羽嶽)(常陸嶽)
(常盤野)大島(高ノ花)(若常陸)
(常陸島)天龍(新海)(玉碇)
(外ケ濱)武藏山(和歌島)(信夫山)
(若葉山)常陸岩(常ノ花)
(山錦)玉錦(大ノ里)

皇后陛下の
御着帶式
九月十四日に

【東京一日發電】目下葉山御用邸に專ら御靜養あらせられてゐる皇后宮には愈々來る九月十四日の犬の吉日を御選びあり御着帶式を擧げさせらるゝ旨御内定遊ばされた、從つて御目出度き御分娩も十月初旬頃と拜さるゝが御着帶遊ばさるゝにつき天皇陛下には閑院宮殿下を御帶親として御帶進獻方を勅命あらせられた、それにつき一日午前十時同宮家宇多事務官は宮内省に出頭關屋次官より殿下に言上方傳達を受け退出した

きのふのバスケットボール試合

工專大勝
卅三―一〇で
對芝罘ＹＭＣＡ籃球戰

工專對芝罘ＹＭＣＡバスケットボール試合は三十一日午後五時半より大廣場コートにて擧行、二十三對十にて工專勝つ、閉戰六時二十分、兩軍メムバー及得點左の如し

	得點			點
工專	原	5	RF	前半同 23
	村中	4	LF	後半同 7
	波	10	C	計 16
	村	4	RG	
	中野		LG	
	黒木池田		RF	
芝罘	裕	6	RF	前半得點 10
	立揚	2	LF	後半得點 4
	榮可淳	2	C	計 6
	文世		RG	
	張		LG	
	畢凌		RF	

滿鐵見習募集

滿鐵では今度見習十五名餘を募集することゝなつたが應募資格は大正二年十月一日以後同五年九月三十日以前生れの男子で高等小學卒業以上の學力を有する者たること志願者は八月二十五日迄に人事課へ願書を出し試驗は九月一日午前八時より兒玉町鐵道教習所で行ふことになつてゐる

政記念日をトし商工業從事員にして十年以上の勤續者並に樂人の模範となるべき行爲ありたる者を表彰して來たが本年も第三回表彰式を擧行する筈で既に各同業組合、團體等に對し夫々表彰候補者の推薦方依賴狀を發した

模範商工業
從事員表彰

大連市では產業獎勵の一助として三年前より一般商工業從事員の善導誘掖に資すべく毎年十月一日市

更に涼味を添ふ
中央公園内の新施設
噴水池と遊歩道路

中央公園の青葉臺に一層の涼味を添ふべく新に施設された虎溪橋附近の噴水池は既に完成し近日中より愈々爽快な噴水を開始する事になつたが、更に停留場より滿倶グラウンド側を忠靈塔下へかけ、松山臺へ通ずる新設アスファルト遊歩道路の工事も着々と進捗してゐる、近くこれが竣成の曉は胡藤並木を縫ふ朝夕のドライヴ、月影涼しき夜の散歩などに公園への人足は一入繁くなるであらう

カフエーに壓倒され
滅び行く運命の逢廓
貸座敷の階下をバー式に改造
きのふ大連署へ願出

公娼廢止問題がやかましく論議され一面カフエーの全盛時代となつて遊廓などゝ云ふ存在も行き詰り滅び行く運命に逢着してゐるが、そのカフエーに壓倒されて廓ではこの行き詰れる現狀を如何にして打開するかゞ當地逢坂町遊廓にも大きな一つの惱みとなつてゐる、將來を見越してカフエーに看板を塗り變へるか、ソレとも現在の制度に

新機軸

を出して改善を加ふるかであるが、今直に貸座敷等を廢業してカフエーに轉業するのも多少困難な事情あり、現在の制度を改善するのは機宜に適した處置として希望する向きが多いので、高本組合長は一日午後二時大連署保安係に出頭し臺灣の制度に倣らつて現在遊廓の貸座敷に於ける階下を改造しバー式にし安直なる酒肴を提供し得るやう許可して貰ひたいと

諒解を

求むる處あつたこれに對し原田保安主任は相當考慮の餘地ありとハッキリした返答を與へなかつたが、高本組合長は語る

昨今のやうにカフエーが發展し女給が活躍するやうになつては遊廓の方もお株を奪はれたやうで藤張り賑ひません、そこで之れが對抗策とし一つは何うせ滅び行く

運命に

ある遊廓であるからこの際各貸座敷の階下をバー式に模樣替へし茲で安直に飮食し共鳴した者は登樓して遊興させ、飮んで歸る者は飮んで歸るやうにして、さもなくば一寸も室位改造して遊客に對し一寸でも馴染客に逢つて歸るやうな

奉天の電車内で
宣傳ビラを發見
支那官憲が犯人搜査

【奉天特電一日發】三十一日午後八時頃小西邊門行電車が終點に到着した時車内に一個の風呂敷包が遺留してあつたので巡警が立會開いて見ると多數の共產黨宣傳文及びパンフレットが現はれた、右は中國共產黨帝國主義反對進行會なる團體で發行せるもので內容は露國の赤化運動に獻言せるものであるが支那官憲は捨置き難しと俄に活動を開始し同夜犯人らしきもの數名を檢擧し引續き一味の大搜査を行つてゐる

空中補給
駒鳥號の燃料
日本に要請

足の便宜を與へたいと云ふのでこれがお願に來たのである

【シャートル三十一日發電】ワーグ氏の太平洋横斷飛行後援者側では當地駐在日本領事を通じ日本の千島群島で同機に對しガソリンの空中補給をなす樣取り計らはれ度いと日本政府に要請した、尙ほアリユウシャン群島ではワシントンアラスカ空中輸送會社、ダッチーバーでは漁業會社が空中補給をなすものと解せらる

市民水泳大會

大連市主催第三回市民水泳大會は既報の如く來四日午前十時より大連運動場內プールに於て擧行の筈

愚夫愚婦を惑はせる
夜半教又現はる
其筋では布教を禁じ嚴重取締る

惡魔を拂ひ災禍を除き歸依者を善導し死ねば天國に導くと云ふ、夜半灯なき暗黑の祭壇に念佛を唱へ祈禱を捧げる夜半教は往年大連市に布教され愚夫愚婦共を集めて喜捨を覓めて大連署より一種の邪教と見做され一時布教を禁止されたので長らく中絕されてゐたが、最近又しても市內萬歲街七二李玉亭並に福德街二二一故劉鴻福の妻劉張氏の兩名が再び遼寧省錦州蓮花山の本山より彌勒古佛の

神體を

迎ひ毎夜十時半頃より十五、六名の信者を集め見張を置き盛に布教してゐるのみか新入歸依者に對しては、五圓、十圓二十圓、二十五圓と云ふ喜捨を强要し、或は灯なき暗黑の世界に魔の手を伸べて婦人の信者に猥褻の行爲を爲さんとするやの疑であるので風敎上甚だ面白からずとあつて再び布教を中止し嚴重取締る事になつた

餘裕なかりしが主原因で、同船々長の遭難信號遲かりし事は非難さるべきであるとしてゐる、而して商務院はこの機に左の如き建議を行つた

一、商務院は總ての外國行客船に對し監督檢査す
一、商務院は外國の港を發する英國船の吃水に注意し領事館員をして報告をなさしむ

常に變名して
流言を放つ
褚玉璞氏の弟と稱する男を
昨日水上署で留置

用ひて、しかも流言を放つて取調べ上幾多の支障を來さしめてゐたものであるが、一日入港の大連丸にも李玉山と變名で乘船取調の水上署員に暴言を吐き、遂に留置處分に附せられた、尙同人が青島に行つたのは褚玉璞氏救ひ出しに關し濟南の陳調元氏に種々依賴のためであると

その生死すら不明で、あるひは紅槍會の手によつて虐殺されたとも云ひ、また芝罘のアストラハウスに生存してゐるとも傳へらる、褚玉璞氏に關しては全然不明であるが、その褚玉璞氏の弟と稱して常に日本に渡つたり青島に赴いたり又は芝罘に身柄受取りに出掛けたりしてゐた褚玉淋と稱する男は常に我官憲に對して侮辱的な態度を執り、船舶に依る往來には變名を

貔子窩て
戎克流失
金福線不通

【貔子窩特電一日發】三十日夜半の暴風雨にて貔子窩碧流河々岸に繫留してあつた戎克九隻流失したが內三隻は本月一日發見した尙金福線路も大損傷を受けて列車不通となり目下多數の苦力を使用して復舊に努めてゐるが一日中には開通の見込がないと

米記者團歸國

【東京一日發電】豫て本邦並に滿鮮地方視察中の米國記者團一行はいよいよ二日午後一時五分東京驛出發橫濱に赴き三時解纜のサイベリア丸で歸國することゝなつた

因は范家屯驛に於て機關車に故障を生じたるため同驛に於て貨物列車の機關車と取替たからだと、因に機關車の故障については目下取調中である

本間光彌氏逝く

【東京一日發電】昔から「本間樣には及びもないがせめてなりたや殿樣に」と謳はれた日本一の豪農山形縣酒田町本間家の當主勳三等光彌(五)氏は肉腫のため慶應病院で治療中のところ三十一日夜十一時遂に死亡した

天命健體治療

大連御旗會會長杉原三神氏は過般內地各方面を巡遊中であつたがこの程歸連し氏が幼少の頃より研究しつゝあつた天命健體治療を三日から一週間毎日午前八時より午後四時まで遊樂館に於て施術病苦に惱む一般人士を治療することゝなつた

並松部長榮轉

大連署衞生係巡査並松節二氏は今回巡査部長に昇級大石橋署に榮轉したので來る四日出發赴任の筈

・關西輪業通信社支局　關西における自轉車製造業者の機關新聞として常に海外に實勢力を伸ばしつゝありし關西輪業通信社は今回大連市伊勢町久保洋行內に支局を設置する事となり支局長に吉川鐵華氏を据え一切の交通及輪界の事情を報道せしめ一面見本展示所を設け當業者の便に資せんとする由である

・亞東自動車學院　田邊武吉氏經營の沙河口亞東自動車學院は眞金町滿鐵社宅前の新校舍へ移轉したが今後は一層內容の充實に努力すると因に目下生徒募集中である

帆船の遭難

市內乃木町八番地大村繁一氏所有日本帆船は一日早朝北大山通海岸より黃白嘴燈臺看守宿舍用の木材を山積して黃白嘴に向つた所、途中で向ひ風に遭遇、浸水し救助を求めてゐるとの急報に接して水上署平安丸が急航乘組中の鮮人船員三名を救助したが船體は一先づ附近海岸に曳あげた

青森縣の大火

【青森一日發電】東津輕郡蟹田村に三十一日夜大火あり燒失戶數七十七戶

遭難原因
ヴェストリス號
英商務院發表

を行つてゐる

【ロンドン卅一日發電】昨年アメリカ東海岸で沈沒し井上中佐以下多數の悲慘な犧牲者を出した英汽船ヴェストリス號の沈沒原因につき商務院は本日判定書を發表したが右によれば同船の沈沒は積荷過大にして船の安定と浮揚力に充分

ゆふべ着連の
列車大延着

一日二十時卅分大連着急行第十二列車は一時間十二分延着したが原

けふのラヂオ

昭和四年八月二日(金曜日)
自午前十一時　相場(特產、錢鈔株式各地相場)
自午後零時三十分　相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分　相場(錢鈔、株式各地相場)ニュース
自午後五時　日本大相撲連絡放送
自午後七時三十分
一、ニュース
二、兒童科學講座(命の長い物と短い物)大連第二中學校泊尙義
三、ヴァイオリン獨奏(一悲歌エルンスト曲、二ハンガリヤンマヅルカ ラジンガナボーム曲、三ガボット ゴセック曲)星野政一
四、筑前琵琶(案擣入)法橡山前原旭芳
伴奏櫪木龜二郎
五、支那劇(四郎山)連東倶樂部々員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓（57）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

金（一七）

久彦はその瞬間、実知子と龍吉の間に流れた險の悪さうな氣配に氣付いて

「……おや、何うしたの？ 何か僕の蔭口でも利いてたんぢやないの？ いやだな」

と笑つた。

「……でも、龍吉が變なことといふもんだから」

と、実知子は眉を顰めて、龍吉の顔をやさしく睨んだ。

「……變なこと？ はゝ、云つてやらうか、草野さんの前で！」

龍吉は唇を曲げて意地悪さうな眼付をした。

「……姉弟喧嘩か、いゝな、羨ましいな」

久彦はさう云ひながら椅子を引いて腰をおろした。

「ウ、ン、喧嘩ぢやあないんだよ。僕がね、姉さんに訊いてやつたんだよ、姉さんは草野さんに惚れてるのかつてさ！ はゝゝゝゝ、さういふ訊きかたは、いけないかな草野さん！ では、草野さんに訊かうか……？」

龍吉は実知子の顔と久彦の顔とを、ぢろ〳〵見比べるやうにしながら云ふのだつた。

久彦は、実知子の顔をチラと眺めた。同じやうに、実知子も久彦の顔をチラと見た。

「……おこつてやつて下さい！ 龍吉つたらあんなことばかり云つて、わたしを苛めるんですもの……」

実知子は眼を伏せると、さう云つて上眼づかひに龍吉の顔を睨んだ。

「……いけないわ、龍吉君！」

と、久彦は笑ひを含んだ聲で云つて、煙草を摘み上げると、眞顔になつた。

「……肝腎な今夜の會見だが、実知子さん、あなたは平氣で明日からお勤めなさい、僕、小森を痛めつけてやりましたよ、彼奴もすつかり閉口してゐました、もう今後あんな眞似はしないでせうし、させもしませんから、あなたも勤めを退く理由はありませんよ」

「……ま、さうですか、それは有り難う御座いました。ね、龍吉、わたし何うしようか、やつぱり勤めようか知ら？」

実知子は龍吉に相談するやうにいふ。

「……勿論、勤めるには及ばんさ！ そんなことで勤めてゐたひにやあ、姉さんみたいな美人は、勤めてばかりゐなけりやアなんないよ！ いや、ほんとうさ、ね、草野さんさうでせう？」

「……全くですよ！ そんなことで此方が身を退いたりすると癖になります！」

久彦も勵ますやうに云つた。

「……さうだね、いろ〳〵と有り難う！ わたし、決心しましたわ明日から平氣で勤めます、これで安心出來たわ、お父さんやお母さんに、心配もさせないですむんですし」

実知子も愁眉を開いたやうに、晴々となつて云つた。

「……では、あまり遅くならないうちにお歸んなさい、だん〳〵吹降りも、ひどくなつて來たやうです」

と、久彦は立つて窓際に寄ると、レースのカーテンをかゝげて、戸外を覗いた。

「……龍吉君、すまないが君送つて上げたまへ、自動車は直呼ばせる。送つてから、君はまた戻つて來たまへ、こゝへ泊つてゆくといゝ」

「……オーライ、さうしよう！」

龍吉はにこ〳〵ッとなりながらうなづいてみせた。

やがて呼ばれた近處の貸自動車のなかに、龍吉は実知子と並んで坐つてゐたが、暴風雨を衝いて駛る自動車が、やがて江戸川通りと思はれるあたりへ來た時、龍吉はふいに

「……姉さん！ こんなもの盗んで來てやつた！」

と吐き出すやうに云つた。

川柳八月課題

八月五日締切　夏服　小圓新生選

八月十日締切　薄物　篠原可居選

八月十日締切　顔役　高橋月南選

△各題必ず別記用紙はがきの事

滿日社文藝係

夕刊 滿洲日報 八月一日

支那側讓歩せるに反し勞農の態度頗る強硬
兩全權激論十一時間に亘り本國政府に打電

【滿洲里三十一日發電】昨夜十二時より露支國境八六待避驛の列車内で開かれたメリニコフ總領事蔡交渉員兩代表の會見で蔡全權は劈頭
歐亞連絡交通路の遮斷は列國に干渉の口實を與へたものであるから速に此弊を一掃せしめたく東鐵組織の改造については交渉に應ずるの用意あり、且つ東鐵監理局長以下ロシア人幹部も速に適當な人物を任命して派遣されたし支那は東鐵を買收又は奪取せんとするものでなく只ロシアの對支赤化宣傳を恐れるのみである
と讓歩的態度に出でたが、之に對しメリニコフ全權は
支那がロシアの赤化宣傳を口實に武力を以て奉露協定を蹂躪し國際信義を無視する行動に出づるに於てはロシアが如何なる人物を東鐵に派遣しても圓滿に鐵道業務に從事することは出來ない、依つて總ての交渉は支那の態度如何に依つて進められるであらう
と前言を飜へし極めて強硬なる態度に出で激論實に十一時間に亘り今朝十一時半に至りロシア代表メリニコフ領事はダヴリヤに、支那仕表蔡交渉員は滿洲里に引返し本國政府に夫々會議の經過を打電請訓したが滿洲里に歸來した蔡交渉員は睡眠不足の目をこすりながら徹宵會議したが何等具體的に纏まつた物なく引續き交渉を重ねる
と語り、前途暗澹たる面持で支那軍司令部に入つた

勞農側が威嚇發砲
交渉を有利に導くため

【ハルビン三十一日發電】勞農官憲はブラゴエスチエンスク方面の支那馬賊千數百名を使嗾して支那側を脅かさんとしてゐるので目下支那官憲は警備手薄の折柄頗る恐慌を來してゐる、尚同地方の勞農軍は時に威嚇的に發砲して居るが右は國境より武力を以て支那を威壓し滿洲里に於ける露支和平會議を有利に展開せんとするロシアの魂膽と見らる

新協定を締結して
支那側は東鐵の實權把握を希望

【北平三十一日發電】露支直接交渉に於ける支那側の態度は如何に折れたとは云へ飽くまで東鐵經營の實權を握らんとするもので先づ鐵道警備權、行政權を把握し監理局支那人幹部の權限を擴大し監理權の回收を最終目的とし之が中露協定及び奉露協定に牴觸するに於ては右兩協定を破棄して新協定締結の方針であると確聞する、尚國民政府内部ではロシアの出樣如何に依つては之を買收すべき計畫を進められてゐると

哈市學生團の對露外交支援

【ハルビン特電一日發】支那學生聯合會は東支問題に關する露支外交を支援するため宣言書を發し赤色帝國主義及び日本帝國主義に反抗し且つ東支鐵道の赤色侵略を打倒すべしなどと盛に氣勢をあげてゐる

勞農豫備兵に居所屆出命令

【モスコー三十一日發電】勞農政府軍事當局は極東各地に居住する長期歸休中の豫備役將校及び極東在住の千九〇二、三兩年度豫備役兵に對し居所の屆出を命じた、右は訓練のため召集に備へたものであると

土に即する人々(二)
農業實習所の健兒が悲壯なる力闘
◇―千田萬三

公主嶺農業實習所を見る――滿鐵の保々隆矣氏はゴシップ的毀譽の多いことで有名である、而して褒譽に値する部分を若し氏から拾はうとするならば、それは流動的創見と云つたものであらう、公主嶺、熊岳城の農業實習所、營口、遼陽の商業實習所と云つたものは、未だその成果を測定する迄には行かなくとも氏の善き創見の産物と云はるべきである。

◇

私は今若き實習生が内蒙につながる廣野の中に、色黑々となつて土を耕してゐるを快く見てゐるのだ午後六時になると、實習生はぼつぼつ畑から鍬を肩にして舍に歸つてくる、身體を洗ひ終る頃夕餉の用意は成り、軈て所長の宗光彦氏を中心として默禱を捧げ乍ら勢ひよく箸は動く、健康な夕餉である一食六錢の食費ではあるが、しかし若人達にとつては美味の頂點である。

◇

夕陽は舂き、曠原の涼風は爽かである、一日の勞働に疲れた身體を支那語の講習に出掛る者もある、午後九時が消燈である。

◇

夜は明けた――
二十名の實習生は法螺貝の合圖で午前四時の起床だ、みんな冷水を浴びて、舍内の掃除にとりかゝるそれが終ると圃場に出て、所長の宗氏が先頭に立つて、皇國運動、君ケ代合唱、教育勅語捧讀、陛下の彌榮を三唱して後、今日の勞働に對しての天帝の加護を默禱して畑に勢よく飛び出してゆく。

◇

今は「除草」「中耕」と白菜、大根、蕎麥の種蒔き時である、午前六時半から七時半の朝食時間と、正午から午後二時迄の晝食と午睡時間を除いては一日中炎天の下に立つて働くのである。

◇

この學校は天職縣の友部にある加藤完治氏の高等國民學校に範を取つた「晴耕雨讀」の學校である、雨の日以外は本の頁をくることはない勿論多くはコモ編み、溫床づくり、學科と云つた戶内の引き續りが大部分ではあるが。

◇

宗氏はこの實習所のプランをつくる乍らも悲壯な決意を籠めて力說してゐられる。氏は言ふ「私の現在のハラはこうです、私の實習所を出た者を附屬地以外の土地に飛び込ませたいと思ふのです、そうでなければ大した意味を持ちません、附屬地以外の土、即ち滿蒙公司其他の持つてゐる土地へ、一つの小さな集團と云つたものをつくつて入つて見る、即ち邦人の滿蒙に進展を有するか否かのバロメータとしての重荷を負ふてゆくのです、若し私等の計畫が失敗すれば國家的にも一つの決定をつくることゝなるのです、この意味で私達の負はされた立場は非常に重大だと覺悟してゐます」

けふの赤色デーに備へ東鐵全線に戒嚴令
罷業宣傳に當局警戒

【ハルビン特電一日發】三十一日午後三時頃市内各所に中國共産黨の名を以て「八月一日の赤色記念日にはヂエネラル、ストライキを斷行せよ」と記せる傳單を撒布せるものあり、支那側憲兵隊等は極度に神經を尖らし萬一の場合は斷然兵力を以て鎭壓する方針をとり又數日來多數の軍隊をして市中を遊行せしめ威壓的デモンストレーションを行ひつゝあつたが卅一日夜に至り東支全線に亘つて戒嚴令を布告した

水も洩さぬ警戒に
平日よりも靜かな上海

【上海特電一日發】共産黨第三回國際赤色デーを期して共産黨は一大示威運動を起すべく計畫してゐたが租界及び支那側當局は時節柄極力警備を嚴かにし昨夜來上海全市に亘つて要所々々には支那軍隊及び各國陸戰隊配備されて出動を待ち、辻々には十名位宛の警官隊武裝して警戒に立ち水も洩らさぬ嚴戒にさしもの上海も今朝はいつになき寂寥を示し群衆集合を豫想されてゐた各大通りも却つて紅靜なる有樣で天を刺り地を潛る共産黨も手も足も出さうも無い、又各工場總罷工が豫想されてゐたが事實は反對で最も危險視されてゐた邦人各紡織も平日通り操業してゐる、然し斯かる嚴戒裡にも今朝十時二十分頃南京路上にて反帝國主義、東支鐵道問題に關するビラ撒きが開始されたが群衆多からず從つて氣勢も揚らずビラ撒き人は直に逮捕された

米大統領……

【ワシントン三十日發電】過般米國大統領フーヴアー氏が英首相マクドナルド氏と呼應して軍縮聲明を爲し巡洋艦三隻の起工中止を發表せる際米國在郷軍人團長マクナット大佐が大統領に抗議を提出したが、フーヴアー氏は本日大要左……

水産會總會
來る十二日開催

關東州水産會評議員會協議の結果臨時總代會を八月十二日午前十時……

……である尚は西部日本水産會大會は來年度多分關東州内に於て擧行される見込みである

陸軍の定期大異動
けふ官記職記傳達

【東京一日發電】陸軍大異動親任親補式は天皇陛下御避暑中につき行はせられず、一日午前十時より首相官邸に於て、東京警備司令官岸本鹿太郎中將、參謀次長南次郎中將、近衞師團長長谷川直敏中將、教育總監部本部長林銑十郎中將、陸軍大學校長荒木貞夫中將、陸軍省整備局長松木直亮中將、人事局長川島義之中將等には夫々直接官記職記を傳達され地方在住者には別に官記職記の傳達が行はれ異動左の如く發表された

進級

臺灣軍司令官 陸軍中將 菱刈隆
東京警備司令官 同 岸本鹿太郎

任陸軍大將(各通)
……

任陸軍中將(各通)
……

轉補

朝鮮軍司令官 大將 金谷範三
參謀次長 中將 南次郎
近衞師團長 中將 長谷川直敏
教育總監部本部長 同 林銑十郎
第十一師團長 同 小泉六一
第三師團長 參謀本部附 中將 松井石根
陸軍大學校長 同 荒木貞夫
第六師團長 陸軍省整備局長 同 松本直亮
第十四師團長 陸軍省人事局長 同 川島義之
第十九師團長 士官學校長 同 林仙之
教育總監部本部長 參謀本部總務部長 中將 岡本連一郎
參謀次長 中將 篠田次助
東京灣要塞司令官 中將伯爵 寺内壽一
第十六師團留守隊司令官 中將 井染祿郎
獨立守備隊司令官 同 多門二郎
由良要塞司令官 中將男爵 淺田良逸
東京灣要塞司令官 中將 厚東篤太郎
重砲兵學校長 同 石川潔平
陸軍大學校長 同 大村有隣
旅順要塞司令官 工兵學校長 少將 若山善太郎
工兵監 航空本部附 少將 小澤寅吉
下志津飛行學校長 ……

補歩兵第二十八旅團長 同 角田政之助
補關東軍司令部附(奉天特務機關長) 同 鈴木美通
補近衞歩兵第二旅團長 ……
（以下朝刊）

松岡副總裁
けふ午後歸連

吉敦線視察中であつた松岡滿鐵副總裁は一日十七時大連着列車にて歸連の筈

旅大送電工事
十一月中旬完成

旅大送電計畫の經過狀況を實地調査した關東廳中里技師は語る……十一月中旬頃までには完全に完成することにならう

山梨總督問題を宇垣陸相が斡旋
圓滿に進退を決せん

【東京一日發電】山梨總督の進退問題に關して三十一日午後六時濱口首相は宇垣陸相、松田拓相等と協議の結果、軍部の關係上宇垣陸相は山梨總督と會見し總督の意中を確めて政府との間を斡旋し圓滿に總督の進退問題を解決するものと見られてゐる

山梨總督あす歸任
政務打合を了へ

【東京一日發電】三十一日山梨總督と濱口首相の會見にて首相は暗に總督の進退問題に關し考慮を促したとさるゝに對し一部では首相は政務打合せ以外進退問題に言及するところなく總督も何等意志表示せず會見を終へたもので、總督は今日中に首相の所謂政務の打合せを完了し、二日朝七時四十分東京驛發御殿場に西園寺公を訪問の上歸任の途に就く決意を有してゐると傳へらる

後任總督は伊澤氏か
文官說が有力

【東京一日發電】山梨朝鮮總督は政務の都合に依り一應歸任するとしても結局最近の機會に於て辭表を捧呈するものとの見解の下に政府は既に内々其後任者を物色してゐるが、最近漸次文官總督說有力となり伊澤多喜男氏說が最も有力となつて來た

人事

▲坂井大輔氏(代議士) 一日出帆はるびん丸にて内地へ
▲河本久氏(河本大佐夫人) 同上
▲鹿兒島高等農林一行十五名長谷川孫之助教諭に引卒され同上
▲高知縣立農業補習學校一行十三名 中山虎蔵教諭に引卒され同上
▲京都府船井郡小學校長會田中數馬氏外二十名 同上
▲市川數造氏(滿鐵々道部營業課長) 三十一日夜行にて赴奉二日後歸連の豫定だと
うらる丸無電 二日午前八時港外着の豫定

大觀小觀

政府は「何うだ爺さんか」山梨氏は「何んだ豫算か」ナルホド語呂だけは合つて居る。
◇
山梨氏の背後に總督文官制採用反對論者の支持あるは疑ひのない事實。
◇
「世に恐るべきは用語の有無に依つて國體觀念をあやまるもの經濟は人類のあらん限り之が生存に伴ふ必然的のもの」――何んのことか判らない。
◇
赤色デー、褐色デー。
◇
多分、言つてる本人にも判らないだらう。
◇
第三次軍備改編の着手、宇垣陸相に期待す。
◇
松岡副總裁、學良氏に對して最後の意見を吐露す。
◇
目前の小利害や小感情に拘泥せず、大局に眼を着けて、滿洲永遠の平和を圖ること。
◇
此の際、これを學良氏に希望して已まない。

天氣豫報

二日 曇り一時晴れ南東の風
日出四時五十三分 日沒七時五分
滿潮前七時廿五分 後七時三十分
干潮前零時二十分 後一時四五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二六、一	二八、五
旅順	二七、〇	二九、四
營口	二八、七	二九、九
奉天	二一、〇	二七、九
長春	二五、一	三一、七

北滿の風雲に怯え赤系露人が州內へ
事件發生以來三百十餘名避難 活氣附く白系露人

北滿の風雲急と露支紛爭の發生にハルビンを中心にしたソウエート聯邦の避難者で男女家族を合して州內に避難して來た人員は事件の發生して以來三百十餘名に達し、州外で日和見的に形勢觀望をしてゐるものは長春に九十八名居住してゐるのみで奉天其他は全部州內に避暑旁々に逃げて來た、唯其間にあつて活躍してゐるのは白系ロシヤ人でハルビン、奉天大連と往復するもの多く大部分は東鐵監督運動の信者で時に赤白のロシヤ人が呉越同舟である奇現象さへ見られると

他人の土地を勝手に賣る
普蘭店管內の會屯の書記が無智な百姓を騙る

普蘭店管內快馬廠會𡈽龍屯姜學良(三)は昨年二月迄快馬會の書記をして居た事を奇貨とし附近の無智の住民を欺き實印を借り出し百姓の所有地を何時の間にか轉賣し其被害一萬八百圓に上り更に同年二月九日公金二千圓を拐帶し天津一面坡へ轉々逃走して居たが豫て手配中の處三十日夜市內東鄕町二九特產代理店姜興堂方に潜伏中を小崗子署員に逮捕された
尚所有土地をとられた被害者は多數に上り被害額は尚多き模樣であるが前記姜興堂も共犯らしく目下嚴重取調中

ポアンカレー氏手術を受ける

【パリー三十一日發電】病氣のため挂冠した佛國前首相ポアンカレー氏は明一日手術を受けることゝなつた

報を得た、尚ほコーシエ氏は夫人を同伴する模樣である

佛庭球選手今秋來朝

【東京卅一日發電】日本庭球協會ではレーシング倶樂部との間に交涉なり三十一日フランス一流選手コーシエ、ブルニヨン、ランドレー、ロテルの四氏が十月十一日横濱入港の天洋丸で來朝する旨の電

韋駄天ヌルミ選手練習中脚に負傷
今後の活躍危ぶまる

【ニューヨーク發】長距離競走の世界選手權保持者フインランドのヌルミ選手は最近米國に渡り盛んに好記錄を出して全米ファンの度膽を拔いて居たが今回突然同選手を招聘したアマチユア。アスレチツク、ユニオン迄歸國を申出でユニオンの幹事連を吃驚させた。同選手は練習中大事な脚を怪我したので故國フインランドでゆつくり治療を受けたいといふのである。そしてヌルミ選手は遂にスエーデン。アメリカ航路のカングスホルム號で歸國の途に就いたが將來再びトラックにその勇姿を現はすか否かは懸つて脚の治療結果如何にあると見られてゐる

倫敦日本間航空路
英國で開設か

【ロンドン三十一日發電】英國民間航空局長ブランカー氏が發表したところに依れば英國は北極圏附近を通過するロンドン、日本間飛行路を開くことゝなるかも知れぬと

小さな採集家 中央公園で

北支の勞農領事等けふ大連を引揚ぐ

本國政府より引揚げを命ぜられた在支勞農領事等は既に殆ど全部大連に落ついてゐたが前航あめりか丸で出發しなかつた張家口領事ミハロイエフ夫妻、東支鐵道北平代表ヤコレフ夫妻北平駐在代理大使スピルバデフ夫妻、同副領事シユミツド氏外數名は一日出帆はるびん丸で日本へ向つたが一行は先發隊同樣敦賀より浦鹽經由モスコーに歸還すると、尚殘りのものは三日出帆の天城山丸で浦鹽に向ふ豫定である

盜難から有料に
星ケ浦脫衣場

星ケ浦海水浴場には目下滿鐵地方課の設置せる脫衣場が四ケ所あるが貴重品保管の設備が無き爲め毎日續々と盜難多く警察とも對策を講じて居たが、愈々脫衣場一個所を保管料五錢徵收して有料脫衣場にする事に決定數日中に設備を整へて多分今日曜迄に設置される豫定であると

土俵に活氣
玉錦出場の四日目

東京大相撲四日目は朝來の曇可減のためか客足多少衰え可減であるが、それでも或事情のため一時休場中であつた實力第一と言はれる關脇玉錦の出場と常の花五人掛の御添物等もあり正午頃までには七分の入りである、今日も人氣力士天龍と玉錦の後援會の組見があり赤い旗に早くから土俵の景氣をそゝつてゐる、午前中は例に依り未來の横綱を夢に見る新進二三段の力士が武藏山高ノ花等を相手に猛烈な稽古を續け朝早くから詰めかけてゐる玄人筋の好角家を盛んに喜ばせてゐる午後一時幕內力士の稽古が始まつた頃には八分通りの入りとなつた、本社の個人決勝も愈々優勝旗爭ひが近くなり益々人氣を高めてゐる

第四埠頭の浮標に點燈

第四埠頭突端の浮標にかねてより點燈すべく準備中のところ一日より愈々點火すると、尚これによつて附近航行の船舶は一層便利になる模樣である

行數改定謹告

八月一日より本紙使用活字更改の結果全一頁の行數一百四十五行と相成候間此段謹告仕候

滿洲日報社廣告部

蔬菜品評會

大連蔬菜品評審査會は八月二、三の兩日柳樹屯で開催されるが、關東廳からは篠農事試驗場長が審査委員長として出席の豫定で、次回は十一月八、九の兩日周水子十一月一、二の兩日は西山會で行ふ

自動車で幼兒傷く

一日午前十時十分ごろ大連北大山通り九大和タクシー運轉手山路勇は山手町電車停留場の前で後退せんとした刹那、大和町二六水上署巡査庄島宗雄長女康子(三)が向ひ側より走つて來てその後を横斷したのに衝突し左額、右肩、後頭部等に擦過傷を負はせ康子は直に唐澤病院に擔ぎ込み應急手當を施したが餘程重態である、目下大連署では山路を引致し傷害被疑者として取調中

絕えぬ交通事故

徹底した排日宣傳 個人的交際もせぬ
奉天外交協會の決議

【奉天特電一日發】東北四省外交協會では三十一日午後六時より再び部會を開催し排日に關する今後の方針につき研究した結果日本人とは經濟的に絕交すると同時に個人的の交際をもしない事を決議し、排日の活動寫眞演說等をなし同八時散會したと

電車と自轉車

三十一日午後一時三分ごろ大連東公園町滿鐵本社前に於て一系統第二二四號電車とその直前を横斷せんとした淺間町一五德裕昌鐵工場內鐵工夫鄒世滋(三)の自轉車と衝突し鄒は右顏面および右拇指に治療二週間を要する擦過および挫傷を負ひ自轉車前車輪を破損し、電車はヘツトライト硝子各一枚を破損した

飮食店組合紛糾せん
洋食部獨立の運動猛烈

過般來分離獨立を策し暗中飛躍を試みてゐた飮食店組合洋食部中の黑猫、千鳥、日本橋食堂等の各方面を糾合の上來る三日午後一時より中央公園醉月において總會を開き右獨立組合の組織を議事として提案する事になつたが、同じ洋食部にも山本組合長は洋食部員でありまたライオン、精養軒その他の反對派もある事とて相當紛糾は免れざるものと觀測される

Z伯號けふ出發
[illegible]アメリカに向ふ

[illegible]

…へて亂舞…同意の際には其…返答せなければ…し同意を表示する

…猶氏は性質鬪爭を好み勇壯の壯漢は多數の女子から歡迎され甚しき者は十數名の女を妻として愛し女は勇士を崇拜する事今日の女子…のである…尼師歌狂…集つ…

…が金滿家の息子に思を寄すると同樣である
◇
斯る風習である故孱弱な男は他打ち勝つ事が出來ない故女子にはれて結婚する事が出來ない結致方なく猥と結婚する者が尠くない
◇
…弱者は成年期になると壯漢と相撲をとり妻帶の要件を獲得せんと努める、若し敗けると致方無く猥を娶ふて性の憫みを慰めんとする
◇
猥の習性は一雌、一雄であるため斯る場合には雌は必ず逃げて仕まふが、毎日果餌を與へて好く馴らし、終に雌猥を雄猥と男との共有とし妻として扱ふて居ると

第五回スポンヂ大會

△期日 八月拾壹日(第二日曜日)
△用球 角一スポンヂボール三拾二匁
△出場資格 各會社商店銀行內にて編成したるもの(は何チームにても差支なきも同一人にて壹チーム以上へ出場することを得ず(但し滿鐵は各課所を以て編成とす)
△申込期日 八月九日迄とす
△主將會議 八月十日

[illegible]體育堂
滿洲日報社

暴れ自動車電話切斷
姿を晦す

三十日午前四時四十分ごろ大連若狹町二〇六番地に於て電話線電柱に衝突しこれを傾斜した外同町二一〇火野美都、高振林、同町二〇六劉慶倚かたの架設電話線を切斷の上逃走した自動車あり各被害者の屆け出により目下大連署で極力搜査中

電話機泥棒

山東生れ市內千代田町五耿茂(四〇)及び住所不定于振海(四五)の兩名は三十一日午後十一時小崗子管內周家屯滿鐵保線工事請負永吉組方に忍び入り同所取付の電話機を竊取せんと取外して居る處を同家の者に發見され一日沙河口署に突き出された

◇…關東廳の警官二千餘名のうち柔劍道の有段者は合計百八十二名でその比率は朝鮮よりずつと優秀であると

◇…奉天稻葉町の吉本寅一は妻君の留守中に友人を集めて酒盛の最中に妻君が歸つて大喧嘩となり立腹の餘りプールに飛び込んだがおさまらず遂に妻君を離緣した【奉天】

◇…支那政府も國民に節約を督勵しつゝあるが安東交涉署では今後料亭の宴會に藝者厳禁、料理の皿數制限を布告した【安東】

工場讓受同貸借對照表
(自昭和三年七月一日
至昭和四年六月卅日)

資產之部

科目	金額
工場讓受報酬金	一三、五〇〇・〇〇
土地建物	四四九、九〇四・一五
機械器具	三三九、九〇七・〇六
營業用什器	二六、五三二・一〇
貯藏品	一七、〇三六・二〇
原料品	一五、〇八三・六九
肥料品	四、二九八・〇四
未到着原料品	六、三三四・三四
皮革品	三三七・三七
未收入金	六、七七七・九三
受取手形	一〇、〇九〇・一三
賣掛金	二、三六八・〇〇
假拂金	五、五九五・一五
貸金	一八、〇〇〇・〇〇
有價證券	五、五六八・〇〇
出張所勘定	一三五、四四四・九五
銀行預金	三、三二七・一九
振替貯金	一九六・九三
工場假出	一四・二〇
滿鐵運賃豫納金	六六九・〇七
現金	一、五三二・三六
繰越損失金	一七、六六八・四三
合計	一、一七三、九六五・二三

負債之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
借入金	一一五、〇〇〇・〇〇
銀行當座借越金	二六、一四四・四八
假受金	七、三二一・四八
未拂金	三、八五五・〇〇
當期益金	二一、七〇四・二七
合計	一、一七三、九六五・二三

財產目錄ハ貸借對照表ト同一ニ付キ略ス
昭和四年七月三十一日
大連市向陽臺九番地
滿蒙殖產株式會社
追而取締役全部任期滿了ノ處何レモ再選重任シ監査役谷井光之助、八木政三辭任ニツキ補缺選擧ノ結果寺田虎次郞、向井正作當選就任セリ

獨逸船が俄かに大連を中心に活躍
浦鹽方面の積出し不能となりて
注目すべき海運界

露支兩國紛爭により從來浦鹽港を中心に目覺ましい活躍を行つてゐたドイツ船は非常な打擊を蒙つてゐるがこれが爲め大連港に回航するドイツ船は日々增加し、從來

◇浦鹽港　に於ける思ひ切つた安運賃を以つて、大連港を根據に活躍を策しつゝあり、運賃界に非常なる攪亂を來たさんとしてゐる、卽ち獨逸船が浦鹽港に力を注いでゐたことは今日に始まつたものでなく、歐洲大戰後上海、香港、新嘉坡等に於ける獨逸の經濟勢力の失墜から自然海運の主力を浦鹽港に向けた、爾來獨露の通商關係は極めて密接なるものがあり先年英露國交斷絕後はいよ〳〵兩者の經濟關係が密度を深め、露支紛爭前、露商が浦鹽港から積出す貨物は殆どドイツ船に與へ、その外總ゆる點で便宜を計つてゐたので、ドイツ船も出來得る限り

◇船運賃　を安くし一手に輸送を引受けてゐた爲外國船は全く手足を封ぜられた狀態にあつた然るに露支國交斷絕による浦鹽港の出荷杜絕で、ドイツ船は主力を大連港に向け、今後南下して來るであらう貨物を低廉な船運賃をもつて一手に引受けんと氣構へ、近來ドイツの經濟復興によつて、總ゆる近代化學を應用して建造した商船を既に七、八隻も回航せしめてゐる、卽ち每月

◇大連港　へ回航する歐洲航路の各國商船は英船六隻、日船四隻、獨逸船七隻(或は八隻)その他二隻にて獨逸船は斷然諸外國を壓倒し、その荷主は哈爾賓に地盤を有する露商であつて、露支關係によつて浦鹽港積出しの杜絕で大連に輸送される貨物積出を狙つてゐる、今日まで大連港に於ける獨逸船の活躍は經濟的勢力の點といひ、地形の關係といひ到底日英兩船以上の活躍を許されぬと見くびられてゐたのを完全に裏切り、新興ドイツの意氣を以つて日英兩國の地盤に喰ひ入り大連港に

◇海運の　主力を扶植せんとしつゝあることは非常に注目すべき事で同時にドイツ船が浦鹽港同樣の安運賃を以て臨むに至らば自然諸外國船も競爭上運賃引下を餘儀なくされるに至るであらうと觀測されてゐる

大した影響は無いだらう
一時的の現象に過ぎまいと
當地海運業者語る

右につき某海運業者は語る
最近獨逸が大連港に注意を喚起して來たことは事實だが、海運の主力を大連港に集注するといふやうなことは地形其他の關係で出來よう筈がない、今まで露國を相手に

歐洲向　貨物を大量に引受けてゐたものが露支關係で浦鹽港が杜絕し、從つて南下貨物を目的に大連港に船舶を回航させたに過ぎず浦鹽港さへ舊に復すれば、獨逸船も再び浦鹽に歸るであらう從つて獨船が運賃を安くするといつても積荷がなければ何もならぬが、浦鹽積出契約の

貨物が　どの程度に大連に轉送されて來るかゞ問題であるしかし之は大したことはなく、例へ滯貨の全部が大連に來るとも大勢を左右するほどの影響はなからう

商工從業員表彰推薦
希望者は市役所へ

大連市では產業獎勵の一助として一般商工業從事員の善導誘掖に資する爲每年十月一日市政記念日をトし商工業從事員で十年以上勤續した者並時に衆人の模範となるべき行爲があつた者を表彰すること、し既に回に重ぬること二回產業助成上裨益する所尠からざるものあるに鑑み本年も同日を以て其の第三回表彰式を行ひ表彰することに決定し各同業組合、團體に對し表彰候補者の推薦方を依賴したが同業組合、團體に加入せざる店舖工場に勤務する者で左記標準に該當するものは雇主より直接の推薦を希望し又組合團體中推薦依賴の洩れたる向きで該當者ある場合も同業組合團體長より推薦するやう希望して居るが推薦に關する詳細なる手續は同市役所庶務課に承合されたいと

模範表彰候補者推薦標準

市內の店舖又は工場(本支店を通じ)に十年以上勤續したる商工業從事員にして一般商工業從事員の模範となすに足るべき者卽ち

(一)品行方正、業務勉勵又は技術優秀なる者
(二)其の勤務せる店舖又は工場の繁榮に顯著なる功績ありたる者
(三)營業主の危急に際し克く奮勵其の頹勢を挽回したる者
(四)其の他特に賞揚すべき奇特の行爲ありたる者

勤續表彰候補者推薦標準

市內の店舖又は工場(本支店を通じ)に勤務する商工業從事員にして昭和四年九月迄に勤續滿十年の者及以上滿五年每に其の年限(例へは十五年、二十年、二十五年)等に達したる者
但し市外の本支店勤務の爲右の年限に表彰せられざる者は右表彰年限外と雖表彰するものとす

北滿貨物で夏枯れ知らずか
南行は一日二百車の增貨
逆送運賃は未解決

哈爾賓に於ける浦鹽向けの特產は目下二千車餘の停滯を見、而も全く輸送不可能に陷り、荷主は多大の損害を被りゐるため荷主は東支鐵道に對し南行方の交涉中であるが東支は該貨物に對し浦鹽までの運賃は拂ひ戾すも一フードに對し五哥金の手數料を要求し荷主は三哥金は應じても五哥には應ぜられぬとし未だ解決を見ざるも時局のため輸送を急ぐ關係から近く南行輸送に解決を見るものと觀測されてゐる、之に對し滿鐵では該貨物が十五噸車二十噸車、五十噸車と區々になつてゐるため滿鐵の三十噸車に積取るには相當困難を生ずるので長春東積場の大整理を行ひ六百人の苦力を集めて準備を終つたが時局が惡化して二千車餘が一時に殺到する場合は尙未だ手不足を生ずるため更に臨時列車の增發をすることゝなららう、而して閑散期の今日に於ける南行貨物は一日三百車餘で例年より二百車餘の增貨であつてこの狀態は新穀出廻り期までは持續されるものと見られてゐる、因に東支沿線の在貨は二十六七萬噸、松花江の增水による川豆輸送が尙は二十三四萬噸を豫想されてゐるからこの五十萬噸餘の貨物は時局の影響で滿鐵線を滔すことゝなろうから滿鐵の本年に於ける夏枯はなきものと見られてゐる

邦商取扱の北滿滯貨

【哈爾賓發】東部ポクラ國境封鎖のためポクラ、浦鹽及びその他烏鐵沿線に停滯中の邦人扱輸入貨物は次の通りである、
光武商店　砂糖二、六七〇袋、角糖五〇〇箱、氷糖四八〇箱
榮信洋行　亞鉛平板一一、二五〇枚、同浪板一、〇〇〇枚、鉛塊一一三本
高岡號　精糖二〇〇袋、更目糖二〇〇袋、古新聞紙一〇〇袋、地下足袋二〇個、更紙五個、玉葱五〇個

尙ほ右滯貨は大連へ回送又は內地へ逆送の手續をとつてゐるものもあるがそのまゝ形勢を觀望中のものもある

東支沿線穀物主要驛旬末在貨
昭和年月中旬(單位米噸)

品別	昂々溪	安達	滿溝	哈市
大豆	一〇、一三四	六九、一五六	一六、七五八	六七、一〇四
豆粕	三六	―	―	八一〇
豆油	四五〇	―	―	二七〇
小麥	二、九一六	二、五〇二	七三八	四四、九四六
麥粉	二一六	―	―	一、二六〇
麩	一四四	―	―	六四八
高粱	五四	一、九四四	二、八六二	二、〇八八
粟	二一六	一、六九二	二、三九四	一、一七〇
包米	―	二三四	三九六	一〇八
其他	五七六	九三六	二、〇七〇	―
計	一四、七四二	七六、四六四	二五、二一八	一一八、四〇四

團體めぐり
特產市場の始　埠頭の露天取引き
興味あるその生ひ立ち
◇……大連重要物產組合(一)

豆の都……大連も今から三十年前を顧みれば、渺たる一寒村であつた、日露の兵火が終末を告げて日本の經濟勢力が、低きに流れる水の如く伸張されて來てから、年ならず牛莊港の繁榮を大連港に奪ひ、豆、粕、油は輸出貿易の大宗となり、滿洲經濟界の消長を左右する重要物產となつたのは洵に電光的の早業であつた、歐洲向け輸出の糸口が開かれた明治四十一年五月、大連に於ける特產貿易業者が共同利益の戰線にたつて輸出商組合を組織したが之が現在の滿洲重要物產組合の前身なのである。

◇

そして輸出商組合が滿洲重要物產取引商人集合所を設置したのは明治四十年の五月であるが、その頃貨物の在る所卽ち市場となつた譯で、從つて特產取引は埠頭で行はれたものだ、だから當時は市場といふ名のみで日支特產商は埠頭の岸壁に立ち、或は大豆、豆粕の堆積されてある間隙に身を寄せたり、又は倉庫の片隅に蹲くつて商談をしたといふ夢の樣な時代もある。

◇

斯る事情であるから輸出商組合に率先し滿鐵埠頭事務所に申請し建築物の一部を借り受け、此處に多少の設備を施した上、これを市場に當てんと同業者に諮つたところ、忽ちにして必要以上に金が集つた、そこで埠頭事務所は此の要求に應じ、四十一年十月倉庫の一部二十坪を貸與したので、組合は茲を假市場として開始した。

◇

所が俄然此處に集る者日に日に增加し、日ならずして百名以上に達した、當時は市場に出入して取引する商人に對して何等の制限がなかつたので、市場は忽ちにして狹隘を告げ、時に午前中は寸隙もなき非常の混雜を呈したものだ、斯ような狀態で輸出商組合は又復滿鐵に對し市場敷地の提供方を請願した。

◇

茲に於て滿鐵は此等商人の熱望を入れ、倉庫の名義の下に約百坪の一棟を建設し、之を組合に貸與した、此の市場は四十二年一月二日落成と共に組合に引渡され、一月四日より公開の市場となつた、その以後大正二年九月一日大連重要物產取引所の開業せられる迄は大連に於ける重要物產は悉くこの建築內に於て取引せられたのである。

商議副會頭は田中横田兩氏か
横田氏重任を辭せば昌光硝子の藤田氏か

大連商工會議所副會頭は特產畑から瓜谷長造氏の呼び聲が高いが同氏は商賣上の關係から多忙な要職に就くを許されぬ事情にあり、承諾困難と見られてゐるので結局特產畑からは豆信の田中喜助氏が推薦されるべく、さらに横田前副會頭が重任を辭する場合は昌光硝子の藤田臣直氏が有力視されてゐる

大連における棉業の合同
近く具體化の模樣

大連における邦人經營の棉業工場はその規模少さく、從つて製產高も僅少にして、現在の儘にては斯業の發展は到底望み得られない狀態にあり、當業者は勿論滿洲棉花協會及當局においても當業者の分立競爭を改めて合同組織として大量製產の方法をとるの利益なることを唱導されてゐたが、最近當業者及有志の人々に依つて合同實行の議起り種々交涉の結果合同の具體的成案を得たるもの丶如く關係當局においても贊意を表し又出資及販路については有力なる華商側及片倉組において相當援助することになつたが滿洲各地の需要製棉數量は哈爾賓のみにても一ケ年一千萬圓に上り南北一帶を通ずれば年額三千五百萬圓に達し、邦商の活動を要する事業なるに拘らず資本家の援助により合同組織を以て經營さることになれば相當斯業の發展をみること丶期待されてゐる

撫順炭礦の出炭能率好成績
一人當りは世界の記錄を破らん
懸賞制度と經費節減

【撫順發】撫順炭礦に從業する華工數は七月卅一日現在約四萬人で昨年同期の五萬五千に比し一萬五千の激減を來してゐるが、その出炭高は昨年同期と何等遜色なく豫定通り出炭して一人一日出炭高は頗るの好成績を示し內地諸炭坑の最高記錄を凌駕せんとする勢を示して居る、この調子では今後恐らく世界記錄を破るに至るべく、その結果一萬五千の減少に拘らず豫定額の出炭をなしつゝある事は必然的に出炭費の節約を來し炭價をもある程度まで低減し得る狀態にある、右は

撫順炭礦四年度の新試みとして古城子露天掘外十三坑に亙り、能率增進を計るべく一年間長期に亙る懸賞制度を實施した爲である、右制度の入賞資格の主要條件に一年間を通じての一人當りの出炭高の多い程成績優秀と言ふ事になつてゐるので各坑とも華工の頭數をへらし腕のある華工を使ふ事を希望し各採炭所長以下華工まで一丸となつて能率增進に猪進してゐる

因に能率增進長期懸賞制度の實施されてゐるのは中央事務所を除いた發電所、機械工場、選炭場、工務關係の現場方面等で何れも成績良好にて從來むだな機關や冗員を設けられてゐたのが是等は經費節減のため一掃されんとしてゐる

工業研究會
二日午後協議

大連工業研究會では八月二日午後三時半から社員俱樂部に於て左の事項に就いて協議を行ふ
一、編油草特許權處理
二、本年度の事業に關する件
三、五十嵐氏を幹事推薦の件及退任幹事に感謝の件
等で關東廳からは小川殖產課長が出席すると

黄塵

◇…嫌はれもの丶市長には幟りついてもなり度いが、商議會頭には誰もが後退みする。
◇…いつそのこと會頭有給制度でも出したら何んなものだ。
◇…北滿輸送杜絕の影響で滿鐵のみホク〳〵。
◇…だからと云つて滿鐵が露支紛爭の長引くことを切望してゐるわけではない。

市況
特產
各品一齊高
銀の低落に

今朝の定期は差したる新材料はないが昨場一般平調の後を受け銀安を唯一の材料として各品共に一齊高を示した、普通大豆は出來不申高粱は九錢から十錢方の刎返し商狀を辿つた

◇定期前場(銀建)
▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	六七〇	六七〇	六七〇	六七〇
九月末	六六〇〇	六六三〇	六六〇〇	六六三〇
十月末	六六〇〇	六六一〇	六六〇〇	六六一〇
十一月末	六六一〇	六六三〇	六六一〇	六六三〇
十二月末	六六〇〇	六六二〇	六六〇〇	六六二〇

出來高　百五十車

▲普通大豆(出來不申)
▲豆粕(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	二三三五	二三四〇	二三三五	二三四〇
九月限	―	―	―	―
十月限	二三九五	二三九五	二三九五	二三九五
十一月限	―	―	―	―
十二月限	二〇六五	二〇六五	二〇六五	二〇六五

出來高　三萬九千枚

▲豆油(强調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	一八二五	一八二五	一八二五	一八二五
九月限	一八四五	一八四五	一八四五	一八四五
十月限	一八四五	一八五〇	一八四五	一八五〇
十一月限	一八一〇	一八二五	一八一〇	一八二五
十二月限	一七九〇	一八〇〇	一七九〇	一八〇〇

出來高　一萬八千箱

▲高粱(暴騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	四三三〇	四三三〇	四三三〇	四三六〇
九月末	四三〇〇	四三〇〇	四三〇〇	四三〇〇
十月末	四一〇〇	四一四〇	四〇九〇	四一四〇
十一月末	三六八〇	三七〇〇	三六八〇	三七〇〇
十二月末	三六三〇	三六三〇	三六三〇	三六三〇

出來高　百十六車

▲包米　出來不申

◇現物前場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)(裸物)	六七六〇	六七五〇
普通大豆	出來不申	
豆粕	二二三五	二二四〇
豆油	一八一〇	一八一五
高粱	四二六〇	四二六〇
包米	四三五〇	四三五〇

出來高　大豆百五十車、豆粕二萬三千枚、豆油五千六百函、高粱五車、包米二車

◇定期喰合高(卅一日帳入)(前日對比較)

品名	喰合高
大豆	二、五七九車(▲三)
高粱	一、七七〇車
豆粕	八〇〇〇千枚
豆油	一、九九〇百箱

錢鈔
前場(低落)　今朝の海外材料としては倫敦銀塊は廿四片十六分の五と(十六分の一高)先物片十六分の七と(十六分の一高)孟買銀塊は五十五留比十六分の五と(八分の一安)紐育は五十二仙八分の五と(十六分の一高)滙爾は七十二兩三〇、大洋は九十八圓六十錢、日米は四十六弗十六分の七と(八分の一高)英米クロスは八十五仙十六分の五と(十六分の一安)米支は五十八弗十六分の一と(十六分の一高)上海標金は三百九十四兩三と寄り九十五兩三と止め當市の銀價は低落を呈してゐた

◇定期取引(單位錢)

◇現物取引(單位錢)

商品
前場
麻袋(保合)　產地寄十六分の五安錢同時なるも爲替四分一高を入れ地場又買氣薄にて見送り簡單なる弱保合にて散會
綿絲布(保合)　米綿二十磅高と三品一圓五十錢にひきしまり

市場電報(一日)
銀塊及爲替
倫敦銀塊　二四片十六分五
同先物　二四片十六分七
紐育銀塊　五二仙八分五
孟買銀塊　五五留比十六分五
英米爲替　四弗八五仙十六分五
米日爲替　四六弗十六分七
米支爲替　五八弗十六分一

棉花
●米棉(換算九〇錢高)

●印棉

株式
內地は軟り　當市場閑散

今朝內地材料大物硬りを報じたが當所は整理問題を控えて一般氣乘りなく賣買雙方共に見送られ場面閑散を呈したが五品及他株は保合を示した

前場(保合)
後場(弱保合)

株式出來高(一日)
定期　一、五〇〇枚
現物　一、二八〇〇枚
合計　一、七八〇〇枚

七月下旬の對外貿易
出超二千萬圓

【東京一日發電】大藏省發表、七月下旬に於ける主要十三港の對外貿易は一萬出超二千十二萬二千圓と前年同期より千五百七十萬五千圓の出超增を告げた、之を前年同期に比較すれば輸出は五百三十四萬となり昨年より二千三百萬三千圓の入超增一昨年より三千二百二十八萬二千圓の入超減である

奧地市況(一日前場)
特產

豆
昨日一般平調であつた特產市場も今朝銀の低落を眺めて三品共に强調を呈し▲殊に高粱は出廻り減少で九錢から十錢方の刎ね返し商狀を示した▲今日より十二月末日限の取引が開始せられた普通大豆は出來不申▲一般に出來ないであらうと云はれてゐたがまさか第一日目から出來ないとは一寸意外だ▲せつかく上場させることになつたのであるから三等大豆の轍を踏まない樣にしたいものだが▲現物大豆は油坊二十車、日清、瓜谷、建成、恒昇、丁新昌、興記、文盛裕で百車、豆粕は建成、興茂東、瓜谷、丸一で合計二萬三千枚、豆油は三井、三菱で合計五千五百箱の手合はせ▲本日の油坊生產高は九千枚、操業工場は五軒▲明二日取引人組合では普通大豆取引について委員會を開催するそうだ▲今日から三十一日迄後場定例休會。

銀
今朝海外材料としては倫敦銀塊は十六分の一高、紐育は八分の一高、孟買は十六分の五を入れ、爲替は日米八分の一高米日十六分の一高で材料區々であつたが地場鈔票は爲替の人氣よき爲め四十錢方の低落を示した▲上海情報によれば昨後場は孟買銀塊高に市況呆槍なりしも路透通信にて大阪日米高を入れし爲マバ叉買進み漸騰新高値に躍進せるが▲仕手瀨商內薄に標金高値氣迷ひ引け▲尙ほ金高材料見越し乍ら仕手は月末決濟後賣持ち下げ贊成の折柄標金は此邊尙は高値大幅保合模樣と

株
整理問題も愈よ積極整理に着手し昨日の重役會で原田理事長の給與を半減し平重役を無報酬にしたのは大出來と云ひ度いが當然過ぎる程當然▲それは兎も角、矢野營業主任以下十數名が整理の犧牲になつたとは不況の際、大いに同情に價する▲しかしこれは當然來るべき運命にあつて寧ろ遲過ぎる憾がある▲ともかく整理がつき活かすも殺すも共にそ丶ういふので理事長に聽涙をふるつて五品整理のエピソードとも云はうか驚くべき折衝に驅けつけ買連中の増田君も血祭に擧げられやうとしたが之を知つた仲買連中は名蹟的の同君をやめさせては市場の整理がつかぬといふので理事長に懇請してやうやく首を繼いだと云ふが何を言つても實力の世の中だ內地株は金解禁を控えて低迷し五品も愈よ整理時代に入り茲當分は閑古鳥が鳴くことだらう

開原信託改稱
近く總會に附議

【開原發】開原交易信託會社は近く臨時株主總會を開催し定款變更並に社名を開原交易會社と變更する由なるが右は定款第三條第一項中「信託業」及び同條第二項中「相互證券信託會社の現物取引精算事務取扱」を廢し專ら商事會社として雄飛する爲めなりと

手形交換高(一日)
金　一、一〇九枚
銀　一〇三枚

上海爲替情報
材料小高なりし爲寄身氣迷ひの處日米高を入れ大連筋信享等よく買ひ三井三菱圓八月八十兩八分の五で約三十萬買ひ漸騰し高値旣に永福昌少し賣りヨセフ(外商)圓利約二百萬利喰賣ありし爲引け際下押した

上海標金
寄付　三九四兩四
高値　三九六兩三
安値　三九四兩三
止値　三九五兩〇

爲替相場(一日正午)
正金(銀勘定)
日本向參着賣(銀百)
同十五日賣(同)
同九十日拂賣(同)
正金(金勘定)
倫敦向電信賣(銀)
上海向參着賣(銀百)
二ヶ月賣(同)
米國向電信賣(百圓)
信用付二ヶ月賣(同)
鮮銀(金勘定)
倫敦向電信賣(百圓)
同二ケ月賣(同)
紐育向電信賣(金百)
上海向電信賣(金百)
同(銀百)
日本向電信賣(銀百)
同十五日拂賣(同)

大阪株式
東京株式
大阪期米
東京期米
大阪綿糸
大阪棉花
横濱生糸
印度麻袋
神戶豆粕

平安異香 (67)

葉多默太郎作 中一彌畫

戀情地獄 (三)

「何時見ても大きいねこの門は、赤くて靑くて――さう〳〵、何時か龍宮の門みたいだと、思つたことがあつたつけ」

東山の勸修寺邸の外門を見上げて立つてゐる女は、それは珍しくもおつねだつた。下男の彌陀六をうまく手玉にとつて兵庫福原の勸修寺別邸を脫走し、枚方の五位の宿で誰かに間違へられて、帳包みにされて二階から轉がされ、淀川に落ちて危ふく土左衛門ならぬ土左姬にならうとしたところを若い學生に助けられたのはよいが、持病の浮氣が起つてやんわりと持掛けたのが間違ひで、山崎のあたりで荷揚をされてしまつて口惜しがつた御轉婆佳人のおつね――と云へば讀者にも馴染の女。

人の運命ほど判らないものはない、その時愛人の姿を胸に抱いて船を急がせてゐた學生が、僅か二旬に足らぬ間に運命の急變轉にあひ、今清盛の土地獄と稱せられた死の門に向つて急いでゐる宮部春光なのだが、おつねはもとより夢にも知らない。假令知つたとて、行摺り一寸振向いて見た男に過ぎぬ春光だ。

「惜いことをしたわ。いゝ男を」

世の中から美男が一人無くなつた事を、心の隅で瞬間淋しく思ふ位が關の山であらう。

そして、春光は春光、おつねはおつね、各々自分の運命の道を急いでゐるのではあるが、運命の道といふものが、並行線ときまつたものでない以上、何時何處で、二つの道が肩を並べるほどに近くなり、或は互に交錯して、世界つてものは案外狹いものだなアと、今更のやうに瞠目させる事がないとは斷言出來ぬ。そして、人生といふ一枚の織物が出來上るわけではあらうが、一本一本の織糸自身は一寸先の運命を知らない、それが人の世のはかなさであると同時に面白味だといふ――。

さて勸修寺邸の門前に立つたおつねだが、見たところ、何處でどう才覺したものか、きちんとした[illegible]の風俗になつてゐる。小袖の端ねに紅梅を散らせた被衣など被込んで、しをらしい所を見せてゐる。

それが、丹塗りの門を見上げて何か才覺をめぐらせてゐるらしく下唇を輕く嚙んでゐたが、

「おほびらに名乘つて行ける身體でなし。門番を誤魔化すにしてもどう云つて門を開けさせたものか――自烈體ね。鞍馬の天狗の弟子にでもなつておけばよかつた。こんな塀ぐらゐ……」

チッと舌打した時に馬の蹄の遠響き――夫が近くなつて來るので振返ると狩衣に馬乘袴の身輕らしい武士が一騎、辻の芽生柳の下に現はれて、そこから、ゆつくりした歩調になつて近づいて來る。

おつねは、路傍の池に佇んで、ポン〳〵と手を打つて鯉を呼ぶ。呼ながら被衣の蔭から窺ふと騎馬の武士――年は三十二三の男盛りだが、取りつく島もないやうな冷たい顔で、眼がいやにきつく此方をチラと瞥たまゝ行過ぎて門に立ち、馴れた訪問者らしく、すぐと小窓へ寄つて行つて聲をかけたが、胴の入つたいゝ聲だつた。

「お頼み申す。お頼み申す。使廳の判官小串九郎範行配下の捕吏、黑住彌八郎御召しによつて參上。御家人足海三左衛門殿のお召しかのやうに伺つてゐる」

「少時おひかへ――」

小窓が開いてカタリと閉ると、間もなくギーイ、鐵のやうな重さを思はせて一枚板の大扉が口を開ける。と、

「御免を蒙る」

馬のまゝ門を潜つて、そこで馬番に馬を渡して徒歩になる。

その背で、門が再びギーイと、地獄の門のやうな軋りを聞かせて閉まりかけた時に、

「あゝ危ない!」

門番が狼狽して引腰に扉にしがみついた。

「なんでことだ、馬鹿奴!そんな所に立ちやがつて――この扉に挾まれてみろ」

閉てきりの方の扉に寄りかゝつて、おつねがにつこり笑つてゐるのだつた。

戻橋上映準備 近く試寫する

マキノ大連出張所にては既報の如く去る三十日入港のはるびん丸でマキノの國產トーキー「戻橋」及びその發聲映寫機を取寄せ同夜より演藝館の閉館後アーバン映寫機に裝置してサウンドのテストを行ひつゝあるが、近く協和會館に於て映畫關係者を招いて試寫會を催し協和會館に於て封切し引續き演藝館に上映の筈であると

牧野省三氏の事業と功績 (下)

◇

マキノ氏は常に何か考へてゐなければゐられない人であつた。松之助を賣出すには忍術を用ゐた、東亞やマキノにあつては劍戟を創始した「寄らば斬るぞ、虎徹が斬るぞ!」を今日の如くならしめたのは全くマキノ氏の力である。がマキノの劍戟には、思想的に、忠君愛國といふものが盛られてゐた

◇

最近は、歌舞伎劇の映畫化について苦心してゐた。トーキーについても非常に辛苦し先頃「戻り橋」を發表して國產トーキーの第一聲を放つたが、氏は病床にあつてもこの改良を忘れず、今回の病氣は、トーキーに關する苦心が大いに與つてゐるといふ說である。

◇

先年伊井蓉峰の大石で「忠臣藏」の大作を撮影した折から病氣であつたが、この「忠臣藏」燒失の不幸後病氣は捗々しく治癒せず、自ら監督したものは少く、多くは息正博君やその後の監督を指導してゐた、マキノ映畫の改善進歩につとめてゐた、氏は蒙古襲來と目蓮とを結びつけた「國難」を撮影すべく病中の材料を蒐集してゐたのに、この事を遂げなかつたのが、一つの心殘りであつたらうと思ふ。

◇

門下には阪東妻三郎、月形龍之介、市川右太衛門、片岡千惠藏、嵐寬壽郎その他のスターがあり現在撮影所には澤村國太郎、南光明、谷崎十郎その他多數あり、俳優養成には天禀の手腕があつた。

◇

今後の撮影所は正博君が監督として、滿男君が總務として二人力を併せて亡父の遺業を守つて見せると、遺骸の前で誓つたといふから、益々名聲が揚らうし、營業は[illegible]未亡人の采配で從前通りや[illegible]ノの遺業はこれで完全に繼がれるであら[illegible]

映畫界東西

ユナイト社とメトロ社の作品は秋のシーズンから日本メトロ映畫が配給することに變更された。

◇

松竹蒲田撮影所で若手俳優が野球團を組織した、部長は鈴木傳明監督は押本映治、主將は若林廣雄

◇

日活の「東京行進曲」の興行成績から蒲田でも「陽氣な唄」のレコードを東京大阪六百軒のカフエーに寄贈した。

蜂ブドー酒
疲勞より元氣へ……
倦怠より緊張へ……
病弱より健康へ……
血を増し肉を肥す食前の一杯!

滿洲日報

歐洲聯邦の議

佛新首相ブリアン氏が前内閣の外相時代に提唱したヨーロッパ聯邦組織の議は、理論としても主張としても、必ずしも斬新とは言へない。即ち理論としては有名なる評論の評論創立者たるステッド氏が、大戰爭以前、これを論議したことがあり、戰爭以後に在つても、夙にオーストリアの某青年教授は、ヨーロッパ各國人間の關税戰爭を憂慮して、經濟的見地からヨーロッパ聯邦の議を提唱したことがある。更に又、この種の議論に對して英本國および各自治領間の關係を打つて一丸となし、斯くて經濟的又は生産的に能率の増進を擧ぐべくを主張した者に、當時のモンド氏、今のメルチエット卿がある。

◇

然し少くともヨーロッパ聯邦の議に關する限りにおいて、大戰爭後の形勢が果してこれを實現せしむべく有利であるか否かを考察する時、何人もその判定に躊躇なきを得ない。國際關係が戰爭以後に至りて、著るしく改善せられ、殊にその平和思想の隆興を見たことは、疑ふべからざる事實であると共に、一面に在つて國民思想の緊張を見つゝあることは、著大なる事實であるからである。啻に國民思想の緊張を見つゝあるのみならず、別に宗教的情熱が果して所謂經濟的關係のために、幾何程度まで抑制せらるゝかも亦、疑問であるからである。

◇

ロシアの赤化宣傳が、その第一手段として先づ各國民の國民的自覺を刺戟し、外來の資本主義又は帝國主義の排擊を爲さしむることを以て、常習と倣して居ることは曾て本欄に記述した通りである。而してこれが爲めに、折角の赤化宣傳が却て自家撞着、破滅の導火となりつゝある傾向に就いて、最近北滿におけるロシア側の大敗退に徴しても、容易に看取せらるゝところである。即ちロシアは支那における資本主義又は帝國主義を排斥せしむる手段として、先づ支那大民の國民的意識を刺戟した結果、われから北滿における地位を覆へさるゝに至つたものと解しても、恐らく不當ではないであらう。

◇

然し國民思想を刺戟した原因は單にロシヤの赤化手段のみではない。例へばウイルソン氏の提唱に係る民族自決主義の如きは、正しくその原因とも動機とも爲つたものと解せなければならぬ。現に戰爭以後、再興若しくは新興せられたる中部ヨーロッパの諸小國、バルカン諸邦において、常に政治的の穩然顯然たる大勢力と爲りつゝあるものは、悉く國民思想又は國民的感情であることを知る者は、この間の事情を解するに苦しまぬ筈である。更に宗教的情熱の如何に旺盛で、且つ抑制し難いかを知る爲めには、インドにおける騷擾アフガンにおける内亂等、等、これ亦その例證をあぐるに苦しまぬに相違ない。

◇

これ等の國民性乃至信仰は、假りに現在ヨーロッパにおける國際的經濟關係を以てしても、固より その制抑、根絶を期すべからざる勢力であつて、所謂ヨーロッパ聯邦組織が直ちにヨーロッパ帝國を組織すると全くその趣きを異にするとは言へ、到底これが實現に就いて、有利なる存在と見ることは出來ない。要するにブリアン氏の提唱の如きこれを幾たびか先人に依つて主張せられたる理想の練習たるを免れない。

懸賞論文　滿蒙の地より　母國の友へ送るの書

當選作　金丸精哉

（二）

開闢此處に三千年。母國は極度に疲弊して了つた。八千萬の赤子達はその乳房に蝟集して泣き喚いても、もはや吸ふべき乳の一滴だに殘つてゐないのだ。限りある國土に限りなき人口の増加。

これが日本の前途に投げかけられた忌まはしい暗翳である。年々七八十萬づゝ殖えてゆく人口は、二十年を出でずして優に一億の日本民族を形成せんとしてゐる。亡び行く民族に比べて何と欣ぶべき現象であらうか。

然し「國家繁榮の最も確實な證左は、その住民數なり」といふ眞理も其住民に衣食足つてのみ成立するものであり、これを容れるべき土地と、これを養ふべき資源が件はなければ、徒らに生活程度を低下せしめて國民を塗炭の苦みに陥れるものであらう。

こうして慶賀すべき人々の増殖も、土地と資源に缺乏した日本には、却つて禍ひとなつて我國民は今や職々たる生活難、就職難の社會苦の路頭に迷ひ、その行く手には幾多の恐るべき暗礁が伏在してゐる。

此の混沌とした世相に、ある者は誇るべき國體の尊嚴を無視して社會を根柢から覆へさうとする危險思想を抱懷し、また或る者は民族興隆の萌芽を摘除するやうな産兒制限論まで唱導しだした。

だが僕は思ふ。千八百七十年を以て支那の人口が飽和點に達したやうに、凡そ人口増加の趨勢は何時かその飽滿點に達するであらうその時になつて人口増加の必要を叫んでも及ばないのだ。我々は與へられた勃興の機運を阻止してはならない。一片のパンを爭ふ前に、如何にして二片のパンを造るべきかが問題なのだ。

實際、日本存亡の死命を制するものは豐饒な資源と、廣大な土地とである。

哀れな日本人達は、貰ひ乳でもするやうに、遙々南洋へ、北米へと各々資源をめざして海を渡つた

そして彼等は、彼等の皮膚が黄色いといふ理由で入國を拒絶され或は國家的矜持も沒却して屈辱的な忍從の生活に沈淪しなければならなかつた。

而して現今では、ブラジルでなくては「海外雄飛」でない樣な風潮を現出してゐる。

彼等は一攫千金の夢を、桃太郎のやうな功名心に胸躍らして夫々南米をさして出かけて行く。

だが、この狀態が果して何時まで持續されるであらうか。

偶然な機會から必要以上に尨大な領土を獲得した國々も、近い將來に於て必ずや異民族の前に門戸を閉ざすであらう。

そうして、日本の渡航者達は、遂に世界の堂々めぐりに絶望を感ずる時が來るにきまつてゐる。

母を求めて泣き叫ぶ子が、泣き止んだ時、はじめて優しい母の呼び聲が耳に入るやうに、その時になつて、彼等は彼等の先驅が二度までも國運を賭し、幾多流血の犧牲を捧げて戰ひ守つた……等の求めてやまない……靜かに彼等の眼前に……たことに氣づくだら……

然し、時態は最早……つて居れないほど……

◇

「滿蒙は日本の肥料……

今は亡い元帥天……王永江は云つた。

實に祖國の衰滅に……これに寄生する青白……刺たる生氣を注入す……を措いて他にあるま……

汒々として涯しな……鬱蒼として天を摩す……諸土の地底を織なす無盡の鑛脈。

それ等の總てが我等の手によつて開發される時、現在日本の憂患は一掃され、鬱血した禍根は痛快に剔抉されるのだ。

露國の要求に　支那は讓歩
對策を授り蔡交涉員　滿洲里に急派さる

【哈爾賓】支那側は當地において露支會議開催を計るため蔡哈爾賓交涉員を奉天に召致し交渉對策を授け二十九日直にメリニコフ勞農總領事と會見のため滿洲里に急派したが、露國側が飽くまで最初の聲明を嚴守し會議開催の

前提と　して東支鐵道の露支兩國勢力を原狀に復歸せしめることを要求しつゝあるに對し、支那側が何處までその要求に讓歩するかは會議成否の運命に關する重大なことであるのでその内容は今のところ窺知し難いが一般に尠からず注目されてゐる、即ち最初支那側で東支鐵道を事件後の現狀のまゝに置き兎も角會議を開いた上で問題を解決したいといふ肚であつたが、その後四圍の狀勢は支那側に頗る不利で若しこの際露國側の要求に幾分でも讓歩を示さない以上露國側の態度が甚だ强硬で會議成立の希望は勿論各國の同情をも失ふ恐れがあるので、過般長春における張作相及びメリニコフ

兩氏の　會見においても表面自國側の體面を損せざる形式において露國側の條件に對し讓歩の意思あるとを仄かし、その具體的の交渉は更らに奉天當局の命を奉じて行ふことを約して別れたもの ゝ如く、蔡交渉員は二十五日午後六時三十分メリニコフ氏の西行を見送り即夜南下張學良氏と會見し長春會議の模樣を報告するとゝもに會議交渉の對策につき教示を受けて二十九日歸哈、直に專用車を用意してメリニコフ總領事と會見交渉のため滿洲里に急行したものであるといはれてゐる

露支會議
八月上旬か

【哈爾賓】東支問題解決のため露國側に任命されたセリブリヤコフ氏は目下齊多に滯在中である、滿……

露支問題に對する　歐米各國新聞の論調

露支紛爭問題に對する歐米各國の新聞論調左の如し

▲英國　タイムスは十六日の社説に於て

露支開戰の場合日本は自己の利益を擁護する爲めに直ちに必要なる措置を双方に對して執ることゝなるであらう、而して支那側の頻々たる條約違反と露國の赤化宣傳は孰れも日本の同情を得ないであらう、又一方滿洲に於ける露國軍國主義的實現は英露國交恢復に對し最も惡い宣傳となるのである

マンチエスター、ガーデアン日本が此の事件を平和的に解決する爲め努力せんことを希望する

▲獨逸　ベルリーナ、ターゲブラット（中央黨機關紙）は十五十八の兩日に亘つて露支問題に對する國際聯盟の活動を極力慫慂しアルゲマイネ（保守黨機關紙）は十九日の社説で

兩國とも徒らに感情に走ることなく冷靜に事件の核心に局限して早く解決を謀るべきである

▲米國　十九日のワシントン各新聞は一般に露國側の態度を正當であるとする傾向が極めて顯著であつた、之と同時に不戰條約の關係もあり米國が指導的態度に出ることの望ましいことを述べ、ニユーヨーク、ヘラルド、トリビユーンは

米露間の實情に……度の事件の解決……有效なる地位に……と云ひ、十九日の……ン、ニユースは日本は當然今回……たるべき地位に……に日本が若し調……避くるならば支……るから他の聯盟……きである

と論じ、シカゴ、……戰爭開始の場合……意を外に向けて……を作る爲め大に……かも知れないが……大、裁兵の運延……

▲佛蘭西

定員不足の吉林常備軍
逃亡兵が多いため　夥しさ

私服を　肥やす爲め

支那人の財産沒收
ブ市に於て

支那軍隊引揚げ
ポクラから馬橋河へ

【哈爾賓】三十日ポクラニチナヤよりの電話によれば同地の支那兵のうち約一千名は早朝から馬橋河へ引き揚げを開始した、……

地方治安維持の通令

外蒙の自動車を沒收

日本領事館で支那人保護

支那側に復讐陰謀
露人共產黨が

省政府機關紙　吉長日報擴張

拿捕軍艦廻送

朱慶瀾氏起用

墾民教育研究會長の聲明を申渡

慈惠團體實情調査結果

鍋江亭

滿日案內

滿日地方版

奉天

七A對零で滿倶の慘敗
對關西大學第二回戰

關西大學對奉天滿倶の第二回戰は卅一日午後四時半から新公園グラウンドに於て擧行された、最初兩軍とも緊張味を加へてゐたが第三回目に關大二點を入れ滿倶之を取り返さんと努力せしも六回目に關大のヒットに續け樣に四點を入れて勝を制し、滿倶は戀々ダレて遂に最後まで點をなさず七A對零で滿倶慘敗した、閉戰六時半猶メンバーとスコア左の如し（審判高橋、嘉多球兩氏滿倶先攻）

倶	滿	得點	大	關
5743269１8	室油原水近中青田肥	000000000 0	田田井田井西木寺村	豐小坂本櫻香三小川
井谷田原藤野木村塚		一二三四五六七八九		479318652
		002000410 A 計 7		

華人慰安映畫

滿鐵社會課では左の通り第二回中國人慰安活動寫眞を映寫すると
一、日時　八日午後七時
二、場所　舊グラウンド
三、プログラム　實寫捕鯨船、漫畫インキ壺カラ、ジャポン王、出鱈目な話。華嚴の瀧、蛙は蛙、梅蘭芳觀次喜多從軍記

水泳大會
來る十一日に

奉天水泳倶樂部主催州外水泳大會は八月の酷暑の期を利用して左の如く開催すると
一、期日　八月十一日午後一時
二、場所　奉天プール
三、種目　五〇、百、二百、四百、千五百、百バック、二百ブレスト、四百リレー、ダイビング、スワロー、ジャクナイフ、バックダイル、ランニングソマ外に選擇種目四種
四、採點　一等三點、二等二點、三等一點、リレー同上
五、申込所　奉天地方事務所社會係孔頭氏宛

拳銃密輸
二名の邦人

廿九日列車内で拳銃密輸中檢擧された邦人が二名あつた、その一人は昌圖城内黑岩方無職坂本七郎（三〇）と稱し廿九日十一時四十五分奉天驛を發した第廿一號下り列車内でモーゼル拳銃四挺實包七百發を支那蒲團に包み、自分は藍色の支那長衣を着して全く支那人に化けてゐたが擧動不審な處から警乘員に發見され遂に化の皮がはげたもので今一人も昌圖城内質店中島某（二五）と稱しモーゼル拳銃三挺、實

瀋海線復舊

過般の豪雨で瀋海線南口前驛以北は通信杜絕して居たが二十九日より開通し、又卅一日第二列車から徒歩聯絡で列車の運轉を開始した

道路擴張工事

奉天附屬地から城内に通ずる大西關道路は約一ケ月間の豫定で擴張工事を開始し卅日から通行禁止となつた

青年軟球大會

奉天青年團軟球庭球大會は來る四日（第一日曜）午後一時から春日小學校コートに於て開催することになり、選手は團員のみ各分團から二組以上出場し分團對抗優勝旗爭奪戰であり各選手は目下必勝を期して猛練習中である

不心得を説諭

奉天署管内の關聯點呼は卅、卅一の兩日奉天彌生小學校に於て施行されたが、卅一日點呼の際奉天鐵道事務所工務員某は在鄕軍人の徽章を忘れてゐたので係官から注意された處、却つて係官に喰つてかゝつたので係官からその不心得を説諭されて引下つた

花卉實費販賣

紅に黄に紫に青に色とりどりに咲き亂れてゐる千代田公園植物室の花卉は公園事務所に於て左の如く愛好者に實費で提供する由
八月三日午後一時より四時まで
同四日午前九時より午後四時まで、五日午後一時より四時まで
値段は鉢附十錢から一圓まで

夏期大學期日變更

第七回滿倶夏季大學は八月四、五の兩日滿鐵社員倶樂部にて開催の筈であつたが、八月五、六の兩日午後四時と七時の二回宛開催することに變更された

松岡副總裁歸連

豫定を變更し奉天に一泊した松岡副總裁は卅一日朝撫順に赴き十三時四十分發の急行列車で歸連した

人事

▲島田鄕太郎氏　卅一日來奉
▲立川奉天署警視　卅一日夜赴旅一日歸奉の筈
▲大林撫順署長　卅日奉天往復
▲中澤書伯　卅日內地へ
▲兵庫縣御影師範生一行五十名
八月五日來奉七日撫順往復同夜大連へ
▲本社營業局長を兼務する本社奉天支社長太原要氏は卅一日十三時四十分發急行にて單身赴任した

營口

虎疫豫防注射
希望者に應ず
料金五十錢

虎疫發生の兆があるので營口醫院では念の爲從事員及其家族に對し豫防注射を行ふたが尙一般市民にして希望者あれば喜んで之に應じ注射料五十錢を要すると

畑司令官巡視
八月十一日

新任畑軍司令官は管內初巡視として當地には來月十一日十二時卅分來營、十五時二十五分發にて北行の筈なるが、當地の行動は時局の關係上領事館訪問ぐらゐのものなるべしと

精勤證書授與

營口警察署では一日午前八時から同署樓上に於て横田、本田、今村岡本の各巡査に對し精勤證書の授與式があつた

旅順スケッチ
ドック附近
河野青陶

錆ひも、光りも、色も、響も、消えうせた夕暮時、取り殘された釣人は滿潮に足を浸し乍ら動きそうな氣配もない、獨り言さへ言はない、孤獨の釣人は見るに淋しく、無愛憎すぎる、手付きの妙な支那人もゐて此の道では常習犯らしく收獲が一等多い、罐詰めのサーデイン小鰯位ひのメ　ルばかりを。

開原

清河流域の鮮農被害高
十餘個村七萬六千餘圓
作付反別の三分二全滅

清河氾濫洪水の爲め鮮農の蒙れる被害に就いては既報したが、其後當地住滿親睦會に於て慰問團を組織し開原附近十餘個村に亘り夫々當面の救濟をなし亦被害の實狀を調査中なりしが、慘害は實に甚大にして被害戸數二百三十九戸、作付總反別千百五十二天地八の內全滅又は收穫不能反別七百十五天地二、損害見積高金七萬六千餘圓に達する慘狀にて罹災民一同善後處置につき途方に暮れて居る、被害詳細左の如し
汪哆羅東　二十二戸內倒壞十四戸作付九四天地五、被害八五天地損害金一〇九四二圓尙ほ殘り九天地五も水道破壞に依り全滅
張相公屯及び石灰窯子　二十九戸作付一六三天地五、被害一三六天地五、損害金一四一九〇圓尙ほ殘りの內七天地は水道破壞の爲め全滅狀態
楡堡子及び楊木林子　十二戸、作付八九天地、被害四九天地損害金五〇九圓
郎家屯　五十三戸、作付二〇二天地、被害一〇三天地七、損害金一〇七八四圓八〇
扶餘村　十八戸內倒壞九戸、作付九一天地、被害六一天地、損害金六八一九圓
花園村　十戸、作付四二天地五、被害一五天地、損害金一六一〇圓
二道河子　十五戸、作付七四天地五、被害二七天地四、損害金二二八八圓
㭺山屯　三戸、作付一〇天地被害四天地五損害金四六八圓
後馬市堡及び魏家堡　十二戸、作付五五天地、被害二六天地七、損害金一八三七圓八〇
頭寨子　王喜豪及び附屬地十一戸作付四八天地、被害三三天地、損害金三六四〇圓
興龍村　三十二戸、作付一一二天地五、被害六九天地八、損害金九〇九七圓六〇
小九社及び孟家屯　二十二戸、作付七一天地三、被害六九天地八損害金七二五九圓二〇

被害鮮農百名
福昌公司が傭ふ

別項水害の爲め當地住滿親睦會は事業荒廢全滅に歸し其日の糧食にも窮せる鮮農の救濟につき對策講究中なるが、同會は當地福昌公司出張所に交渉し失業者中約百名は目下工事中の同公司土木人夫として被傭さるゝ事となりたる爲め一部救濟の目的を達したと

水泳大會
四日開催

水泳プールにては來る四日水泳大會を擧行し模範各種泳法及び競泳五〇米、一六米、ブイ競泳、數字合せ、一〇〇米、潜行、二〇〇米二人連泳、女子三三米、リレー、西瓜探り、應用泳法、寶探し、飛込等の各種競技を行ふ由、因に本年は昨今炎暑の爲め會員激增し昨年に比し八十名多く現在會員三百八十六名なりと

花卉盆栽分讓

滿鐵公園係にては西公園溫室に於て三十一日より八月二日まで同所栽培の花卉盆栽を希望者に分讓しつゝあり

動物園行脚

人懷しさうな、そして細い眼をしてキヨトンと覗つめるのが穴熊君である。
◇
別にこれと云ふ藝能はないが、地を掘るために鋭い爪を持つてゐることゝ、其の穴掘りがイカニモ早いことである。
◇
地の下に棲んでゐる動物だけにこの頃の暑さでは外に出ることを好まない
◇
生れて間も無い赤ちゃんの時から補乳で養はれて立派に生長して來た、だから星主任を親のやうに慕ふも可愛いらしい
◇
逹れは瓦房店で昭和三年、地方事務所の永井租平氏から寄贈されて來たものである

鞍山

盛況を極めた市民大會
製鋼所建設問題を論議

市民熱狂裡に迎へられた實業協會主催の製鋼所建設問題の市民大會は豫報の如く三十一日午後七時から實業會堂に於て開催された、鞍山の存亡に關し延いては滿蒙開發の上に一大支障を來たす重大問題であると言ふので市民は定刻前より續々と押掛けさしもに廣き會堂も約五百名の聽衆を以て埋められ猶場外に溢るゝの盛況裡に司會者植田繁造氏に依つて開會を宣せられ、阪元藤三郎氏の經過報告、大谷彦三郎議氏の各地に於ける遊說狀況の報告があり、次で司會者植田繁造氏拍手裡に市民大會の決議による要望電文を讀上げ、夫より左記の諸氏交々起つて火の出る樣な熱辯を振つて聽衆に多大の感動を與へ最後に萬歲を三唱し空前の盛況裡に閉會したのは十一時であつた
一、吾等の使命　野尻彌一
一、題未定　井下萬次郎
一、製鋼所設置問題に就て　渡邊直八
一、所感　林清勝
一、曰く滿蒙問題　笠原弘
一、吾等の主張　石川義助
因に決議文は左の如く直ちに政府要路に對し打電した

決議文

滿蒙開發に對する帝國の根本國策に則り製鋼所を鞍山に設置せられん事を要望す
右決議す
鞍山市民大會

遊說員等歸る

製鋼所建設問題に關し奉天、撫順方面を遊說中の相谷彦三郎、神田藤兵衛氏は三十日夜、大連方面遊說の大惠新次郎、植田繁造の兩氏は三十一日歸鞍し實業會堂に於て報告する處があつた

金組認可さる
十二日臨時總會

鞍山の都市金融組合は三十一日附を以て認可の發令電報に接したので十二日午後一時より實業會堂に於て臨時總會を開き左の議題に就いて審議すると
一、評議員九名選擧の件
一、滿洲金融組合聯合會の設立を出願し其の許可を受けたる時は一口を出資し定款の規定に從ひ出資金の分割拂込を爲すの件

社宅配給協議會

卅一日午後一時より鞍山地方事務所に於て社宅配給の件及び敷宿料の件に就て協議する處があつた

修養團支部總會

鞍山修養團支部では三十一日午後七時から第四回支部總會を催したが團員其の他多數の來會あり頗る盛會であつた

人事

▲千秋製鐵所長　三十一日午後十五時九分發の急行で本社へ出張
▲林地方事務所長　社用を帶び一日の急行で赴連

瓦房店

得利寺に馬賊
人質二名を攫ふ
官民三百名の大搜索

得利寺驛を距る約里許郷家屯に十名餘の兇器を所持せる馬賊の一隊現はれ、同地農姜學士方に押入り人質二名を拉去し數千圓を要求せるを以て、支那官憲にては直に非常警戒を行ひ壯丁其他約三百名を繰出し大搜査をなしたるも何分高粱繁茂の爲め搜査頗る困難にて人質は奪回したるも賊の所在は尙不明である

精勤證書授與

當署勤務巡査大浦秀二、坂本榮太郎の兩氏は滿二年以上在勤し勤務勉勵事務熟達の故を以て今回精勤證書を授與された

長春

わが警官を支那兵が見縊る
二十餘名棍棒を以て
横山巡査を毆らんとす

去る三十日午後五時半頃長春北門外派出所勤務横山巡査は所用にて城內三馬路三信洋行に赴かんとした所、募兵係りの支那兵五名が發見し「あの巡査をなぐれ」と追跡し折柄通りかゝつた支那兵二十名に加擔を求め彼等は手に手に棍棒を持つて追跡したので、横山巡査は自重して手出しせず三信洋行に飛込み電話を以て本署に報告したので大塲領事館警察署主任以下かけつけたが、一方暴行兵等は折よく通り合せた第一區長某に取鎭められ引上げた後であつた

覺悟の心中か
鮮人夫婦劇藥を呑む

長春富士町一丁目居住朝鮮人趙根（三七）及び同人妻林承玉（三七）は三十一日午前一時頃自宅に於てアトロピン多量を嚥下し苦悶しつゝあるを午前三時頃家人が發見し同仁醫院にかつぎ込み應急手當を受けたが趙は目下入院中なるも今尙昏睡狀態を續けてゐる、林は生命に別狀なしと、右兩人は相當裕福にて長女を長春高女に在學させてゐる程で表面は糧仲買業と稱してゐるが、實は阿片の密賣を爲してゐるらしく又家庭にも種々入り込んだ事情があるらしいので覺悟の心中だらうと見られてゐる

集配人儲損ふ

長春驛勤務　道山一祉
奉天鐵道事務所に
寬城子支那郵便局集配人朱德霖（三）は長春附屬地から寬城子に赴く

長春商議改造

長春商議改造の實行委員は着々準備を重ね會員の募集も一段落ついたので八月一日最後の委員會を開催し八月上旬に總會開催の運びとならうと

長春驛員異動

滿鐵鐵道部の人事異動で長春驛にも左の通り異動があつた、何れも近日中に赴任の筈である
長春機關區長　片瀨晋
奉天鐵道事務所勤務に
鐵嶺機關區長　岩永唯一
長春機關區長に
長春列車區長　興津哲太郎
大石橋列車區長　稻川利一
長春列車區長に

京城

水稻植付良好
南鮮は旱魃か

本年度水稻植付は全鮮に亘り好良に終始し早くも豐作を謳歌されつゝあるが、忠淸南、北道並に全羅北道（大邱裡里間）方面には植付後の水不足のため旱魃を憂念され茲十日間に降雨を見ない場合は枯死する場所も生ずると憂慮されてゐる

飛行機模型
朝博子供國に

珍しいものづくめで坊ッちゃん孃ちゃんの御機嫌をとり結ばうといふ呼物の朝鮮博の「子供の國」にまた一ツお景物が增えた、京城航空研究所の手になる模型飛行機である、模型といつても實物と同型だから素晴らしい、プロペラーの廻轉につれて機體が震動すると、外面では寫眞フイルムが逆走する――つまり地上滑走の氣分を如實に味はふといふ趣向で淺草あたりのメリー、ゴー、ラウンドのことを考へると、親父さんや阿母さんにも歡迎されさうな危險性がある

朝鮮銀行の招待

朝鮮銀行では今秋の朝鮮博覽會を機會に東京並に各地の株式現物團及び殖產關係の有力者を招待、朝鮮事情を紹介する計畫を進めつゝあるが、近く具體的に招待方法を決定すると

（前號の續き）……モルヒネ二百グラムを持參してゐること和泉町派出所の警官に觀破されその場から引致された、同人は一ロシア人から頼まれたと言つてゐる

内地遠征便り（三）
滿洲教專陸上部主將　柏木實丸

第二信（中）

四百米　教專六、高師四
（1）柏木（教）五十二秒六（2）山本（高）差二米（3）中西（教）差二十米（4）前原（高）
山本、柏木の一騎打に兩軍固唾をのむ、インコースより一コース、山本、二コース中西、三コース前原、四コース柏木、一回フライイング、二回目に出る。柏木前半を少し落し過ぎ、高師山本インコースからロングストライドにて猛烈に柏木を追いかけ、最後のコーナを出る頃兩者全く並行してバックストレッチに入る。山本の實力を知る高師の應援團熱狂して喜ぶ。三百米まで兩者猛烈に接戰し、三百を過ぎて柏木今迄たくはへてゐた力を一時に出して猛烈にスパートして山本を拔き二米の差で勝つ。高師は始め前原をして柏木の歩調を亂さんとしたが前原用心し過ぎて中西の良いペースメーカーとなりて最後のコーナを出る頃中西に拔かれて四着となる。合計點は教專三四、五、高師二四、五となり教專の優勝は大體確定的になつた

走巾跳　教專七、高師三
（1）宮田（教）六米一九（2）渡邊（教）（3）岩田（高）（4）皆川（高）
教專は宮田、渡邊を擁して壓倒的に勝敗の結を決せんとすれば高師は岩田、皆川をたてゝ一、二を得て大勢を挽回せんとして四百米と同樣大接戰を演じた結果は專教一、二を得て大勢を決した。然し乍ら大接戰にて二等以下の差は僅かに〇、〇五米宛であつた。兩軍共に餘り固くなり過ぎたのと、助走路、踏切板共に惡く、レコードは惡かつた

撫順

切山主事の暴言問題を紛糾さす
「市中側が酒と女を罷むれば品種と時間制限を爲す」

既報、消費組合の飲食部設置問題は切山主事の非常識な言動から問題は益々紛糾してゐるが消費組合飲食部の品種時間制限の交換條件として三十一日切山主事は警察に出頭して曰く「市中側四十數件の飲食店が悉く酒を販賣することを禁止すると共に女給を置く事をやめれば組合側も品種と時間を制限しよう」と放言してゐるたに對し大林署長、熊谷保安主任ともにその時代の實際と相容れざるたわ言にはあきれ返つてゐた、尙有力なる某地方委員は語る

今の世で　大連、奉天始め各沿線の飲食店で酒を供給せぬ所や一人二人の女給を置かぬ飲食店が果してあるか、女給の風紀其他の取締りには警察がひかへてゐる、社員の品行是正の見地から女給と酒を禁止せんとするなら飲食店より多くの酒を賣り藝酌婦のゐる山陽樓以下數十軒の料理店の存在をどうする要するに彼切山某は酒と女給云々は彼等の計畫遂行の一方便として不可能な交換條件を持出して

だゝつ子　のやうな兒戲に類する言をなすものである尙本件に關して心あるものは悉く消費組合切山某の橫暴を憤慨しゐる今日、弱いものいじめの組合計畫を完全に果して市內多數商人の生活の根柢を脅して迄消費組合が大々的に飲食店を開業する必要は毫もなからう

若しやるなら當初の聲明の如く品種、時間を適當に制限して非營利的にやるべきが妥當であらう

オモチヤ

類等を賣りつゝ且つ消費組合の株主中にすら同組合內に日常生活必需品以外のものあるに對しても社員の俸給より月末の差引額を多からしめつゝある現狀に鑑み是を廢止されん事を希望しつゝある折柄、大連でも滅多にない和洋百餘種の料理部を消費組合內に新設されてはおそらく給料袋は從來より以上輕くなるだらうとこぼしてゐる、因に市內飲食店加藤組合長、山本、田代氏その他數名は一日相携へて山西炭礦長中野庶務課長等を訪ひ市中側の苦るしき立場に對して諒解を求め、一方大林署長、熊谷保安主任に對して最も同情ある裁決を請ふ處があつた

丸裸にさる
辻强盜現れ

二十九日午後八時頃新屋橋北方五十米突の地點で製油工場よりの歸宅を急いでゐた中國人が拳銃所持の三人組辻强盜に襲はれ丸はだかにされた、犯人不明

旅順

近代式海水浴場玉の浦開場さる
黃金臺に優るとも劣らず

旅順郊外の景勝地玉の浦に海水浴場設備が完備した――藤原民政署長の計畫に係る玉の浦海水浴場施設は既報の通り數日前から其設備に取掛つて居たが、工事を急いで二十七日中に設備全部完成し、猶て亦涉中の

交通連絡　も滿電側の好意に依り時に乘合バス一臺を專用車に運轉する事となり二十八日から運轉を開始した、四間に六間の脫衣場は赤の屋根、玉子色の腰板等鮮かな近代式海水浴場設備を整へて、新しく開店した賣店と共に瀟洒たる風情である、開店當日は、大連からドライブしたらしい幾組かを交へて約七十人の浴客があり當局も此調子なら繁昌疑ひ無しと喜んで居る、白砂、青松、碧波と綠樹と兼備した黃金臺に比べて翠綠に乏しい憾みはあるが、廳にやはらかな感觸で踏む

玉砂利の　清々さ、百米突沖へ出て、やつと十五尺と云ふ遠淺の水深、さては勇ましい擲躍と共に鰯に躍る鮮魚の潑剌さ等に、海水浴場としては黃金臺に比べて幾多優越した條件を具備して居る殊に旅順から十數分、大連から約三十分一路坦々たる旅大道路に自動車を驅つて奔馳する壯快味を味はつて、一浴びの涼しさに透き通る海底にしらじらと敷詰められた白砂を數へる事が出來る、因に滿電自動車の賃金は片道大人二十錢子供半額で

月曜祭日　は午前十一時半から一時間置きに乃木町停留所から發車する、平常日は午後一時から同じく一時間置き運轉である

惡德紹介業者嚴罰さる

薄幸な浮川竹の苦界に呻吟する弱い女の膏血を吸ふ非人道な紹介業者が嚴重に處罰された――旅順署では三十日附を以て大連署に對し福島縣生れ當時大連市西公園町九七紹介業白井健太郎（四七）に對し紹介營業取締規則違反處罰の件を通達したが、白井は山東省坊子大馬路料理店七福方に藝妓稼業中の嬬布カナエ（二七）を旅順市敦賀町五九料亭花花月へ住替させる紹介を爲し今春八百圓也で契約成立しカナメは新花月から小蔦と名乘つて稼業をする事と爲つたが、白井は花月にカナメを紹介するに當り紹介に要した自己の旅費、宿泊料其他合計金五十五圓七十錢也をカナメの身代金の內から勝手に引き去り素知らぬ顏で居たものでカナメは此外に正規の紹介料三十五圓を白井に提供して居り、向井はカナメが法規に無智なるを奇貨として規則違反の不正行爲を爲したものであるが、之等紹介者たちは常に弱い稼業の女達を欺罔し紹介人の紹介に要する費用等は當然の如く醜業者の負擔に歸して居たもので旅順署にては斯る不正紹介業者は今後假借なく處罰する方針だと

普蘭店

赤痢流行す

普蘭店市街を中心とし惡疫流行の說ありしが一家に二三名多きは五六名に達する臥床者あり、調査の結果悉く痢病にて中には血便を排出する者もあり時節柄瓜西瓜其他の果物出初めたる事とて之等に誘引せられ大流行の兆あり、一方日本人側にも赤痢患者數名を出したる事とて當局は豫防に忙殺されて居る

夏期特別警戒
當非番の別なく

夏期に際し高粱繁茂の爲め漸く强竊盜の時期となりしを以て之が特別警戒を實施して居るが、當非番の別なく張込又は巡回を續行し炎暑と戰つて居る

精勤及精練證授與

普蘭店民政署支勤務巡査小島九兵衛、佐々木得男、古賀正治、谷口治巳の四氏は勤務勉勵事務熟達の故を以て精勤證書を授與され、又巡査柴田末藏氏は劍道に精勵の結果京都武德會梨本宮總裁殿下より精練證を授與せられ之が授與式を二十九日演武場に於て擧行した

土用稽古

當地警務課員は……

安東

露天公設市場
六道溝に設置

安東縣下六道溝支那町第十八區では今般同所に野菜、穀物、薪炭類の安價販賣を目的とする露天公設市場を設置すべく計畫中で、二十七日區長夏幽堂氏は安東署及び地方事務所を訪ひその了解を得るところがあつたが、同市場設置の趣旨は右日用品の安價提供の他に目下同區では兒童教育機關が不備であるため、市場の利益の一部は之を學校新設資金として積立つると

去る二十一日より半休を利用し午後一時より牧田課長を始め課員一同火の出る樣な稽古を續けて居る

授產會出張所
新義州に新設

安東地方事務所では過般來鮮人授產事業の一として鮮婦人に對し講師を招きミシンの講習をなし引續き廣く徒弟を募り教習をなすと共にエプロン、洋服、ワイシャツ等の註文に應じ好評を博してゐたが山本社會主事は井上所長と協議の上更に近日中に新義州に出張所を設置することゝなつた模樣で、同授產會の製品は三ツ揃洋服三十圓見當、富士絹ワイシャツ二圓八十五錢より四圓五十錢程度である

畑軍司令官

關東軍司令官畑中將は巡視の爲め八月五日十六時三十五分着列車にて奉天より來安
同四時五十分より五時二十分迄安東守備隊、安東分院、安東憲兵分隊を視察同五時三十分鎭江山納骨祠參拜、同五時四十分領事館訪問同七時には安東官民を公會堂に招待同夜は安東ホテルに宿泊
六日午後六時四十五分發列車にて連山關へ赴く筈

酒類檢查好績

安東署衞生課では地方事務所衞生係と共力本月上旬より附屬地の內地人、朝鮮人、支那人各商店の酒の檢查を行つたが不良酒を販賣する店は一軒も無く頗る好成績であつた

煙草耕作取締

新義州專賣局出張所では四年度限り廢止した自家用煙草耕作の違反者及び密耕者の取締を過般來義州郡、龍川郡、龜城郡の一部を了へ百餘件の違反者を檢擧したが、現在は農家の收納期を控へてゐる爲專賣局では八月一杯に管內全部の取締を行ふ方針であると

敗退將棋　滿日家名（其三）

【飯塚氏二回勝三回目】

左香落　六段　△飯塚勘一郎
四段　▲齋藤銀次郎

持駒　齋藤氏　ナシ
【局面は前號指了迄の圖】
持駒　飯塚氏　ナシ

【盤面以下指方】△四八玉▲四二玉△三八玉▲三二玉△七六銀▲五二金△五八金▲一四歩△五五歩△四八銀▲四二銀

【對局者の感想】飯塚六段曰く七六銀を受ける方が順當でありますが敵に五六歩と攻められても戰へない事はないと思つて四八玉と早く越してみた。齋藤四段曰く上手の四八玉の時六五歩と突張つては玉の形が惡いだけに指過ぎの樣な感じがして四二玉と大事を取つた。飯塚六段曰く敵の一四歩の時一六歩と受けては常の形となります。私は先を取る意味に五六歩と變じた。

【大崎八段講評】上手敵の一四歩の時五六歩と指せしは中央を堅く指し强く位を爭はんとする意味なるも玉の懷ろを狹くし決戰に際して弱生じ無理なり。矢張一六歩と受けて機會を待つ方遙かに優れ……

コドモページ

夏の科學

このごろ雨の多いわけ
雷が鳴ると何故大粒の雨が降るか

はるみち

一郎。お父さん、此の頃はよく雨が降りますね。

父。梅雨だからさ。

一郎。梅雨つて何?

父。梅雨といふのは一年中で一番雨の多い時節をいふのだ、内地の梅雨は六月の末頃から七月の中頃までで、その頃に梅の實が黄色く熟するから梅雨といふ名がついたわけだ。

一郎。さうすると滿洲の梅雨は内地より遅いのですね。

父。さうだ、内地よりはざつと一ケ月は遅れる。滿洲の雨期は七月の中頃から八月にかけてだ。

一郎。どうして滿洲と内地とは雨期が違ふのでせうね。

父。それは低氣壓の配置によつて違ふのだ。

一郎。新聞によく低氣壓といふことが書いてありますね。低氣壓つて何ですか。

父。低氣壓か、それは先づ氣壓の話からしないと分らないね。氣壓といふことは一口に言へば空氣の重さだ。

一郎。空氣に重さがあるのですか

父。あるとも、一寸考へると空氣には重さなどはないやうに思はれるが、地球上の空氣は其の高さが大きいため想像も出來ない程の重さを持つてゐる。即ち海面上の空氣の重さは一平方糎米突毎に一千グラムもある。

一郎。隨分重いのですね。

父。ところで、此の空氣は大地から受ける太陽の反射熱で暖まると膨脹して薄くなる。薄くなれば從つて其の重さが少くなる。つまり氣壓が低くなる。それを低氣壓といふのだ。

一郎。さうすると低氣壓といふのは空氣が薄くなることなんですね。

父。さうだ。ところで薄い空氣即ち温い空氣は水蒸氣をたくさん含むことが出來るから、水蒸氣を多く含めば含むほど氣壓は低くなるわけだ。從つて低氣壓のあるところには雨が多いことになる。そして此の低氣壓が次から次と續け様に起るときがつまり雨季となるのだ。

一郎。さうすると一年中で此の頃が一番低氣壓の起り易い時なのですね。

父。さうだ、この頃は太陽が最も北の方に寄つてゐるからアジア大陸をまともに照らしてゐる。そして支那の揚子江あたりに盛に低氣壓が製造される。之が東の方に動いて此の低氣壓の通るところに雨を降らすことになる

一郎。一昨日の夜明け頃に雷がごろ〳〵鳴つたでせう。そして雷が鳴る度に雨がザツと降りましたよ。どうして雷が鳴ると雨が降るのですか。

父。うむ、いゝところに氣がついたね。それはこうだ、空氣中に含まれてゐる水蒸氣が冷るとイオンといふものが心になつて水滴となりそれが雨になるのであるが、雷が鳴るときには雲と雲とに張り切つた陰陽の電氣を放電してその結果たくさんのイオンが出來、そのイオンを中心として澤山な水滴が出來るから大粒の雨がサツと降つて來るのだね。

四小學校が仲よく軒をならべた 夏家河子の海濱聚落

×

忙しいのと暑いのとで水泳場めぐりを怠けてゐる中にいつのまにか水泳がおしまひになつてその代りに海濱聚落が始まつて居る。今年はまだ夏家河子方面を見てゐないので一寸のぞいて見やうと十二時四十分發の汽車に間に合ふやうにヒヨツコリ飛び出したのが選りに選つた暑い日、車を飛ばして大連驛に來て見ると手に手にアゲビ籠を持つたお母さん達や砂遊びの七ツ道具を持つた子供達で一ぱいだ汽車が夏家河子の海岸に着くと列車の中は大方カラツポになる。

×

驛から海岸に出ると息づまるやうな砂いきれがムツと來る。夏家河子の濱は相變らず暑い。その燒けたゞれたやうな砂の上に三四十ばかりのテントがづらりとならんで素晴らしいテント村が出來てゐる四方をすつかり垂れて中で午睡をむさぼつてゐるらしいのもあれば今お晝の御飯が濟んで御飯つぶの一ぱいこぼれた飯臺の上をお母さんらしい人があとかたづけをしてゐるのもある。さうかと思ふと中學生らしいのが四五人ビール箱を取り圍んで其の上でしきりに麻雀をやつて居るものもあれば籐椅子にもたれて讀書に耽つてゐるお孃さんもある。すべてが夏家河子らしい情景だ。

×

此のテント村の向ふに八棟のバラツクが二列にならんで屋上には大廣場、松林などといふ旗が海風に高く飜つて居る。こゝが大廣場、松林、日本橋、常盤四小學校の聚落場なのである。

×

先づ取りつきにある大廣場校のバラツクをのぞくと聚落兒は今午睡の眞最中、申し合せがしてあると見えて他の學校のバラツクも極めて靜かだ。海風の吹通して居るバラツクの中での午睡、それは見るからに心地よささうである。だがよく見ると眠つてゐる者は一人もゐない。毛布からニユツと出た顏に二つの眼玉がキヨロ〳〵動く、「早くベルが鳴ればいゝな」皆が皆さう思つてゐるらしい顏つきだ

×

その中に午睡終りのベルが鳴る、今まで靜まり返つて居た河童共はバネ仕掛けのやうにはね起きてキヤツキヤツ騒ぎながら海に入る仕度を急ぐ、それと同時にどのバラツクも急に騷がしくなり、ひつそりしてゐた海岸にしきりに奇聲が起る。潮のひいたあとの廣々とした砂濱で體操が始まる。かけつこが始まり鬪獺が始まる。砂遊びが始まる。海の中では鬼ごつこが始まる。水泳ぎが始まる、魚釣りが始まる、綱引が始まる。海が賑やかになる時はバラツクの中はあべこべに靜かだ。着物や履物が雜然と脱ぎ捨てられた中に看護婦さんがポツネンと獨り取り殘されてゐる。

「この海岸では殆ど怪我をするものがありませんから仕事がありませんよ」とばかりまことに手持ちぶさたなので看護婦さんは飴湯を注いだり、お菓子くばりのお手傳ひなどをしてゐる。それでも大廣場校の看護婦さんは毎日歸りがけにトラホーム兒童の洗眼をするので中々いそがしい。

×

渚に立つて樂しさうに波とたわむれてゐる子供達をうらやましさうに見てゐると、日本橋の倉井校長が海から上つて來た。

「どうですはいりませんか」黑光りした額に午下りの强い太陽がキラリと光る。

「代はる〴〵子供をバラツクに泊めることにしてゐますが、皆んな喜んで居ますよ。今日は三年が泊ることになつてゐます。夕方の海岸の景色は實に雄大ですよこれまでミレーの晩鐘の繪などを見ても大した感じも起りませんでしたがこゝに來て、眞赤に燒けた太陽が海の彼方に沒してゆく夕方の光景を見て以來自然の雄大さをつく〴〵感じましたよ。この波打ち際に二三人の子供が立つて落日を浴びたその子供達の影が長く砂の上に映つた有樣などは何とも言はれませんね」倉井校長は如何にも感慨深さうにそんなことを話してゐた。

×

聚落の子供達は十五時半夏家河子發の臨時列車ですつかり疲れ切つた身體を家路へと運ばれてゆく。

寫眞説明 (左上)松林校生のざこすくひ(右上)常盤校生のかにほり(左下)松林校生のあみひき(右下)大廣場校のかんごふさんがトラホーム兒童の洗眼をしてゐるところ

ハリー ニドメノ 大チヤンノタンケン (78)

ハルミチ作 ジラウ畫

ヨハ スツカリ アケハナレテヰタ。アレクルツテヰタ ウミモ ワスレタヤウニ シヅカニナツテ ウミノ オキノハウニハ アンシヤウニ ノリアゲタ フネガ メチヤメチヤニ コハレテ ノコツテヰタ。

カイゾクドモハ ミンナ オボレテ シンデシマツタトミエテ ヒトノ カゲモ ナイ オヂサンハ ソレカラ コノシマニ スムコトニ ナツタガ ドウモフジユウナノデ アルヒ ボートニ ノツテ ウミニデタ。

カイゾクセンノ トコロマデイツテミルト マダ イロイロノ ドウグガ ノコツテヰタカラ ソレヲ ミンナ ボートニツンデ モツテキタ。コノテツパウモ ソノ トキニ モツテキタノダ。

笑話 先生の頓智

三吉と次郎はいつも教室で居眠りばかりしてゐました。先生は此の二人に困り果てゝ居りましたが、あるとき一計を案じ先づ三吉を別室に呼びました。

「三吉さん、あなたは授業中次郎さんの居眠りしてゐるのに氣のついたことがありますか」

「度々あります」

「では此の次から次郎さんの側に座つて次郎さんが居眠りをしたら注意をしてくれませんか」

「はい、先生、承知しました」

先生は次に次郎を別室に呼びました

「次郎さん、あなたは授業中三吉さんの居眠りしてゐるのに氣のついたことがありますか」

「度々あります」

「では此の次から三吉さんの側に座つて三吉さんが居眠りをしたら注意をしてくれませんか」

「はい先生、屹度さうしませう」

それから二人は授業中に決して居眠りをしなくなりました。

談話室

◇きまり◇ 投書自由 用紙ハガキ なるべく短く

▲私はいつもコドモページを見て感心してゐる一中學生です。私の如き中學生でも本欄へ投書してもよいですか(眞金町千田清一)子供の讀物としてよいものが出來たらお送り下さい(係)▲僕は毎日夏家河子の海濱聚落に行つてインド人のやうにまつくろになつてゐます。皆さんはこの頃何をして居ますか(吉田滿夫)▲外國のめづらしい寫眞をなるべくたくさん載せて下さい(沙河口洋一)▲一郎さんとお父さんの理科のおはなしは面白いです。僕は理科がすきですからあんなのが面白いのです(桑村五郎)

また支那側巡警が我が警官に暴行す
强盗捜査に派遣したのを捕へ 天圖鐵道終點驛で

【間島特電一日發】天圖鐵道終點驛老頭溝駐在延吉公安局第二分駐所の巡警は强盗捜査のため卅日總領事館警察署から派遣された佘、朴兩巡査を捕へ警察官の證明を示すにも拘らず多數を恃んで分駐所に引立て散々暴行を加へ、朴巡査の足部に重傷を負はした後局子街の延吉公安局に押送した、急報により局子街領事分館主任田中副領事は事態を重大視し支那側の立會を求めて朴巡査の傷害診斷を行ひ嚴重なる抗議をなしたが我警察署の憤慨甚しく支那側の出やう如何では斷乎たる處置に出る模樣である

又復青島中學軍大連商業に慘敗
四十九點―廿三點で 卅一日の陸上競技

青島中學對大連商業の陸上競技は三十一日午後一時三十分より大連運動場にて擧行、雨上りのため記錄は一體に思はしくなく青島軍最後の戰ひに頑張りしも遂に及ばず四十九點對二十三點にて慘敗した閉戰四時記錄次の如し

種目	百米	二百米	四百米	八百米	千五百米	走高跳	走巾跳	三段跳	八百米リレー	計
大商得點	6	6	7	7	5	7	7	4		49
中青得點	4	4	3	0	5	3	3	1		23

百米　一着鈴木（大）十二秒二▲二着小島（青）▲三着井上（大）▲四着松原（青）
三段跳　一等工藤（大）一一米五七▲二等渡邊（青）▲三等井上（大）▲四等小島（青）
八百米　一着石田（大）二分二五秒二▲二着宮城（大）▲三着田中（青）▲四着菊池（青）
走高跳　一等鈴木工藤一米四〇十人一米四〇より始め青島二名とも落伍し零點となる
四百米　一着堀部（大）五七秒▲二着松原（青）▲三着渡邊（青）▲四着是松（大）
走巾跳　一等工藤（大）五米六一▲二等井上（大）▲三等井上▲四等世浪（青）
千五百米　一着岩佐（大）五分八秒六▲二着宮城（大）▲三着菊池（青）▲四着安永（青）
八百米リレー　一分四十二秒▲一着大連（井上、堀部、長尾鈴木）▲二着青中

芝罘ＹＭＣＡ一中に快勝す
バスケット試合

大連一中對芝罘ＹＭＣＡバスケットボール試合は三十一日午後五時三十分より工專屋外コートにて擧行、接戰を演じ芝罘軍の當り良く十七對十二にて芝罘の勝となる閉戰六時二十分、兩軍メンバー及び得點次の如し

一中		得點	芝罘		得點
吉富	RF	0	裕立	RF	2
三佐	LF	3	榮揚	LF	8
古	C	5	可祥	C	2
羽	RG	0	淳昌	RG	1
山	LG	4	文令	LG	0
村田	RF	0	張世知	RG	0
浦木	RF	0	華善	RF	4
垣田			凌炳	RF	0
田々			蘭屋		
計		12	計		17
同	前半得點	8		前半得點	10
同	後半得點	4		後半得點	7

算を議するのであるが明一九三〇年度の豫算は本年度分よりも少々増額して二千七百二十三萬金フラン程度で決定の見込みである、この内には國際法典編纂會議費も含まれてゐる

國際聯盟總會の十周年祭近づく
今秋九月二日に招集 會館定礎式も擧行する

【ジュネーヴ發】來る九月二日招集の國際聯盟第十回總會は總會十周年記念祭や聯盟會館定礎式やでこれだけでも歴史的な會合にならう、この總會の重要議題の一として軍縮及び之れに關聯の諸問題があり之れは可成りの進展を遂げる見込である、その外少數民族問題聯盟附屬無電局建設問題、常設國際司法裁判所規約改訂問題等も上程される

聯盟非常任理事國チリ、ポーランド及びルーマニアの任期滿了に伴ふ後任選擧もこの總會で擧行される、元來理事國は原則として重任を禁ぜられてゐるが全員三分の二以上の同意があれば重任も差支ない事になつてゐるのでポーランドは再選候補として立つ筈である

この總會ではまた聯盟及び國際勞働局並に國際常設司法裁判所の豫

市民水泳大會

大連市主催第三回市民水泳大會は既報の如く明四日午前十時より大連運動場内プールに於て擧行の筈

山口少將の退官御聽許
床次暗殺事件で

【東京三十一日發電】拓大教授滿川龜太郎氏より提出された所謂床次暗殺陰謀事件告發で田中前首相久原前遞相、近衞第一旅團長山口十八少將に關する件は東京地方裁判所で不起訴と決定したが、右三氏のうち山口少將はかゝる事件に引入れられた不德に責任を感じ辭表提出中のところ三十一日退官御聽許となり發令された

畑新任關東軍司令官の盛大なる歡迎會
卅一日大連ヤマトホテルで

畑新任關東軍司令官の歡迎會は卅一日午後七時大連市役所、大連民政署、商工會議所、兩公議會主催の下に大連ヤマトホテル大食堂で開催された、集まつた顔觸れは大連各方面の代表者及名士、畑氏の個人的知人と云つた人々で食事終りデザートコースに入るや石本市長は懇懃なる歡迎の辭を述べそれが終ると軍司令官の明快な「和衷共同の精神で御一緒に參り度い」と云ふ挨拶と感謝があり和氣の中に歡迎會は終つた【寫眞は會場……×印畑軍司令官】

青森縣の大火

【青森一日發電】東津輕郡蟹田村に三十一日夜大火あり燒失戶數七十七戶

貔子窩で戎克流失
金福線不通

【貔子窩特電一日發】三十日夜半の暴風雨にて貔子窩碧流河々岸に繋留してあつた戎克九隻流失した

が内三輛は本月一日發見した倒金福線路も大損傷を受けて列車不通となり目下多數の苦力を使用して復舊に努めてゐるが一日中には開通の見込がないと

模範商工業從事員表彰

大連市では產業獎勵の一助として三年前より一般商工業從事員の善導獎勵に資すべく毎年十月一日市政記念日をトし商工業從事員にして十年以上の勤續者並に衆人の模範となるべき行爲ありたる者を表彰して來たが本年も第三回表彰式を擧行する筈で既に各同業組合、聯盟等に對し夫々表彰候補者の推薦方依頼狀を發した

又復鳥號新記錄を出す

【セントルイス卅日發電】耐空飛行の記錄を破つた鳥號は本日午後七時四十分耐空四百廿時間廿分のレコードを殘して着陸を命ぜられ直ちに着陸した

滿鐵見習募集

滿鐵では今度見習十五名餘を募集することゝなつたが應募資格は大正二年十月一日以後同五年九月三十日以前生れの男子で高等小學卒業以上の學力を有する者たること志願者は八月二十五日迄に人事課へ履歴書を出し試驗は九月一日午前八時より兒玉町鐵道教習所で行ふことになつてゐる

奉天の電車内で宣傳ビラを發見
支那官憲が犯人捜査

【奉天特電一日發】三十一日午後八時頃小西邊門行電車が終點に到着した時車内に一個の風呂敷包が遺留してあつたので巡警が立會開いて見ると多數の共產黨宣傳文及びパンフレットが現はれた、右は中國共產黨帝國主義反對進行會なる團體で發行せるもので内容は露國の赤化運動に獻言せるものであるが支那官憲は捨置き難しと僞に活動を開始し同夜犯人らしきもの數名を檢擧し引續き一味の大捜査を行つてゐる

手長の運轉手遂に捕はる

四月頃より大連大山通一六賃用タクシー内に盜難被害頻々として發生するので大連署に於て犯人嚴探中、同タクシー内運轉手見習春木正次（一九）假名＝が盛んにカフエーおよび飲食店等に出入し金錢を浪費する擧動頗る不審なので三十日夜任意同行取調べたところ、四月末同タクシー運轉手西澤所有に係る寫眞機一臺時價三十圓を窃取したのを始めとして、爾來引續き同タクシー事務所室内机抽斗および同居者の財布より五圓、十圓と數回に亘り拔き取つた事を自白したので相當餘罪あるものとして取調中

常に變名して流言を放つ
褚玉璞氏の弟と稱する男を 昨日水上署で留置

その生死すら不明で、あるひは紅槍會の手によつて虐殺されたとも云ひ、また芝罘のアストラハウスに生存してゐるとも傳へらる、褚玉璞氏に關しては全然不明であるが、その褚玉璞氏の弟と稱して常に日本に渡つたり青島に赴いたり又は芝罘に身柄受取りに出掛けたりしてゐた褚玉淋と稱する男は常に我官憲に對して侮辱的な態度を執り、船舶に依る往來には變名を用ひて、しかも流言を放つて取締上幾多の支障を來さしめてゐたものであるが、一日入港の大連丸にも李玉山と變名で乘船取調べの水上署員に暴言を吐き、遂に留置處分に附せられた、倘同人が青島に行つたのは褚玉璞氏救ひ出しに關し濟南の陳調元氏に種々依頼のためであると

無情至極な姪の說諭方を願出づ
手鹽にかけたおば親娘から 卅一日大連警察へ

手鹽にかけて育て上げた姪が今は人の妾となつて贅澤三昧をやりながら此方が落ち目になつて困つて來ると手の平を返す如く豹變して少しも顧みて吳れぬと愚痴を滾しながら大連老殿町三三無職日高シツと娘キク子の兩名は三十一日午後二時半、大連署保安係に泣き込んだ、シツは姪のセキ（三〇）が幼少の時兩親を亡くし引取つて養育する者もないのに同情し自分に子供の無かつたのを幸ひ、長女として入籍し手鹽にかけて育くんだが、性來淫蕩なセキは二十歲の時弘生子房子を分娩し房子をシツの姉日高トクに養女として預け、これが養育並に分娩當時の借金返濟のため自發的に朝鮮仁川に藝妓として身を沈めたもの、その苦痛に堪へないと數回シツの實子キク子に淚の手紙を寄せ「救つて吳れ」と哀願したので、キクもその情に動かされ母シツと相談のうへ大正十三年十七歲の時大連に身賣し約七百圓を金策してセキを泥水稼業から救出してやつた、その後セキは來連の上春日町みどり溫泉に女中として住み込んだが、一昨年の春ごろから逢坂町六二貸座敷浮舟樓主大田鶴藏の妾となりその寵愛を受け、この間收入の若干を鄕里に送金するも大部分は更らに他の情夫に貢ぎ、今年三月キク子の妹キミ子が病氣のため多大の費用を要したので朝鮮當時立替た七百圓の中一部で好いから融通して吳れと補助を依頼しても頑として容れぬのみか、自分は右吹田と手を取り内地遊覽に出掛け贅澤三昧に耽り、近くは臆々縮つて來たシヅを放り出し次田と手を切つて内地に歸る等と荷物を纏めてゐるので此儘歸られたら忽ち路頭に迷つて了ふと斯くは無情なセキを呼び出して說諭して貰ひたいと泣き込んだのである

自動車と衝突
自轉車乘り

三十一日午後四時四十五分ごろ大連運動場前の電車路を伊勢町二七食料品店小寺商店店員張丕壽（二〇）が自轉車に食料雜貨を積み水源地に向つて疾走中賃用タクシー自動車＝運轉手姜石洪（二〇）＝に正面衝突、張は間一髮に逃げ負傷を免れたが、自轉車及積荷を全損し、自動車はラヂエーター及び右ヘッドライトを破損したのみで負傷者は出さなかつた

帆船の遭難

市内乃木町八番地大村紫一氏所有日本帆船は一日早朝北大山通海岸より黄白嘴燈臺看守宿舍用の木材を山積して黄白嘴に向つた所、途中で向ひ風に遭遇、浸水し救助を求めてゐるとの急報に接して水上署平安丸が急航乘組中の鮮人船員三名を救助したが船體は一先づ附近海岸に曳あげた

共產主義の證據薄弱で釋放

既報治安維持法違反として大連署で檢擧取調中であつた茨城縣東茨城郡渡里村生れ當時住所不定無職木村武雄（二〇）に對しては取敢ず勾留二十九日に處し一方東京警視廳へ照會中であつたが、共產主義者として證據薄弱なる旨返答し來たので、勾留期間滿了と同時に釋放、木村は社會館に止宿中であつたが懷中無一文となり糊口を凌くさへ困難となつた上脚氣病に罹つたので進退谷まり大連署保安係へ歸省したきに付き鄕里の嚴父へ金六十圓を送つて貰ふやう願ひ出で署の取り計らひで右六十圓の送金を得たので一日出帆のはるびん丸でいよ〳〵歸國する事になつた

土用稽古納め

水上署劍道部員の土用稽古納めは三十一日早朝より同署樓上道場において行はれたが高點試合成績左の如くそれ〴〵賞品を授與された
一等貞元助、二等吉賀國吉、三等松岡惠三

觀水會半歌仙會

觀水會では來る四日午前八時より中央公園内西園亭にて半歌仙會を開催するが、番組は
鶴龜、橋辨慶、羽衣、蟬丸、鞍馬天狗、竹生島、田村、草子洗小町、船辨慶、小袖曾我、賀茂杜若、雲雀山、小督、紅葉狩、經政、羅生門、猩々

天命健體治療

大連御旗會會長杉原三神氏は過般内地各方面を巡遊中であつたがこの程歸連し氏が幼少の頃より研究しつゝあつた天命健體治療を三日から一週間毎日午前八時より午後四時まで遊樂館に於て施術病苦に惱む一般人士を治療することゝなつた

並松部長榮轉

大連署衛生保巡査並松節二氏は今回巡査部長に昇級大石橋署に榮轉したので來る四日出發赴任の筈

●・・・關西輪業通信社支局　關西における自轉車製造業者の機關新聞として常に海外に實勢力を伸ばしつゝありし關西輪業通信社は今回大連市伊勢町久保洋行内に支局を設置する事となり支局長に吉川鐵華氏を据へ一切の交通及輪界の事情を報道せしめ一面見本展示所を設け當業者の便に資せんとする由である

けふのラヂオ

昭和四年八月二日（金曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔株式各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式各地相場）ニュース
自午後五時　日本大相撲連絡放送
自午後七時三十分
一、ニュース
二、兒童科學講座（命の長い物と短い物）大連第二中學校泊尙義
三、ヴアイオリン獨奏（一悲歌エルンスト曲、二ハンガリヤンマヅルカラジンガナボーム曲、三ガボットゴセツク曲）星野政二
四、筑前琵琶（臺灣入）法橋山前原旭芳
　伴奏樋木龜二郎
五、支那劇（四盤山）連東倶樂部員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓（57）

戸川貞雄作 浅枝次朗畫

金（一七）

久彦はその瞬間、実知子と龍吉の間に流れた險の悪さうな氣配に氣付いて

「……おや、何うしたの？ 何か僕の蔭口でも利いてたんぢやないの？ いやだな」

と笑つた。

「……でも、龍吉が變なことといふもんだから」

と、実知子は顔を赧らめて、龍吉の顔をやさしく睨んだ。

「……變なこと？ はゝ、云つてやらうか、草野さんの前で！」

龍吉は唇を曲げて意地惡さうな眼付をした。

「……姉弟喧嘩か、いゝな、羨ましいな」

久彦はさう云ひながら椅子を引いて腰をおろした。

「ウ・ン、喧嘩ぢやあないんだよ僕がね、姉さんに訊いてやつたんだよ、姉さんは草野さんに惚てるのかつてさ！ はゝゝゝゝ、さういふ訊きかたは、いけないかな草野さん！ では、草野さんに訊かうか……？」

龍吉は実知子の顔と久彦の顔とを、ちろ〳〵見比べるやうにしながら云ふのだつた。

久彦は、実知子の顔をチラと眺めた。同じやうに、実知子も久彦の顔をチラと見た。

「……おこつてやつて下さい！ 龍吉つたらあんなことばかり云つて、わたしを苛めるんですもの……」

実知子は眼を伏せると、さう云つて上眼づかひに龍吉の顔を睨んだ。

「……いけないや、龍吉君！」

と、久彦は笑ひを含んだ聲で云うて、煙草を摘み上げると、眞顔になつた。

「……肝腎な今夜の會見だが、実知子さん、あなたは平氣で明日からお勤めなさい、僕、小森を痛めつけてやりましたよ、彼奴もすつかり閉口してゐました、もう今後あんな眞似はしないでせうし、させもしませんから、あなたも勤めを退く理由はありませんよ」

「……ま、さうですか、それは有り難う御座いました。ね、龍吉、わたし何うしようか、やつぱり勤めようか知ら？」

実知子は龍吉に相談するやうにいふ。

「……勿論、罷めるには及ばんさ！ そんなことで罷めてゐたひにやあ、姉さんみたいな美人は、罷めてばかりゐなけりやアなんないよ！ いや、ほんとうさ、ね、草野さんさうでせう？」

「……全くですよ！ そんなことで此方が身を退いたりすると癖になります！」

久彦も躍ますやうに云つた。

「……さうだね、いろ〳〵と有り難う！ わたし、決心しましたわ明日から平氣で勤めます、これで安心出來たわ、お父さんやお母さんに、心配もさせないですむんですし」

実知子も愁眉を開いたやうに、晴々となつて云つた。

「……では、あまり遅くならないうちにお歸んなさい、だん〳〵吹降りも、ひどくなつて來たやうです」

と、久彦は立つて窓際に寄るとレースのカーテンをかゝげて、戸外を覗いた。眞暗な吹降りの夜だ。

「……龍吉君、すまないが君送つて上げたまへ、自動車は直呼ばせる。送つてから、君はまた戻つて來たまへ、こゝへ泊つてゆくといゝ」

「……オーライ、さうしよう！」

龍吉はにこ〳〵ッとなりながらうなづいてみせた。

やがて呼ばれた近處の貸自動車のなかに、龍吉は実知子と並んで坐つてゐたが、暴風雨を衝いて駛る自動車が、やがて江戸川通りと思はれるあたりへ來た時、龍吉はふいに

「……姉さん！ こんなもの盗んで來てやつた！」

と吐き出すやうに云つた。

川柳八月課題

八月五日締切 夏服 小園新生選
八月十日締切 薄物 藤原可居選
八月十日締切 餡役 高橋月南選

△各題必ず別記用紙はがきの事

滿日社文藝係